



信頼 創造 奉仕

7 1 7 8 - 4 8 6 - 6

一般者用

情報通信端末装置

MPT800

取扱説明書

オプションユニット
(別売品)

MPTDSP

MPTAOT

MPTDOT

[注意事項]

アナログ電話回線接続用モデム未搭載の MPT800 につきましては、
本書のアナログ電話回線を使用した機能はご使用できません。

□はしがき／お願いとおことわり

このたびは、情報通信端末装置 MPT800 をお買い上げいただきありがとうございます。
本器を正しく安全にお使いいただき、事故を未然に防ぐため、この取扱説明書を必ず
お読み下さい。

お願い

この説明書は、本器をお使いになる方のお手元へ確実に渡すよう手配して下さい。
この説明書は、保守の際にも必要です。本器を廃棄するまで大切に保管して下さい。

おことわり

1. 本器（MPT800）は機器の異常・故障の通報やデータ伝送を行う装置です。
災害を防止する装置ではありませんので、万一各施設・機器の異常・故障などによる損害が生じても、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承願います。
2. 本書の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承下さい。
3. 本書の内容についてお問い合わせ等ございましたら、最寄りの弊社支店・営業所までご連絡下さい。
4. 本体内蔵の電池を廃棄する際には、産業廃棄物の扱いとなりますので各地方自治体の指示に従い正しく廃棄して下さい。
5. 感電や動作不良の恐れがございますので、弊社認定のサービス員以外、本器の分解や修理は絶対に行わないようお願い致します。

□重要なお知らせ




1. 本器の取り付けと環境

本器は制御盤に設置してお使いになることを想定して設計しています。

11 ページの「1. 取り付け場所の条件」を参照し適切な場所で本器を運転・保管して下さい。

2. 本説明中の記号

本器を安全にお使いいただくため、故障や思わぬ事態にならないため、注意する事項を重要度によって、次の記号で表しています。

重要度	記号	注 意 事 項 の 範 囲
1	 危険	感電など人体に危険がおよぶ恐れがある場合
2	 警告	本器の故障や事故が十分に予測できる場合
3	 注意	本器が思わぬ事態になる恐れがある場合

□安全に対する注意事項

本文をお読みになる前に、安全に対する重要な事項があります。下記の事項を充分にご理解のうえお読み下さい。これらは人体への危険や事故を防ぐうえで重要な事項です。

1. 外部電源スイッチを設けて下さい。

電源端子などへの結線や取り外しの際、感電防止のため本器に供給する電源には外部電源スイッチを設けて下さい。

2. 接地は必ず行って下さい。

感電防止のため、電源を入れる前に D 種以上の接地を行って下さい。

3. 初めて電源を入れる前に。

本器の損傷を防ぐため、供給電圧が表記通りであることを確かめてから外部の電源スイッチを ON にして下さい。

4. 内部には手を入れないで下さい。

内器には電気回路部があり、触れると人体に危害をおよぼす恐れがあります。

5. 修理や改造は行わないで下さい。

現地での内部の分解や修理を行わないで下さい。

また改造など本器の内部機構に手を加える行為は、感電事故や正しい機能が発揮できないだけでなく本器の損傷を招く場合があります。

6. ご不審な場合は電源供給を止めて下さい。

異臭や煙などが出ていたり、手で触れられないほど高温になっている場合、危険ですので供給電源を OFF にし、最寄りの弊社支店・営業所にご連絡下さい。

7. 通信（LAN 端子）

本機をネットワークに接続して使用する場合、外部からのサイバー攻撃による動作妨害を防ぐため、セキュリティ対策を行って下さい。

例) ファイアウォール機能を有効にしたネットワーク機器（ルータ等）を接続する

目 次

1. は じ め に.....	- 7 -
1. 1 製品について.....	- 7 -
1.1.1 MPT800 本体と付属品・消耗品.....	- 7 -
1.1.2 オプション品と付属品（別途ご購入いただきます）.....	- 8 -
1. 2 システム構成図.....	- 9 -
1. 3 各部の名称.....	- 10 -
2. パネルへの取り付け.....	- 11 -
3. 結 線.....	- 15 -
3. 1 結線上の注意.....	- 15 -
3. 2 結線.....	- 16 -
4. 本体の取扱い方法.....	- 22 -
5. ディスプレイユニットの取扱い方法.....	- 26 -
5. 1 通常画面モード.....	- 26 -
5.1.1 通常画面.....	- 26 -
5.1.2 通報動作中.....	- 26 -
5.1.3 着信動作中.....	- 27 -
5.1.4 異常発生時.....	- 27 -
5.1.5 イベント状態.....	- 27 -
5.1.6 運転状態.....	- 27 -
5.1.7 アナログ状態.....	- 27 -
5.1.8 SS メーター入力値.....	- 27 -
5.1.9 デジタル出力状態.....	- 27 -
5.1.10 アナログ出力状態.....	- 27 -
5.1.11 総イベント記録.....	- 28 -
5.1.12 総運転記録.....	- 28 -
5.1.13 総アナログ記録.....	- 28 -
5.1.14 総パルス記録.....	- 28 -
5.1.15 SS メーター積算記録.....	- 28 -
5.1.16 MPT 個体情報.....	- 29 -
5.1.17 MPT ネットワーク情報.....	- 29 -
5.1.18 アナログ警報値確認.....	- 29 -
5.1.19 計測モードのフローチャート.....	- 30 -
5. 2 設定画面モード.....	- 31 -
5.2.1 初期画面.....	- 31 -
5.2.2 時計設定.....	- 31 -
5.2.3 電話回線設定.....	- 31 -
5.2.4 MPT 個体設定.....	- 31 -

5.2.5	報告書設定	- 32 -
5.2.6	通報先設定	- 32 -
5.2.7	ネットワーク設定	- 32 -
5.2.8	アナログ警報値設定	- 32 -
5.2.9	総イベント記録設定	- 32 -
5.2.10	総運転記録設定	- 33 -
5.2.11	総アナログ記録設定	- 33 -
5.2.12	総パルス記録設定	- 33 -
5.2.13	イベントデータクリア	- 33 -
5.2.14	運転時間データクリア	- 33 -
5.2.15	アナログデータクリア	- 33 -
5.2.16	パルスデータクリア	- 34 -
5.2.17	帳票データダウンロード	- 34 -
5.2.18	動作履歴ダウンロード	- 34 -
5.2.19	デジタルログダウンロード	- 34 -
5.2.20	設定データダウンロード	- 34 -
5.2.21	設定データアップロード	- 35 -
5.2.22	音声データダウンロード	- 35 -
5.2.23	音声データアップロード	- 35 -
5.2.24	音声繰り返し回数設定	- 36 -
5.2.25	設定モードフローチャート	- 36 -
5. 3	初期設定および細かな設定	- 38 -
6.	パソコンによる Web での取扱い方法	- 39 -
6. 1	設定・編集メニュー	- 39 -
6.1.1	基本設定画面	- 40 -
6.1.2	デジタル入力設定画面 (CH1~CH23)	- 41 -
6.1.3	デジタル入力設定画面 (CH24)	- 42 -
6.1.4	アナログ入力設定画面	- 43 -
6.1.5	内部イベント設定画面	- 47 -
6.1.6	デジタル／アナログ出力共通設定画面 (オプション使用時のみ選択すること)	- 49 -
6.1.7	デジタル出力設定画面 (デジタル／アナログ出力共通設定で、デジタル出力エント選択時)	- 49 -
6.1.8	アナログ出力設定画面 (デジタル／アナログ出力共通設定で、アナログ出力エント選択時)	- 51 -
6.1.9	通報先編集画面	- 52 -
6.1.10	通報グループ設定画面	- 53 -
6.1.11	通報先選択画面	- 54 -
6.1.12	休日・リトライ設定画面	- 55 -
6.1.13	ネットワーク設定画面	- 56 -
6.1.14	メール設定画面	- 58 -
6.1.15	Web 設定画面	- 59 -

6.1.16	テレメータ通信設定画面	- 60 -
6.1.17	レポートフォーマット設定画面.....	- 61 -
6.1.18	音声設定画面	- 64 -
6.1.19	特殊設定画面	- 65 -
6.1.20	NTP 設定画面.....	- 66 -
6.1.20	設定情報書き込み画面.....	- 67 -
6.1.21	ファームアップデート	- 68 -
6. 2	閲覧メニュー	- 69 -
6.2.1	リアルタイム状態表示画面.....	- 69 -
6.2.2	イベント状態表示画面.....	- 70 -
6.2.3	通報状況確認画面	- 70 -
6.2.4	外部出力状態表示画面（オプション使用時のみ）	- 70 -
6.2.5	通信状態表示画面	- 71 -
6.2.6	総イベント回数表示画面	- 71 -
6.2.7	アナログ総積算値表示画面.....	- 71 -
6.2.8	運転入力総積算値表示画面.....	- 72 -
6.2.9	パルス総積算値表示画面	- 72 -
6.2.10	SS メーター総積算値表示画面	- 72 -
6.2.11	動作履歴表示画面	- 72 -
6.2.12	デジタルロギング履歴表示画面.....	- 73 -
6.2.13	日報表示画面	- 73 -
6.2.14	日報グラフ表示画面	- 75 -
6.2.15	月報表示画面	- 76 -
6.2.16	月報グラフ表示画面	- 81 -
7. 機能	- 82 -
7. 1 動作モード.....	- 82 -
7.1.1	通常運転モード.....	- 82 -
7.1.2	通報停止モード.....	- 82 -
7.1.3	設定モード.....	- 83 -
7.1.4	各モード中の動作.....	- 83 -
7. 2 テレコン操作.....	- 84 -
7.2.1	暗証番号入力	- 84 -
7.2.2	操作コマンド一覧.....	- 84 -
7.2.3	イベント状態確認	- 84 -
7.2.4	アナログ状態確認	- 85 -
7.2.5	デジタル出力状態確認（オプション使用時のみ）	- 85 -
7.2.6	FAX 送信要求（宛先一時指定あり）	- 86 -
7.2.7	FAX 送信要求（宛先一時指定なし）	- 87 -
7.2.8	現在時刻設定	- 87 -

7.2.9	PPP 接続	- 88 -
7.2.10	回線切断要求	- 88 -
8.	保 守	- 89 -
9.	仕 様 一 覧	- 90 -
9. 1	入 力	- 90 -
9.1.1	アナログ入力	- 90 -
9.1.2	デジタル入力	- 90 -
9. 2	出 力	- 90 -
9.2.1	アナログ出力（オプションユニット）	- 90 -
9.2.2	デジタル出力（オプションユニット）	- 90 -
9. 3	外部供給電源	- 91 -
9. 4	通 信	- 91 -
9.4.1	アナログ一般回線	- 91 -
9.4.3	LAN 回線	- 91 -
9.4.4	FOMA 通信	- 91 -
9.4.5	SS メーター流量信号入力	- 91 -
9. 5	インターフェイス	- 92 -
9.5.1	RS-232C 接続	- 92 -
9.5.2	USB 接続	- 92 -
10.	一般仕様	- 92 -
11.	保証とアフターサービス	- 93 -

1. はじめに

1. 1 製品について

・外観チェック

本器は、厳密な出荷検査に合格して皆様にお届けしています。ただし、輸送中に大きな衝撃を受け不具合が生じることがありますので、ご使用前に十分なチェックをお願いします。

①本体ケースに変形や大きな傷など異常がないかチェックして下さい。

②正面カバーの開閉ができるかチェックして下さい。

1.1.1 MPT800 本体と付属品・消耗品



- ・取扱説明書（本書）(7178-486)・・・1冊
本書末尾に保証書ページがあります

(消耗品)

- ・バックアップ電池（以下、「バッテリー」と表記）(7809-848)・・・1個
専用パック電池：ニッケル水素電池 DC12V 1000mAh
動作時間：約1時間（動作内容に条件あり）
交換時期：寿命は約2年です。停電の有無に関わらず劣化しますので必ず2年毎に電池交換を行って下さい。
- ・時計電池 (7808-390)・・・1個
専用パック電池：リチウム電池 DC3V 1900mAh
動作時間：約10年間（ご使用環境により変動あり）
交換時期：ご使用環境によりますが交換不要です。

1.1.2 オプション品と付属品（別途ご購入いただきます）
 (ディスプレイユニット【MPTDSP】本体と付属品)



(アナログ出力ユニット【MPTAOT】本体と付属品) (デジタル出力ユニット【MPTDOT】本体と付属品)



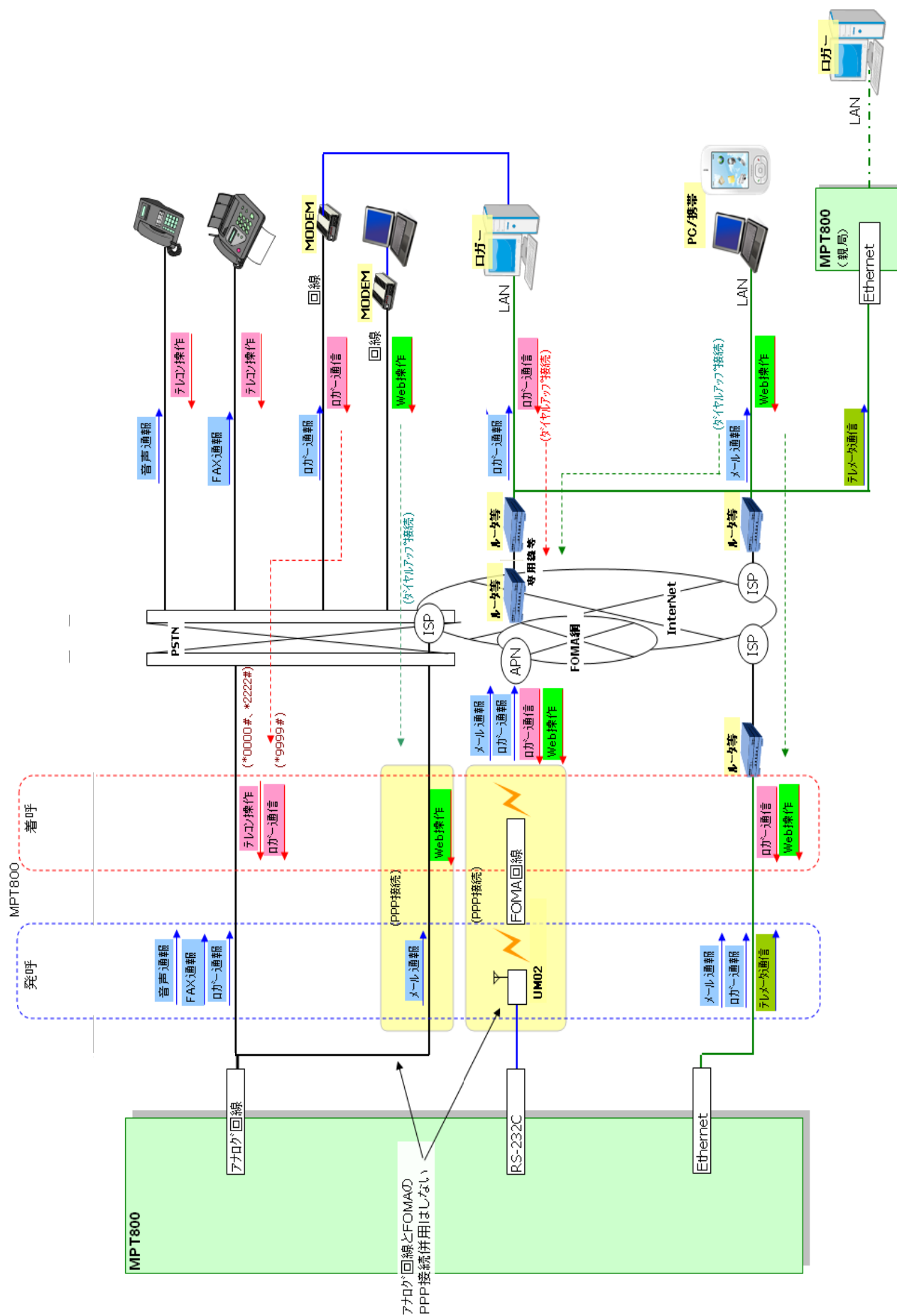
取付ネジ (M5) : 4本



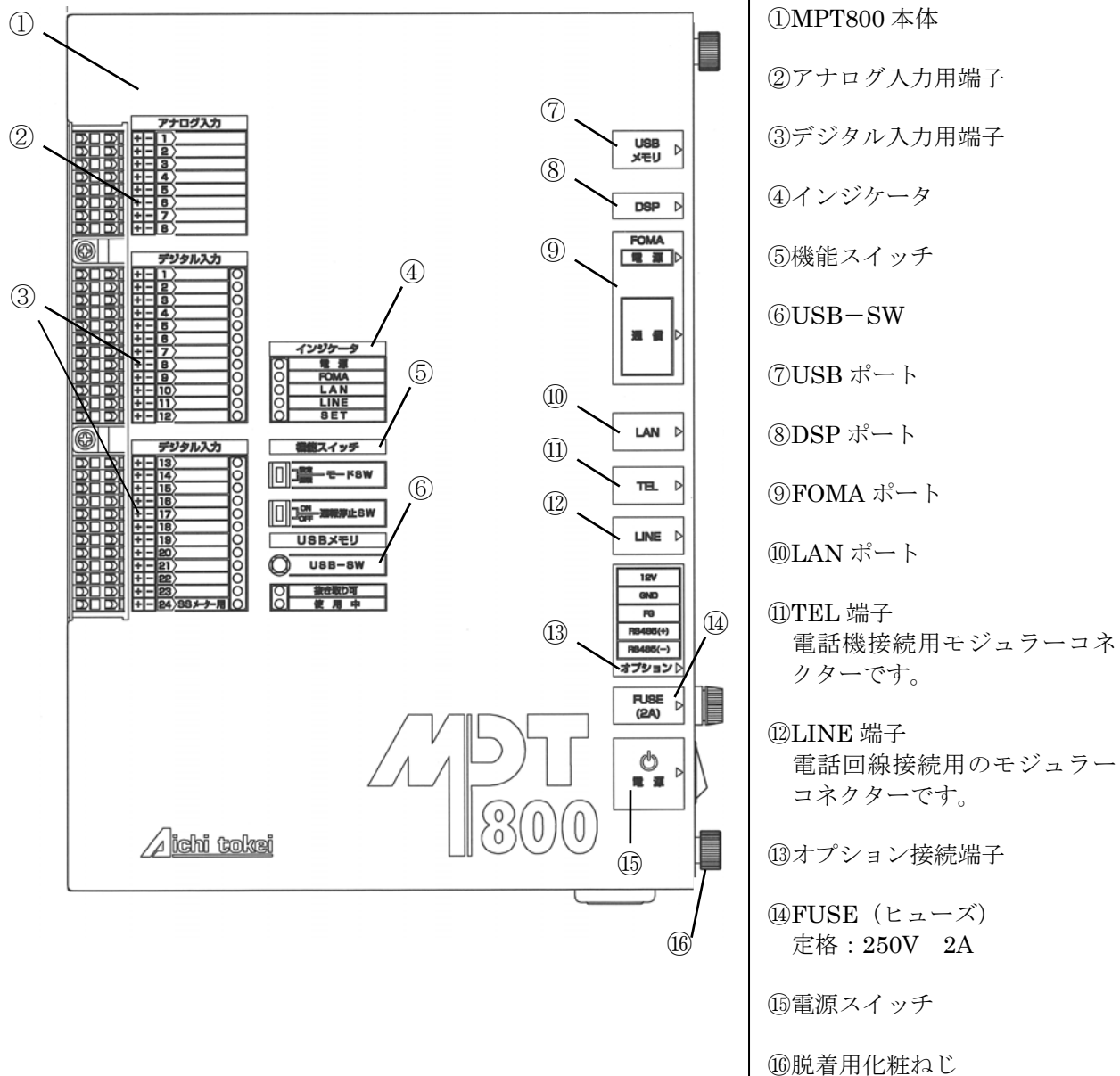
取付ネジ (M5) : 4本



1. 2 システム構成図



1. 3 各部の名称



⚠ 危険

動作中は感電防止のためスイッチング電源カバー、端子カバーは外さないで下さい。
ユニット内部には高電圧部があり、極めて危険になります。

2. パネルへの取り付け

警告 本器はパネルに取り付けてお使い下さい

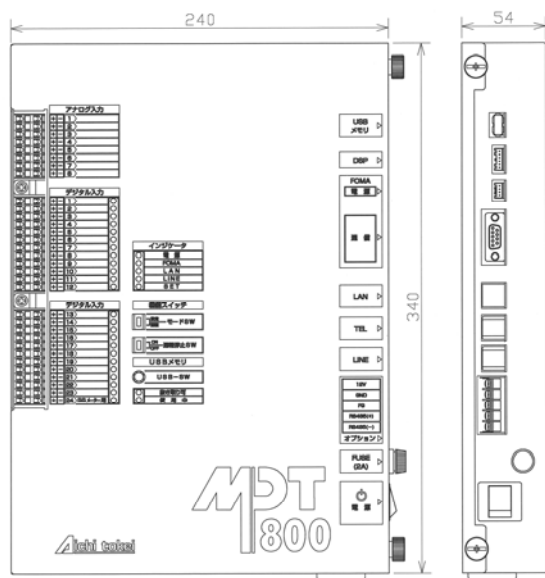
転倒や落下などを防止するためにも必ずパネルに取り付けて下さい。パネルは厚さ 2mm 以上 6mm 以下の鋼板パネルにして下さい。設置場所は直射日光を避け、電界や磁界を発生する場所から離して下さい。

1. 取り付け場所の条件

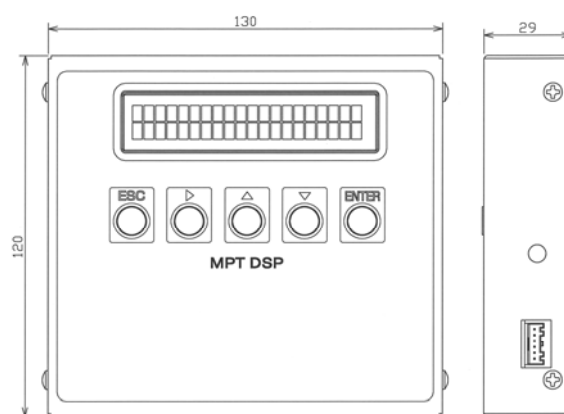
周囲温度・湿度範囲	周囲環境・他
$-10 \sim +60^{\circ}\text{C}$ $30 \sim 85\% \text{ RH}$ (結露なきこと)	次のような場所への設置は避けて下さい。 ①ほこりや湿気、油煙のある場所 ②腐食性ガスのある場所 ③著しく温度の上昇あるいは低下する場所 ④振動・衝撃のある場所

2. 外形寸法

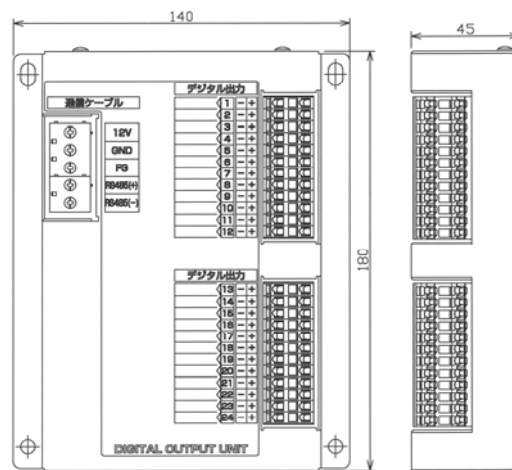
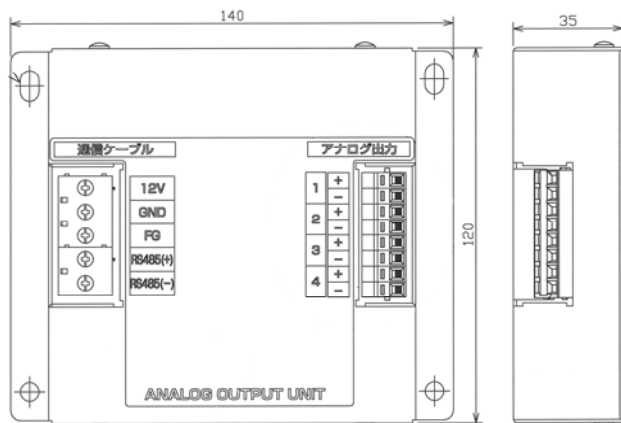
MPT800 本体



ディスプレイユニット【MPTDSP】(オプション)



アナログ出力ユニット【MPTAOT】(オプション) デジタル出力ユニット【MPTDOT】(オプション)

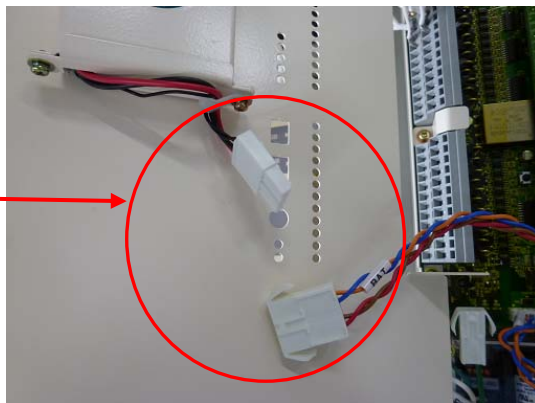
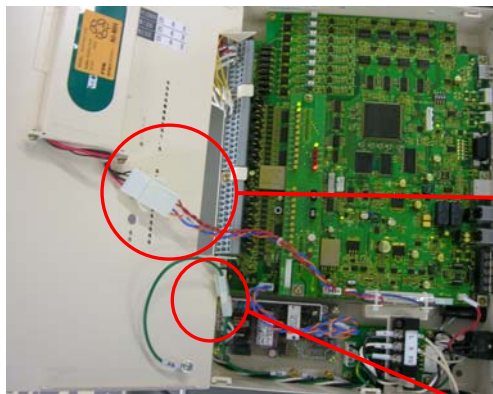


3. 取り付け方法

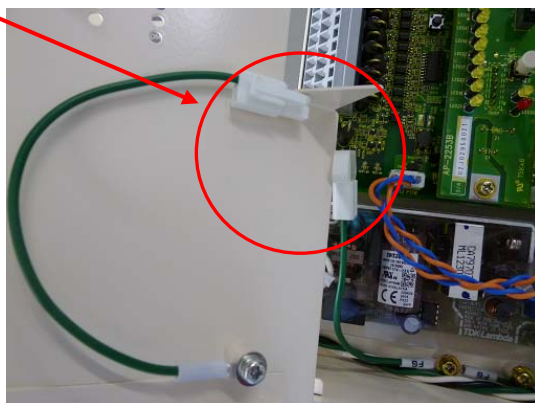


警告 本器正面カバーの扱いについて

MPT800 本体の正面カバーは、脱着用化粧ねじで止めており簡単に外れます。そのため、正面カバーを外すと落下する恐れがありますので、取り付け等の作業時は正面カバーからバッテリーとアース線（緑色）を外して正面カバーを取り外していただくようお願いします。



上記のように2箇所の接続箇所があります。正面カバーの取外しの際は必ずバッテリーとアース線のハーネスを外して作業して下さい。



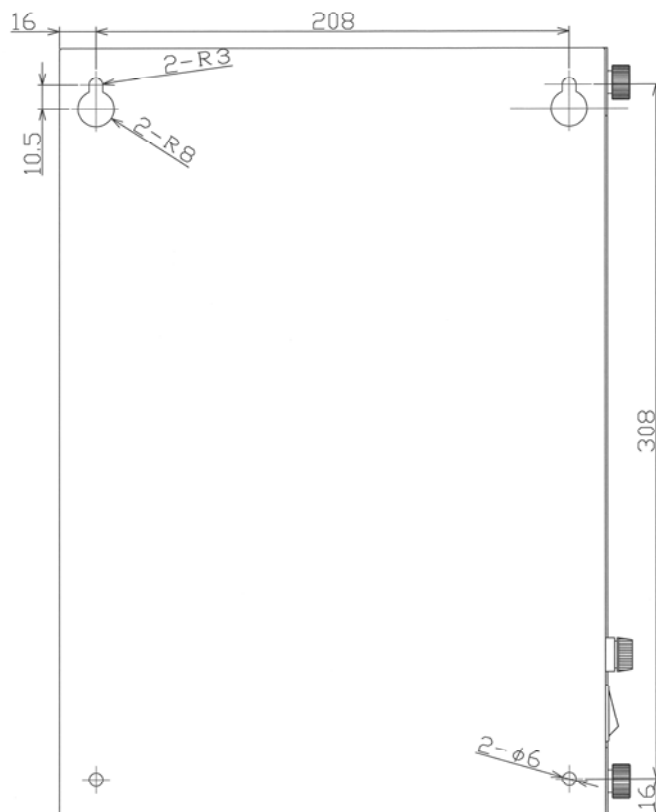
警告 設置場所について

本器は、屋内専用品であります。屋外の設置は避けて下さい。

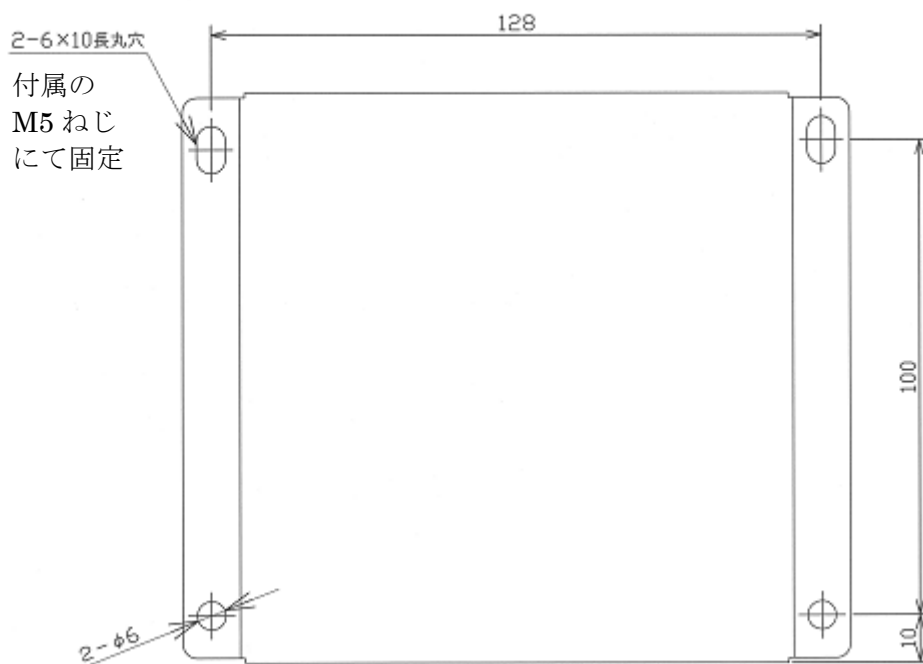
雨にかかるような設置をされますと、内部に容易に水滴等が侵入し故障の原因に繋がりますので、屋外であれば屋外用制御盤の内部に取り付け願います。

MPT800 の取り付け 本体背面に取付穴が下図のようになっております。
 だるま穴の R3 と $\phi 6$ が取り付けをする位置となります。取り付けは、パネル
 に M5 のねじ加工していただき付属のねじにて固定をお願いします。

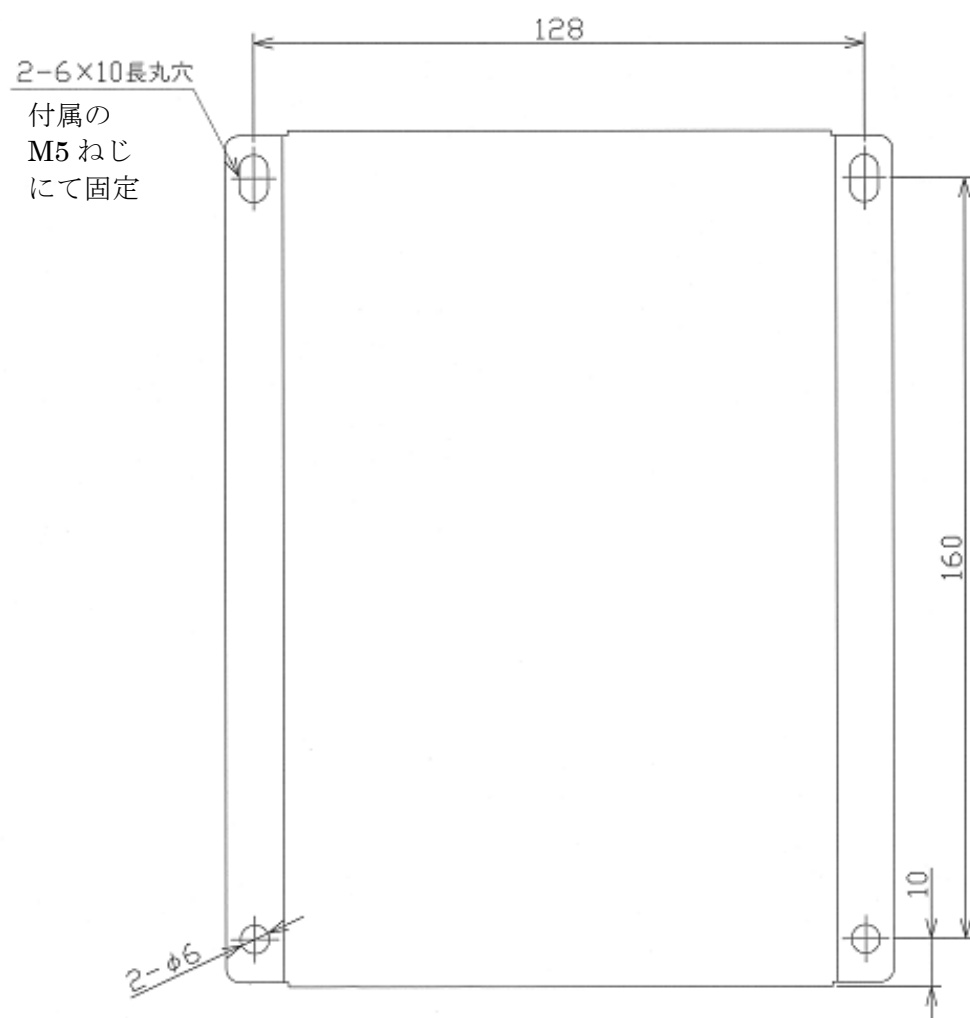
MPT800 本体背面



アナログ出力ユニット (MPTAOT) の取り付け寸法



デジタル出力ユニット (MPTDOT) の取り付け寸法



3. 結 線

3. 1 結線上の注意



危険

- ①安全のためヒューズ交換や、結線の時は感電防止のため、外部電源スイッチおよび本体の電源スイッチ（「1.3 各部の名称」参照）を、必ず **OFF** にして下さい。
- ②結線前にあらかじめ正面カバーを外して下さい。作業時に正面カバーが落下して人体への怪我、正面カバーの破損などの恐れがあります。正面カバーは脱着用化粧ねじを外し、右側にスライドさせると簡単に外すことができます。
- ③本器の損傷を防ぐため、供給電圧が表記通りであることを確かめてから電源端子の結線を行って下さい。
- ④配線したケーブルは、人や物に引っかからないように確実に処置して下さい。
結線が外れたり、切れると感電などの事故に繋がる恐れがあります。

1. 供給元の電源を確認して下さい。

本器へ供給する電源は、誤動作を防止するため、波形歪みがない単相 100V あるいは単相 200V の電圧の安定した電源をお使い下さい。

また、直接外部電源から受電するのではなく、配分電盤、制御盤等を経由しブレーカーを介した電源をお使いいただくと共に、雷サージから本器を守るための電源用避雷器を設置して下さい。

2. 強電回路から離して下さい。

電話回線、センサー（イベント、運転時間、アナログ、パルス）入力信号線、出力信号線の配線および各通信線は、動力線などの強電回路と近接することや並行することを避けて下さい。

やむを得なく近接や並行する場合でも 50cm 以上離して下さい。

3. ノイズ源からは避けて下さい。

ノイズの発生源からは、できるだけ遠ざけて下さい。故障・誤動作の原因となる場合があります。

4. 保護装置を設置して下さい。

電話回線にも回線用避雷器を設置して下さい。アナログ入力信号線にも信号線用避雷器など保護装置を設置して下さい。また出力信号線は、他の機器と直接接続するのではなく、途中にリレーなどを介して接続して下さい。

5. 圧着端子を使用して下さい。

①端子のゆるみや外れ、端子間短絡の防止のため結線コード端末は、圧着端子を付けて下さい。

②圧着端子は、感電防止のためスリーブ付をご使用下さい。

端 子 名	端子	推 奨 端 末 処 理
電源・接地・通信用端子	M3	絶縁スリーブ付丸端子
入力端子(MPT800 本体)	差込	絶縁スリーブ付板状端子
出力端子(オプション機器)	差込	絶縁スリーブ付板状端子

6. 未使用端子について

未使用端子は中継用に使わないで下さい。回路を損傷する恐れがあります。

3. 2 結線

1. 電源端子の結線

電源線は 600V ビニル絶縁電線 (JIS C3307) を使い、圧着端子で加工して結線して下さい。

2. 接地端子の結線

接地端子は、接地極に接地下さい。

- ・ 接地種類 : D 種接地以上 (100Ω 以下)
- ・ 接 地 線 : 素線径 2mm² 以上の銅線

3. 入出力端子の結線

ケーブルは、圧着端子加工して結線して下さい。

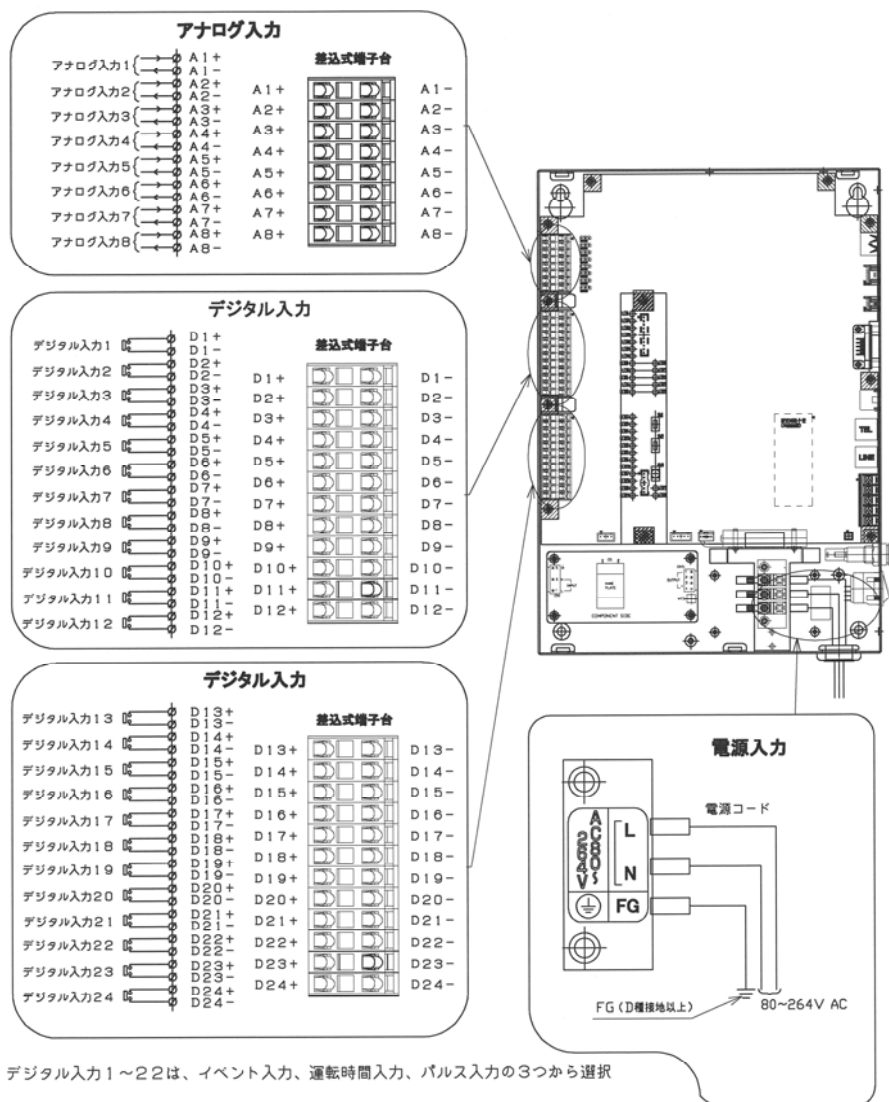
圧着端子は 0.08~2.5 mm² を推奨します。

4. LINE、TEL 端子の結線

LINE 端子はモジュラーケーブル (別途購入) で結線して下さい。

電話機が必要な場合は、TEL 端子にモジュラーケーブル (別途購入) を結線してご使用下さい。

<下図を参照の上、各端子を結線します>



デジタル入力1~22は、イベント入力、運転時間入力、パルス入力の3つから選択

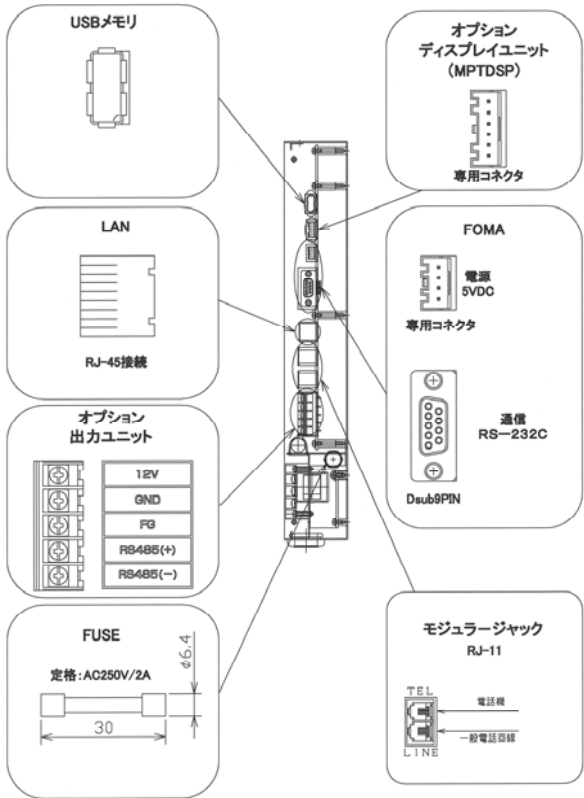
デジタル入力23は、イベント入力、運転時間入力、パルス入力、通報停止入力の4つから選択

デジタル入力24は、SSメーター入力専用

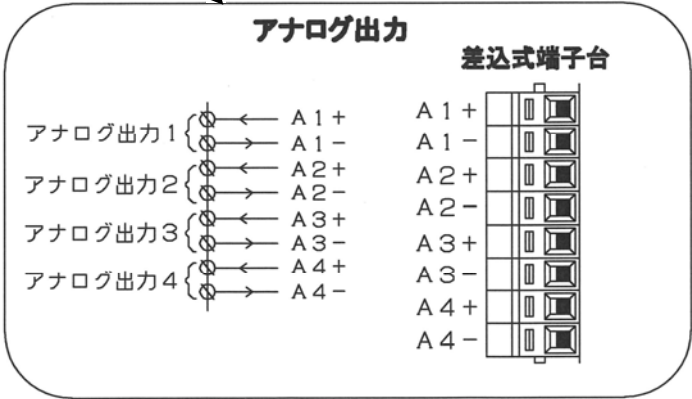
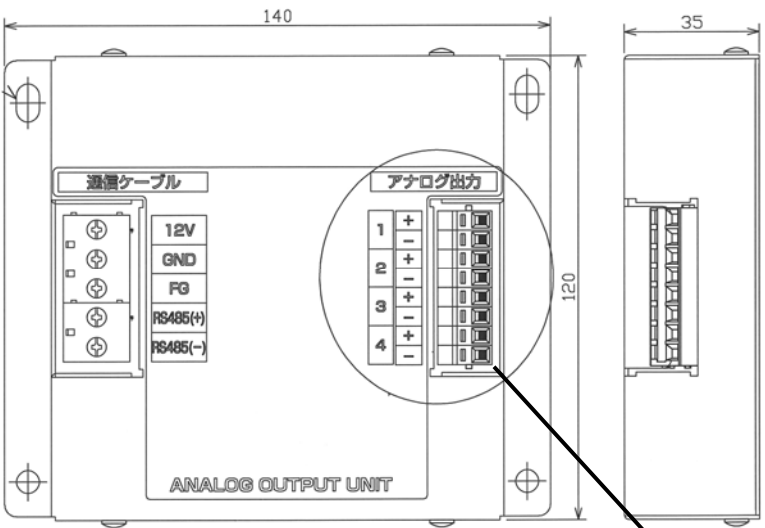
注記1. SSメーターとは、弊社製の電磁式水道メーター (SU) と電磁式積算体積計 (SW、SA、AGV) の略称です。以降「SSメーター」と記載。

2. デジタル入力1~23の一端子は内部で導通しています。(コモン共通となっています)

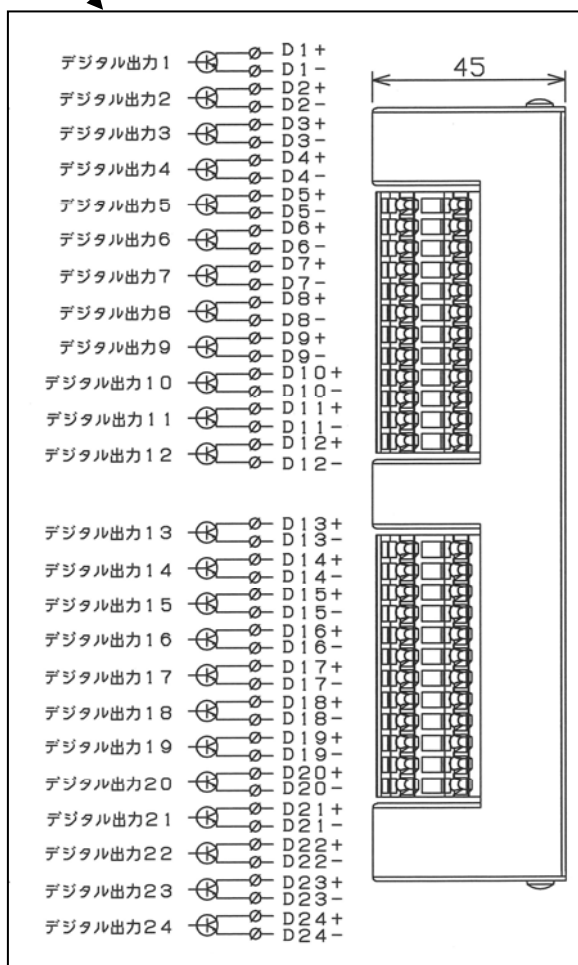
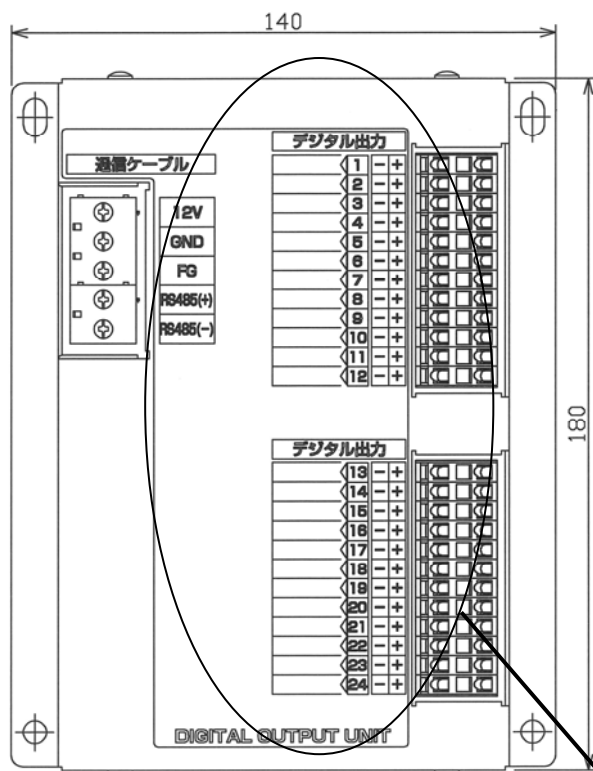
MPT800 本体右側面



アナログ出力ユニット 【MPTAOT】 (オプション)

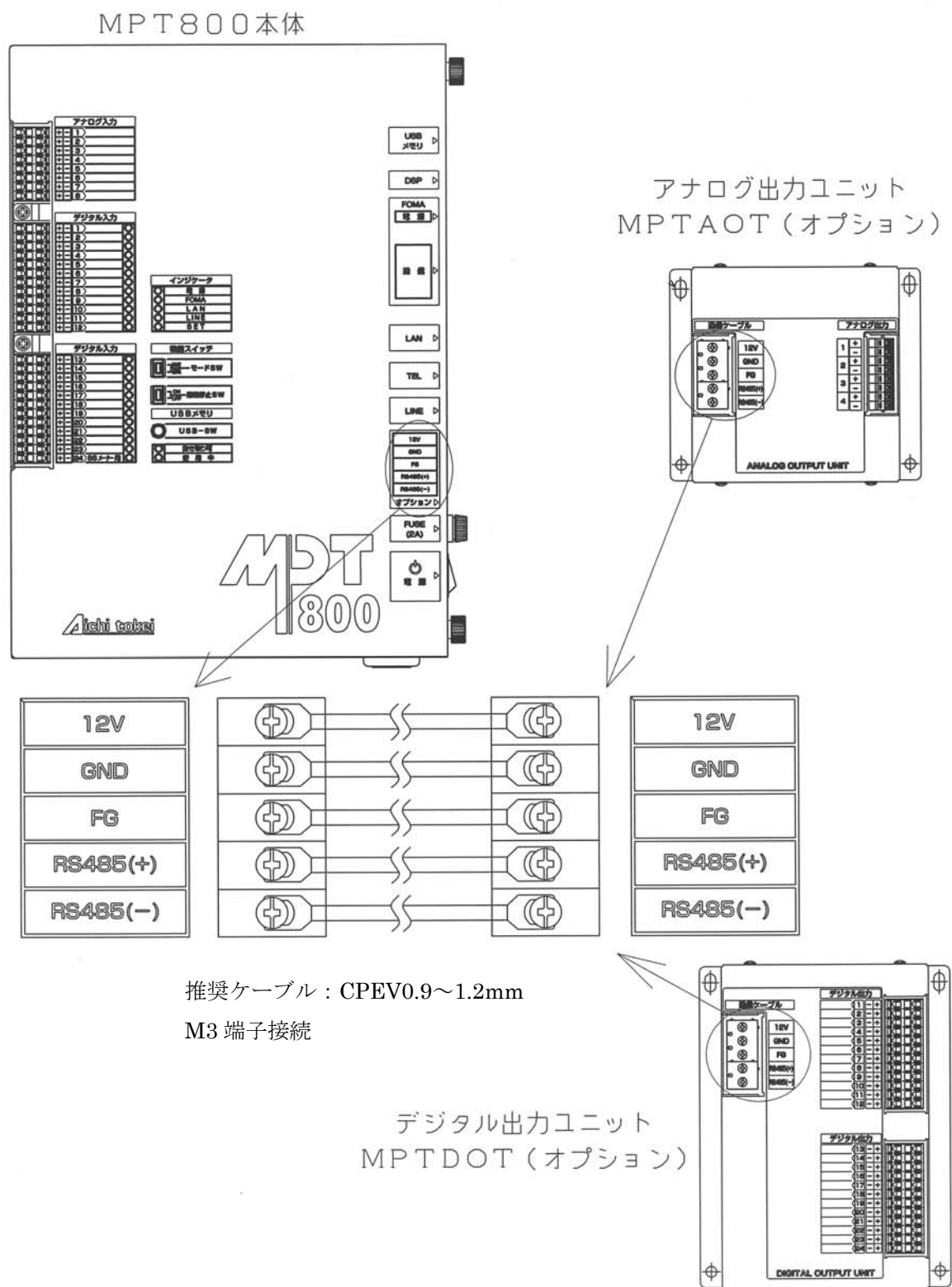


デジタル出力ユニット【MPTDOT】（オプション）



MPT800 本体とオプション機器の接続

(MPT800 と MPTAOT または MPTDOT の接続)



MPT800 本体とオプション機器の接続時の注意事項

- 1) 出力ユニット (MPTAOT、MPTDOT) を使う場合は、運用前に MPT800 のソフトバージョンが 2.00A 以降であることを確認して下さい。

※ソフトバージョンの確認は、お近くの弊社支店・営業所へお問い合わせ下さい。ディスプレイユニットが接続されていれば、現場で確認をすることができます。

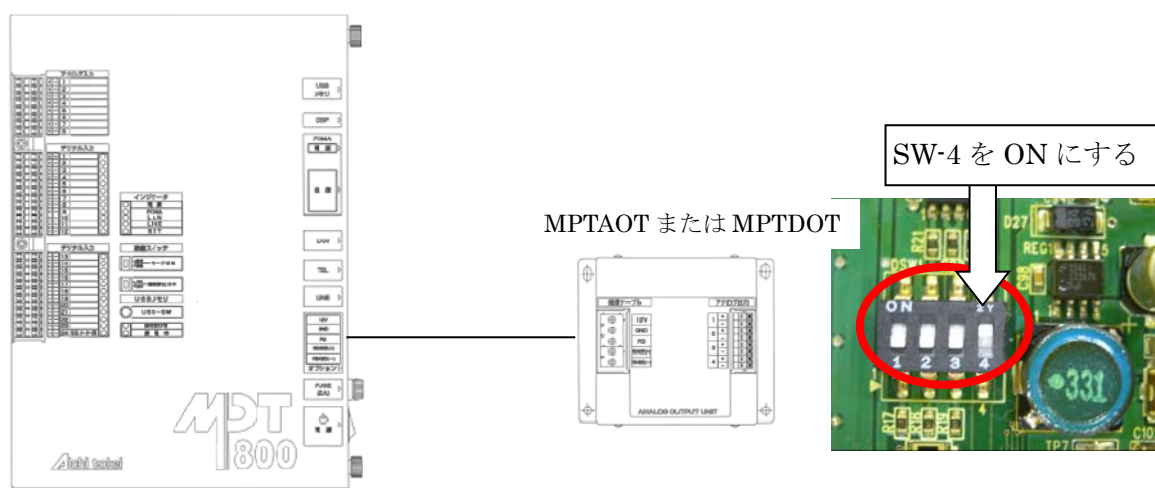
2. 00A より前のバージョンの MPT800 に、新規手配をするアナログ出力ユニットとデジタル出力ユニットを追加工事する際は、MPT800 本体のバージョンアップが必要です。

ソフトをアップデートした後は、これまでの取得データと設定データが引き継がないため、データの初期化を行います。当日・当月の日報・月報の F A X 出力が必要な場合は、作業前に担当者にお伝えください。(作業担当者は、アップデート前に設定データの抜き取りを行ってください。履歴データは状況に応じて抜き取りをしてください)

- 2) アナログ出力ユニット (MPTAOT) またはデジタル出力ユニット (MPTDOT) の何れか 1 台を接続する場合。

配線前に、出力ユニットの上下についているネジを外しカバーを取って、終端抵抗を ON して下さい。

(本体内部の DIP スイッチ (4bit) の SW-4 を ON にすることで、終端抵抗が ON となります。(注 1))



注 1) MPTAOT または MPTDOT の D I P スイッチの S W - 4 を O N にする

- 3) アナログ出力ユニット (MPTAOT) またはデジタル出力ユニット (MPTDOT) を合計 2 台、接続する場合。

オプション機器 1 と機器 2 の接続は、カスケード接続 (注 2) してください。

配線前に、下記 2 つの作業をしてください。

- ①オプション機器 2 の終端抵抗を ON してください。

(本体内部の DIP スイッチ (4bit) の SW-4 を ON にします。)

- ②下記のように 1 台の DIP スイッチ (4bit) の SW-3 を ON にしてください。 (注 3)

アナログ出力ユニット (SW-3 : OFF。アナログ出力 ch1~4)

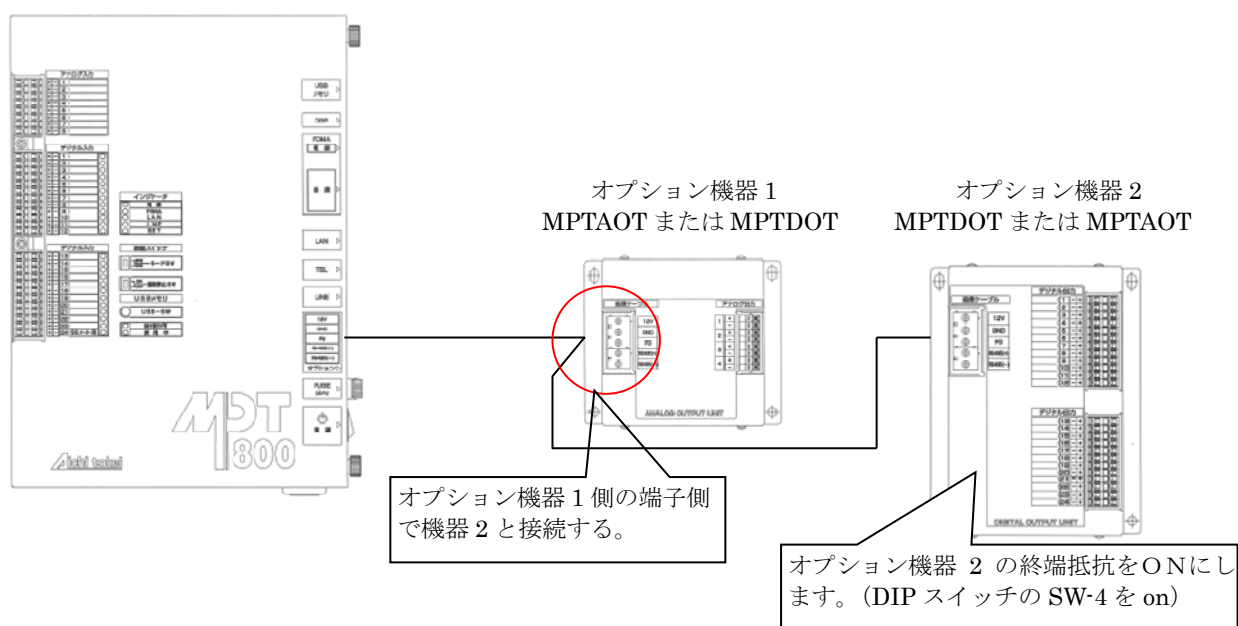
+アナログ出力ユニット (SW-3 : ON。アナログ出力 ch5~8)

デジタル出力ユニット (SW-3 : OFF。デジタル出力 ch1~24)

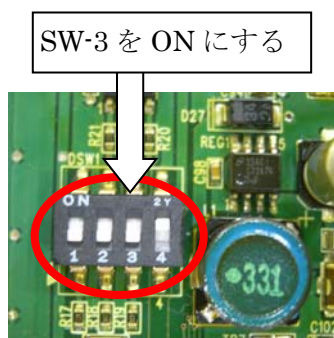
+デジタル出力ユニット (SW-3 : ON。デジタル出力 ch25~48)

アナログ出力ユニット (SW-3 : OFF。アナログ出力 ch1~4)

+デジタル出力ユニット (SW-3 : ON。デジタル出力 ch1~24)



注 2) 出力ユニットを 2 台接続するときはカスケード接続する。



注 3) 同一出力ユニットを使用時は 2 台目にあたるユニット、アナログ出力ユニットとデジタル出力ユニットを 1 台ずつ使用時はデジタル出力ユニットの DIP スイッチ (4bit) の SW-3 を ON にする。

4. 本体の取扱い方法



警告 運転は、必ず以下の手順に従って行って下さい。

機器の誤動作や誤通報を防ぐためにも運転は、必ず以下の手順通りに行ってください。

1 外部電源の投入

本体の電源スイッチが OFF であることを確認の上、外部電源スイッチを ON にして下さい。

2 本体の電源 ON

本体の電源スイッチを ON にして下さい。

- ・ 本体の動作

電源 LED が点灯することを確認して下さい。

数秒の起動処理をはさんだ後に運転動作に入ります。

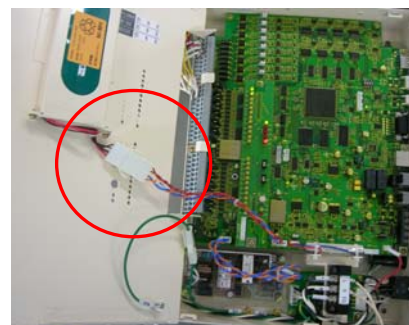
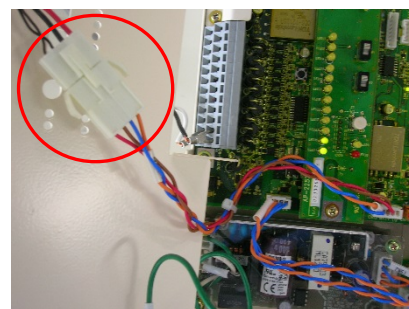
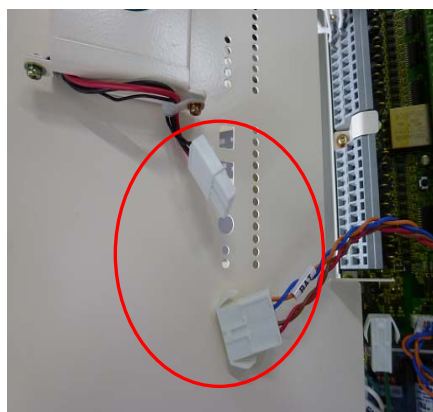
※接続されている機器やネットワークの通信状況により本体各所にある LED の表示が変化します。また機能スイッチの状態により動作モードが変化しますので、次ページも併せてご参照いただき、周辺機器やネットワークの状況、本器の動作状態が正常であるかをご確認下さい。

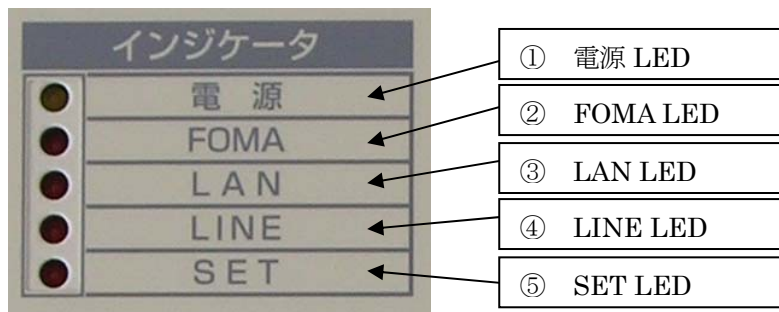
3 バッテリーの接続確認

バッテリーのコネクターが、本器のバッテリー接続コネクターに接続されていることを確認して下さい。

新品出荷時は、バッテリー接続コネクターに接続されていません。必ず接続して下さい。

正面カバー裏面にバッテリーは取り付けられています、バッテリーから伸びた赤と黒のケーブルのコネクターと、本体基板下部、茶色のハーネスの左部にあるハーネスに接続されたケーブルのコネクターを接続します。





①電源 LED

点灯…本体の電源を ON にした後、正常に AC 電源から給電されている状態で黄緑色に点灯します。

点滅…停電時などの状況下で本体の電源スイッチが ON の状態にも関わらず AC 電源から給電がされず、本体内蔵のバッテリーから本器を起動している際には黄緑色の点滅動作になります。通常は 5 秒おきの点滅動作となりますが、更にその状態で何らかの通報が発生した場合は、点滅周期が 1 秒の早い点滅動作となります。

消灯…電源スイッチが OFF の状態、または停電中にバッテリー電圧が低下したとき。

②FOMA LED (RS-232C による FOMA アダプタユニットとの通信状態を表します)

点灯…正常

点滅…通信障害発生時

消灯…未接続

③LAN LED

点灯…正常に LAN 接続が行われております。

点滅…LAN ポートに異常があります。

消灯…未接続、または接続が確立できていません。

④LINE LED

点灯…TEL 端子に接続した電話機の手話器を上げると、電話機使用中として点灯表示になります。

点滅…イベント通報、テレコン操作により MPT800 が回線を使用している場合に 1 秒おきの点滅表示になります。日月報・各種内部状態エラーも同様です。

消灯…回線未使用

⑤SET LED (本器の動作モードを表示します)

点灯…設定モード

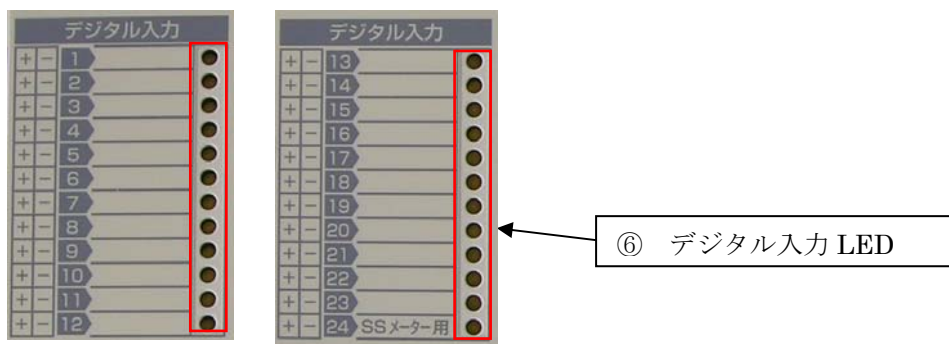
点滅…通報停止モード

消灯…通常運転モード

注意)

下記の異常が発生しているとき、②～⑤の LED ランプが点滅します。

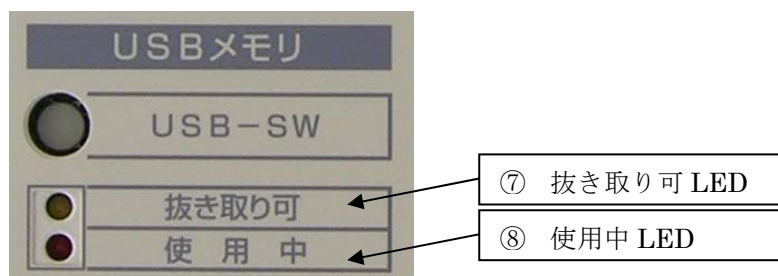
- | 異常内容 | 復旧条件 |
|--------------------------------|----------------------|
| ・ FROM への書き込み時にデータ異常を検出…………… | その後の書き込みが成功 |
| ・ 毎日 0 時 10 分のメモリチェックで異常検出………… | 翌日同時間のチェックで異常が検出されない |



⑥ デジタル入力 LED

点灯…該当のデジタル入力が ON と判断された状態
 消灯…該当のデジタル入力が OFF と判断された状態

※ch24 は弊社製電磁式積算体積計専用の入力 ch となります。正常に接続している状態で点灯表示となり、チャンネルを使用する設定にも関わらず機器を接続していない場合や通信異常・乾水・電池電圧低下といったイベントが発生すると点滅表示となります。チャンネルを使用しない設定の際は消灯します。

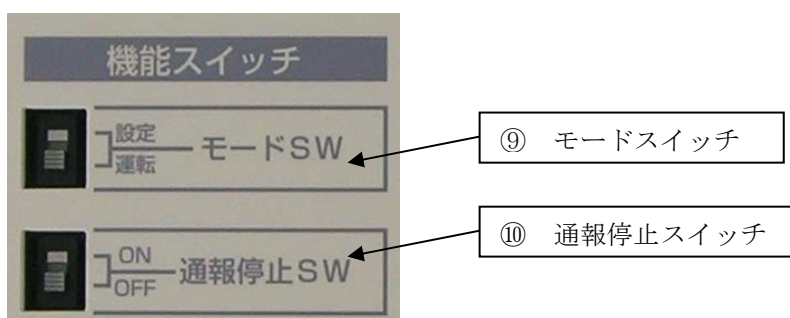


⑦ 抜き取り可 LED

点灯…USB スイッチを 1 秒以上押してから離すと黄緑色で点灯します。
 USB メモリの取り外しは、必ずこの状態のときに行ってください。
 消灯…USB メモリが未接続の場合。

⑧ 使用中 LED

点灯…USB メモリを接続されている状態。
 点滅…本器が書き込み・読み込みで USB メモリと通信を行っている状態。
 消灯…USB メモリが未接続の状態。



⑨モードスイッチ

設定側に切替えると設定モードに移行します。ディスプレイユニットによる各種設定操作を行うことができます。

運転側に切替えると運転モードに移行します。ディスプレイユニットによる各種現在状態の閲覧を行うことができます。

⑩通報停止スイッチ

ON 側に切替えると通報停止モードに移行します。

このモードでは通常の運転を行いますが、一切の通報を行いません。

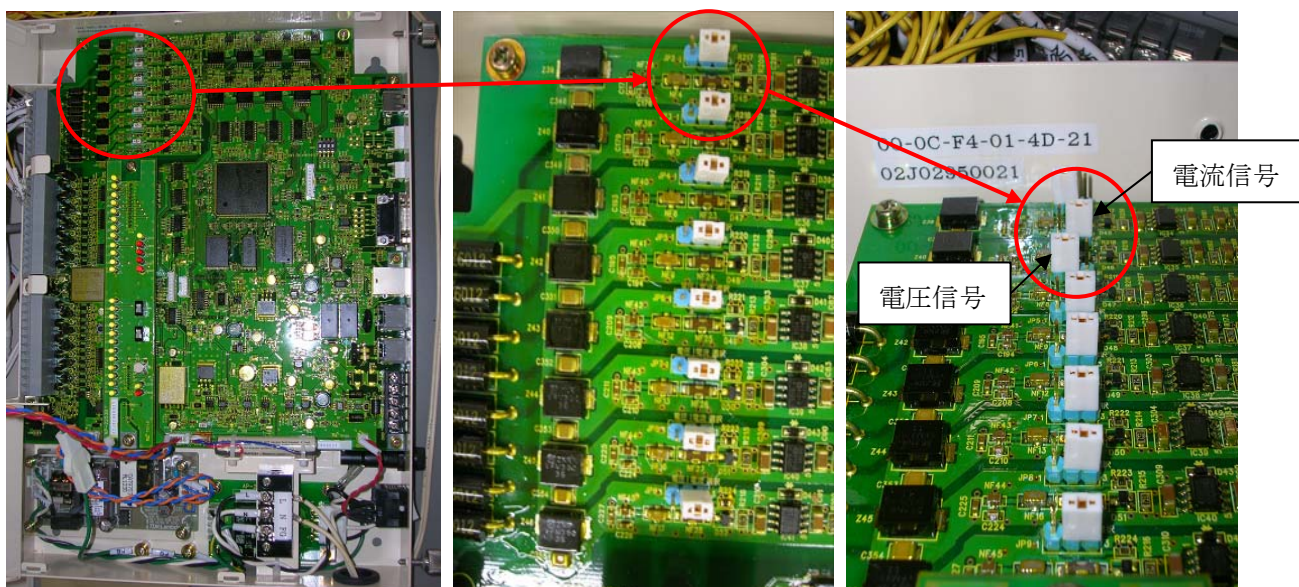
本器が通報動作に入った場合でも、このモードに移行した時点で通報がキャンセルされます。通報テストや設定調整中などで実際の通報先には通報を行いたくない場合、機器の点検や施設内の清掃などの際に発生する意図しない通報を防ぎたい場合に便利です。

⑪電流／電圧ジャンパーピン

本体基板左上にアナログ入力を DC4～20mA の電流信号か、DC1～5V の電圧信号に切替えるジャンパーピンがあります。

左と中央の端子にピンを差し込むと電圧信号、中央と右の端子にピンを差し込むと電流信号となります。中央の写真は DC4～20mA の電流信号に対応するピンの配置となります。

※必ず、本体の電源スイッチを OFF にしてからジャンパーピンの切替えは行ってください。感電または、本器故障の原因となります。

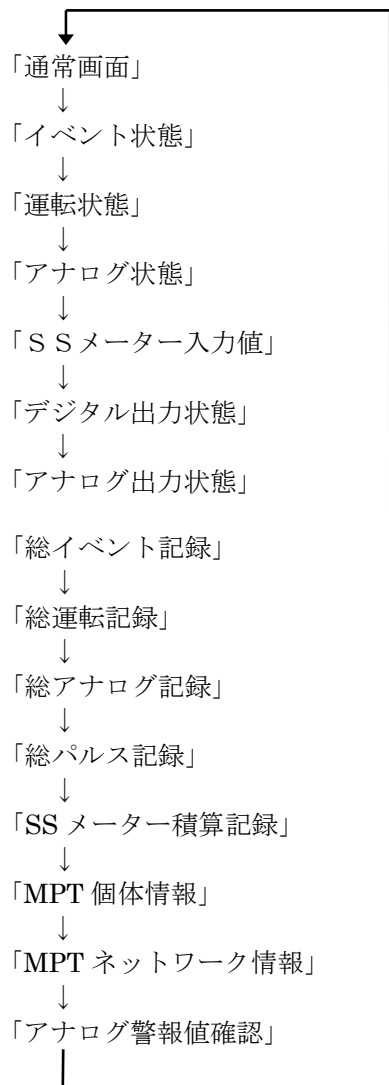



5. ディスプレイユニットの取扱い方法



注意

ディスプレイユニットは本体購入時に含まれません。別途ご購入をお願いします。



表示画面は  キーを押す毎に以下の順に切り替わります。
ESC キーを押すと逆方向に切り替わります。

起 動 画 面 の 確 認

液晶画面が点灯し、画面にはプログラムバージョンおよび「ｷﾄﾞｳﾁｭ」の文字が表示されます。

短時間で画面にエラーが出ることなく、通常画面に戻ることを確認して下さい。

<起動画面>

MPT800 Ver.*.*.*
ｷﾄﾞｳﾁｭ

<通常画面>

2012/09/28 15:23:23

5. 1 通常画面モード

5.1.1 通常画面

2012/09/28 15:23:23

1 行目に現在時刻（年／月／日、時：分：秒）を表示します。
2 行目には現在発生しているイベントや本体の異常などの情報が表示されます。（5.1.2～5.1.4 参照）

5.1.2 通報動作中

E 2:N0.2ﾎﾝﾌﾟｺｼｮｳ
R02:01012345678 T

1 行目に通報イベント内容を表示します。
2 行目には通報宛先の電話番号、メール通報の場合メールアドレスを表示し、右端に表示されるアルファベットによって通報手段の種別をご確認いただけます。

（「T」音声通報、「F」FAX 通報、「M」メール通報、「L」ロガー通報）

※電話番号やメールアドレスが 15 桁を超える場合、はじめの 15 文字のみを表示します。

5.1.3 着信動作中

2012/09/28 15:23:23

チャクシ

2 行目に着信動作の内容（着信、テレコン応答、モデム応答）が表示されます。

5.1.4 異常発生時

2012/09/28 15:23:23

カイセンシヨウ

2 行目に異常動作の内容（電話回線異常、モデム通信異常、音声データ異常）が表示されます。

5.1.5 イベント状態

<イベントシヨウタイ>

V

イベント入力信号の状態を「ON」「OFF」で表示します。
↑↓キー操作で閲覧するイベント入力チャンネルを切替えます。
（イベント入力信号の設定がない場合、2 行目の V は表示されません）

5.1.6 運転状態

<ウンテンシヨウタイ>

V

運転入力信号の状態を「ON」「OFF」で表示します。
↑↓キー操作で閲覧する運転入力チャンネルを切替えます。
（運転入力信号の設定がない場合、2 行目の V は表示されません）

5.1.7 アナログ状態

<アナログシヨウタイ>

V

アナログ入力信号の状態を表示します。
↑↓キー操作で閲覧するアナログ入力チャンネルを切替えます。
（アナログ入力信号の設定がない場合、2 行目の V は表示されません）

※表示は 1 秒毎に更新され、アナログ名称＋スペース＋数値＋単位
名称が 16 文字を超える場合、アナログ入力名称を短縮して表示
します。また、計測不能・数値 10 桁オーバー・単位変換エラーの場
合は「****」と表示されます。

5.1.8 SS メーター入力値

<SSメーターニュウリョクチ>

V

SS メーター入力の積算流量値を表示します。
↑↓キー操作で閲覧する SS メーターの指針値・瞬時値を切替えます。
（SS メーターが未使用の場合、2 行目の V は表示されません）

5.1.9 デジタル出力状態

<デジタルシュツリョクシヨウタイ>

V

デジタル出力信号の状態を「ON」「OFF」で表示します。
↑↓キー操作で閲覧するデジタル出力チャンネルを切替えます。
（デジタル出力信号の設定がない場合、2 行目の V は表示されません）

5.1.10 アナログ出力状態

<デジタルシュツリョクシヨウタイ>

V

アナログ出力信号の状態を表示します。
↑↓キー操作で閲覧するアナログ出力チャンネルを切替えます。
（アナログ出力信号の設定がない場合、2 行目の V は表示されません）

5.1.11 総イベント記録

<ソウイベントキロク>

V

イベント入力信号の総発生回数を表示します。
↑↓キーで閲覧するイベント入力チャンネルを切替えます。
(イベント入力信号の設定がない場合、2行目のVは表示されません)

※イベント名称+スペース+数値+「カイ」が15文字を超える場合は、
イベント名称を短縮して表示します。

5.1.12 総運転記録

<ソウウンテンキロク>

V

運転入力信号の総運転時間・総運転回数・総運転流量積算値を表示します。
↓キーを押すことにより下記の順番で表示が切り替わり、
↑キーを押すと逆方向に表示が切り替わります。
(運転入力信号の設定がない場合、2行目のVは表示されません)

総運転時間 → 総運転回数 → 総運転流量積算値

※総運転流量が表示されている際にもう一度↓キーを押すと、次の運転
入力チャンネルの情報に切り替わります。
同様に総運転時間が表示されている際に↑キーを押すことで、前の運
転入力チャンネルの情報に表示を戻すことができます。

※表示は1秒毎に更新され、運転入力名称+スペース+数値+単位
名称が16文字を超える場合は、運転入力名称を短縮して表示します。

5.1.13 総アナログ記録

<ソウアナログキロク>

V

アナログ入力信号における総積算値を表示します。
↑↓キー操作で閲覧するアナログ入力チャンネルを切替えます。
(アナログ入力信号の種別設定「積算」がない場合、2行目のVは表示
されません)

※表示は1秒毎に更新され、アナログ名称+スペース+数値+単位
名称が16文字を超える場合、アナログ入力名称を短縮して表示し
ます。また、計測不能・数値10桁オーバー・単位変換エラーの場
合は「****」と表示されます。

5.1.14 総パルス記録

<ソウパルスキロク>

V

パルス入力信号の総積算値を表示します。
↑↓キー操作で閲覧するパルス入力チャンネルを切替えます。
(パルス入力信号の設定がない場合、2行目のVは表示されません)

※表示は1秒毎に更新され、パルス名称+スペース+数値+単位
名称が16文字を超える場合、パルス入力名称を短縮して表示し
ます。また、計測不能・数値10桁オーバー・単位変換エラーの
場合は「****」と表示されます。

5.1.15 SSメーター積算記録

<SSメーターセキサンキロク>

V

SSメーターから受信した積算流量値を表示します。
(SSメーター設定が未使用の場合、2行目のVは表示されません)

5.1.16 MPT 個体情報

<MPTコタイシ ヨウホウ>

TEL:01234567890123456

2 行目に自局番号・回線種別 (PB/DP10/DP20/FOMA)・呼び出し
応答回数の 3 点の情報を表示します。

↑↓キー操作で表示する情報を切替えます。

5.1.17 MPT ネットワーク情報

<MPTネットワークシ ヨウホウ>

IPシ トウシユトク

ON

2 行目に設定された各種ネットワーク情報を表示します。↓キーを押すこ
とにより下記の順番で表示が切り替わり、↑キーを押すと逆方向に表示が
切り替わります。

IP 自動取得 → IP アドレス → サブネットマスク (MASK) →
デフォルトゲートウェイ (DGW) → DNS 自動取得 → プライマリ
DNS (DNS1) → セカンダリ DNS (DNS2)

5.1.18 アナログ警報値確認

<アナログケイバウチ カクニン>

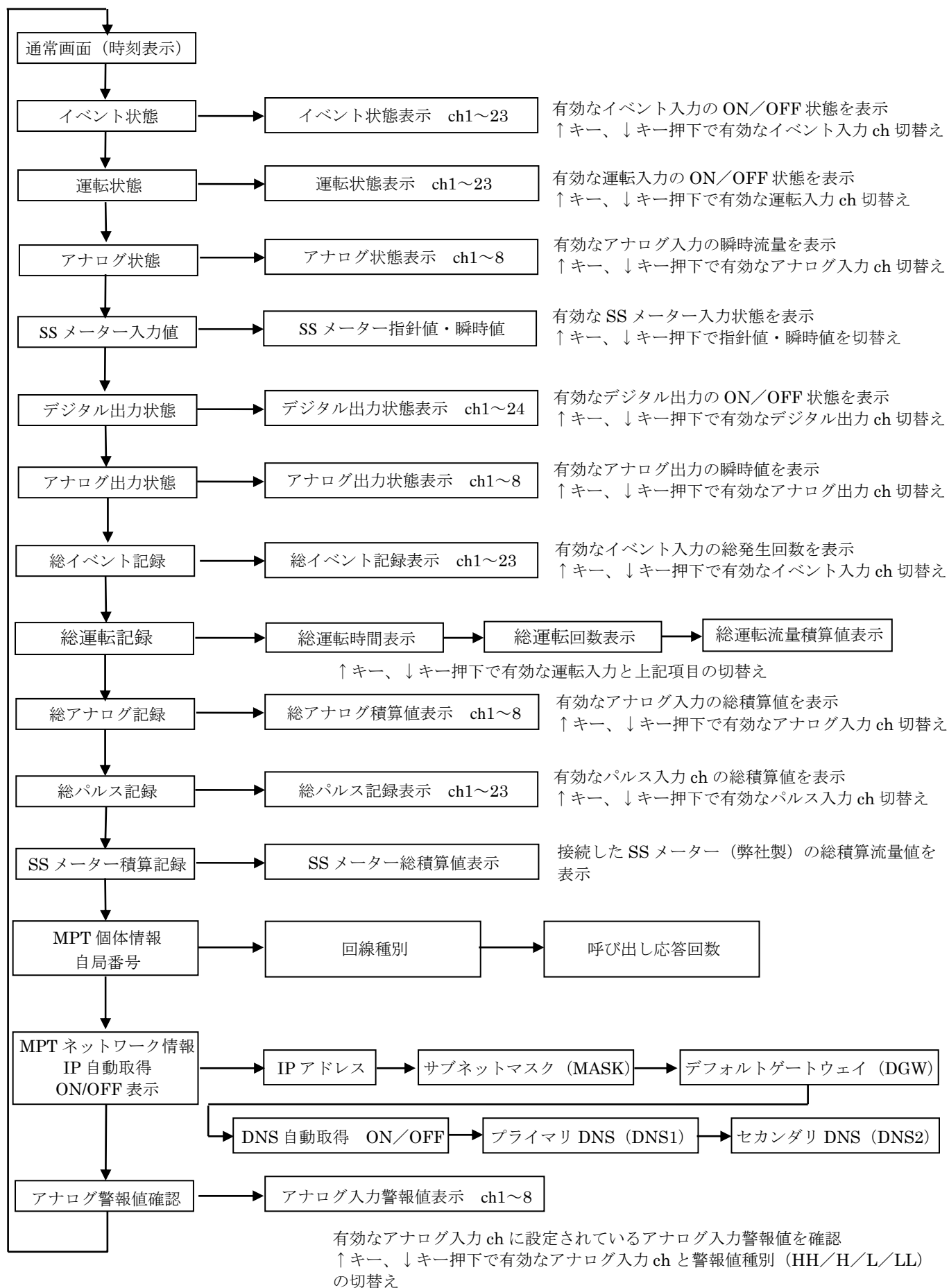
V

アナログ入力信号の上下限警報値 (HH/H/L/LL) を表示します。

↓↑キー操作で確認したい警報の種類を切替えます。

(アナログ入力信号の設定がない場合、2 行目の V は表示されません)

5.1.19 計測モードのフローチャート



5. 2 設定画面モード

- i) MPT 本体のモードスイッチを「運転」から「設定」に切替えて設定モードに移行します。
- ii) →キー、ESC キーを操作して設定したい項目の画面に切替え、↑↓キー操作でより詳細な設定箇所を選び ENT キーを押して設定開始となります。
選択した項目によって以下のように操作が異なります。

A.数値入力タイプ（時刻の設定など、数値入力で設定を行う場合）

カーソル（**_**）がある箇所の数値（0～9）を↑キー、↓キーで操作し、→キーで決定、ESC キーでキャンセル（バックスペース）となります。

数値を全て入力した後、ENT キーを押すことで設定を確定し各表示画面に戻ります。

カーソルを最初の位置に戻した状態で ESC キーを押すと設定をキャンセルして各表示画面に戻ることができます。

B.選択タイプ（機能の ON/OFF など、機能を選択する場合）

設定画面に移行すると選択項目が表示され、→キーでカーソルを動かし設定したい項目を選び ENT キーで設定を確定します。

ESC キーを押すことで設定をキャンセルして各表示画面に戻ります。

5.2.1 初期画面

カンセツモード

5.2.2 時計設定

<トケイセッテイ>

2012/09/21 12:23:00

数値入力によって本器の時計を設定します。

→キー、ESC キーを操作して設定したい年月日・時分秒の箇所にカーソルを合わせ、↑↓キー操作で入力したい数値を選択します。

入力が全て終了したら ENT キーを押して設定を確定します。

5.2.3 電話回線設定

<テンワカセツセッテイ>

ダイヤルタイプ

PB

・回線種別設定（ダイヤルタイプ）

本器接続の電話回線種別を設定します。PB（プッシュボタン）、DP10（ダイヤルパルス 10pps）、DP20（ダイヤルパルス 20pps）、FOMA から選択できます。

・電話回線状態チェック（テンワカセツチェック）

発信時に交換機からの発信音チェック機能の ON/OFF を選択します。

・呼び出し応答回数設定（チャクシンリョク）

外部から電話がかかってきた時に本器が着信応答する呼び出し応答回数の設定を行います。（有効範囲：1～15）

※5 回を超える呼出回数を設定した場合、ダイヤルアップでの PPP 接続が行えなくなる可能性がございます。この場合、必ず 5 回以内の回数に設定してご使用下さい。

5.2.4 MPT 個体設定

<MPTコタセッテイ>

TEL:01234567890

・自局番号設定（TEL:）

数値入力によって自局番号を設定します。

→キー、ESC キーを操作してカーソルを移動し、↑↓キー操作で入力したい数値を選択します。

入力が全て終了したら ENT キーを押して設定を確定します。

・プログラムバージョン確認

本体・アナログ出力ユニットデジタル出力ユニット・ディスプレイユニットサブ CPU のプログラムバージョンを確認できます。

↑↓キー操作で表示したい項目を切替えます。

5.2.5 報告書設定

<レポート書式設定>

レポート書式

ON

- ・月報送信設定 (レポート月報)
月報 FAX 機能の有無を ON/OFF で設定します。
↑ ↓ キー操作で ON/OFF を切替えます。
- ・日報送信設定 (レポート日報)
日報 FAX 機能の有無を ON/OFF で設定します。
↑ ↓ キー操作で ON/OFF を切替えます。
- ・送信時間設定 (レポート時間)
日月報 FAX の送信時刻 (有効範囲 00:00~06:00) の設定をします。
→ キー、ESC キーでカーソルを移動し ↑ ↓ キー操作で ON/OFF を切替えます。
入力が全て終了したら ENT キーを押して設定を確定します。

5.2.6 通報先設定

<通報先設定>

R01:09011111234

- ・通報先設定 (R :)
各通報先の電話番号、メールアドレス、IP アドレスを設定します。
R : のスペース部分に入る数字は通報先 No.を示しています。
→ キー、ESC キーでカーソルを移動し ↑ ↓ キー操作で入力したい番号もしくはアドレスを選択します。
入力が全て終了したら ENT キーを押して設定を確定します。
- ・機器種別
各通報先の機器種別を TEL、MAIL、FAX、LOG の中から選択できます。

5.2.7 ネットワーク設定

<ネットワーク設定>

IP 自動取得

ON

- ・IP 自動取得 (IP 自動取得) … IP アドレスの自動取得機能の ON/OFF を設定します。
- ・IP アドレス (IP) … IP アドレスの設定を数値入力によって行います。
- ・サブネットマスク (MASK) … サブネットマスクの設定を数値入力によって行います。
- ・デフォルトゲートウェイ (DGW) … デフォルトゲートウェイの設定を数値入力によって行います。
- ・DNS 自動取得 (DNS 自動取得) … DNS サーバアドレスの自動取得機能の ON/OFF を設定します。
IP アドレス自動取得機能 OFF 時は、DNS 自動取得機能 OFF を設定します。
- ・プライマリ DNS (DNS1) … プライマリ DNS の設定を数値入力によって行います。
- ・セカンダリ DNS (DNS2) … セカンダリ DNS の設定を数値入力によって行います。

5.2.8 アナログ警報値設定

<アナログ警報値設定>

V

- (HH/H/L/LL) の各種上下限警報の警報値を設定できます。
↑ ↓ キー操作で設定したい警報の種類を選び、ENT キーで決定し数値入力によって設定を行います。

5.2.9 総イベント記録設定

<総イベント記録設定>

V

- 各イベントの総発生回数を設定します。
↑ ↓ キー操作で設定を行うイベントを切替え、数値入力によって設定を行います。

※ イベント名称 + スペース + 数値 + 「カイ」が 15 文字を超える場合は、イベント名称を短縮して表示します。

5.2.10 総運転記録設定

<カウンタ入力設定>

V

- ・総運転時間設定…各運転入力の前運転時間（○時間●分）を設定します。
- ・総運転回数設定（トリ）…各運転入力の前運転回数を設定します。
- ・総運転流量積算値設定…各運転入力の前積算流量を設定します。

※↑↓キー操作で上記設定項目、および入力チャンネルを切替え設定します。

※イベント名称＋スペース＋数値＋単位名称が 15 文字を超える場合は、イベント名称を短縮して表示します。

5.2.11 総アナログ記録設定

<アナログ入力設定>

V

各アナログ入力の前積算値を設定します。

↑↓キー操作で設定したいアナログ入力チャンネルを切替え、数値入力によって設定を行います。

（設定の有効範囲は、数値 10 桁かつ単位変換エラーが発生しない値）

※アナログ名称＋スペース＋数値＋単位名称が 16 文字を超える場合はアナログ入力名称を短縮して表示します。

また、計測不能・数値 10 桁オーバー・単位変換エラーの場合は、「***」と表示されます。

5.2.12 総パルス記録設定

<パルス入力設定>

V

各パルス入力の前積算値を設定します。

↑↓キー操作で設定したいアナログ入力チャンネルを切替え、数値入力によって設定を行います。

（設定の有効範囲は、数値 10 桁かつ単位変換エラーが発生しない値）

※パルス名称＋スペース＋数値＋単位名称が 16 文字を超える場合は、パルス入力名称を短縮して表示します。

また、計測不能・数値 10 桁オーバー・単位変換エラーの場合は、「***」と表示されます。

5.2.13 イベントデータクリア

<イベントデータクリア>

V

動作履歴におけるイベントデータのオールクリアを行います。

イベント入力チャンネルにおける各種設定・総発生回数はクリアされません。

「クリア」を選択し ENTER ボタンで決定するとクリアが行われます。

5.2.14 運転時間データクリア

<運転時間データクリア>

V

各運転入力の前運転時間のクリアを行います。

運転入力チャンネルにおける各種設定・総運転記録（時間・回数）はクリアされません。

「クリア」を選択し ENTER ボタンで決定するとクリアが行われます。

5.2.15 アナログデータクリア

<アナログデータクリア>

V

各アナログ入力の 1 時間毎の流量や瞬時値などの各種計測データをクリアします。

アナログ入力チャンネルにおける各種設定、総積算値はクリアされません。

「クリア」を選択し ENTER ボタンで決定するとクリアが行われます。

5.2.16 パルスデータクリア

<パルスデータクリア>

V

各パルス入力 の 1 時間毎の積算データなどの各種計測データをクリアします。

パルス入力チャンネルにおける各種設定、総積算値はクリアされません。

「クリア」を選択し **ENTER** ボタンで決定するとクリアが行われます。

5.2.17 帳票データダウンロード

<チョウヒョウデータダウンロード>

指定した月の月報および日報をダウンロードし、USB ポートに接続した外部メディアに書き込みます。

ダウンロードを行いたい年月を入力し、**ENTER** ボタンで決定するとダウンロードが開始されます。

ファイル形式は CSV 形式となります。

(Nippouyymmdd.csv、Geppouyymm.csv)

5.2.18 動作履歴ダウンロード

<ドウサリキダウンロード>

最大 1000 件の動作履歴をダウンロードし、USB ポートに接続した外部メディアに書き込みます。

ファイル形式は CSV 形式となります。(DOUSA.csv)

「ジッコウ」を選択し、**ENTER** ボタンで決定するとダウンロードが開始されます。

5.2.19 デジタルログダウンロード

<デジタルログダウンロード>

最大 1000 件のデジタルイベント履歴をダウンロードし、USB ポートに接続した外部メディアに書き込みます。

「ジッコウ」を選択し、**ENTER** ボタンで決定するとダウンロードが開始されます。

ファイル形式は CSV 形式となります。(DIGLOG.csv)

5.2.20 設定データダウンロード

<セツテイデータダウンロード>

MPT800 の設定データを USB ポートに接続した外部メディアに転送します。

「ジッコウ」を選択し、**ENTER** ボタンで決定するとダウンロードが開始されます。

ファイル形式は INI 形式となります。(MPT800.ini)

5.2.21 設定データアップロード

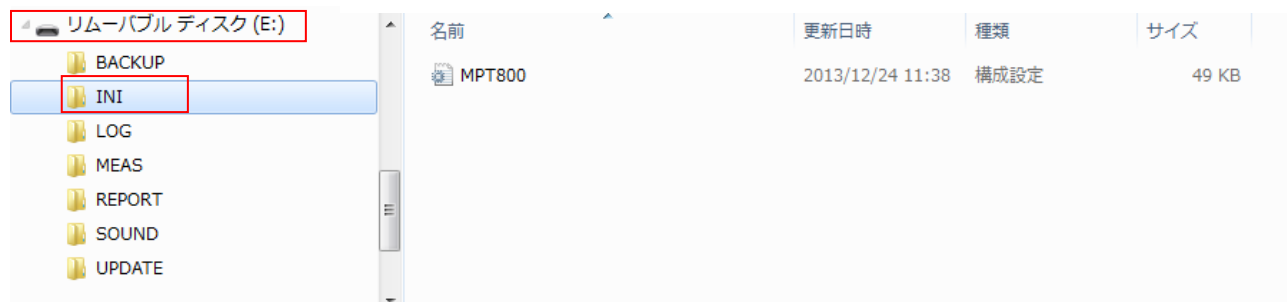
<セッテデータアップロード>

USB ポートに接続した外部メディアから MPT800 に設定データを転送します。

「ジッコウ」を選択し、ENTER ボタンで決定するとアップロードが開始されます。

ファイル形式は INI 形式となります。(MPT800.ini)

※ディスプレイユニットを使った設定データのアップロードの注意点



上の図のように半角大文字で「INI」というフォルダを作成し、その中に設定ファイルを入れアップロードを行います。

音声ファイルと同様に、アップロードの際、フォルダ名によって対象のファイルの位置を識別しているため、これ以外の名称では設定ファイルのアップロードは正常に行われません。

5.2.22 音声データダウンロード

<オンセデータダウンロード>

MPT800 の音声データを USB ポートに接続した外部メディアに転送します。

「ジッコウ」を選択し、ENTER ボタンで決定するとダウンロードが開始されます。

MPT800 内にある音声ファイルすべてがダウンロードされます。

ファイル形式は wav 形式になります。

5.2.23 音声データアップロード

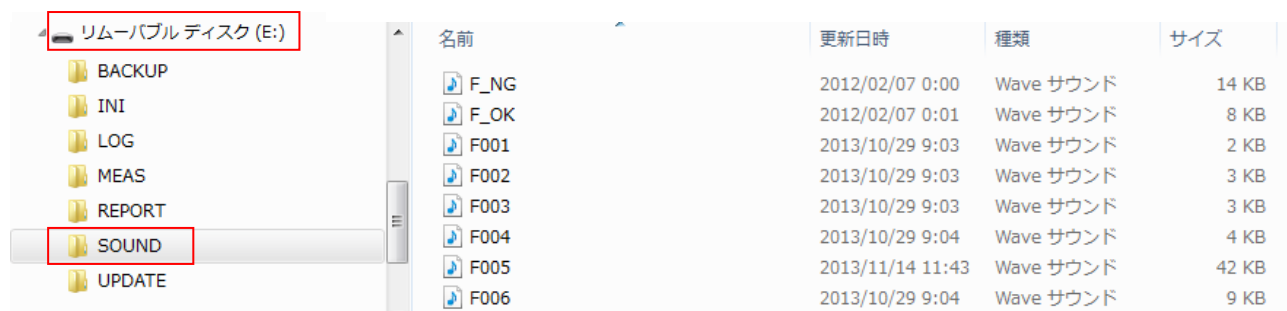
<オンセデータアップロード>

USB ポートに接続した外部メディアから MPT800 本体に音声データを転送します。

「ジッコウ」を選択し、ENTER ボタンで決定するとアップロードが開始されます。

ファイル形式は wav 形式になります。

※ディスプレイユニットを使った音声データのアップロードの注意点



音声ファイルの場合、前ページの図のように USB ポートに接続した外部メディアの一番上の階層に半角大文字で「SOUND」というフォルダを作成しその中に音声ファイルを格納します。

アップロードの際、フォルダ名によって対象のファイルの位置を識別しているため、これ以外の名称では音声のアップロードは正常に行われません。

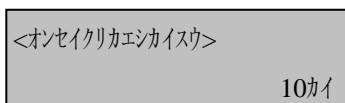
同様に音声ファイルのファイル名は「Y001」「Y002」など「メンテナンス」内の「音声ファイル編集」などに記載されている音声 ID をファイル名に使用して下さい。

SOUND フォルダ内の全ての音声ファイルが該当の名称の音声 ID にアップロードされます。

※初期調整・保存データリセット時は、データが全てフォルダに入った状態で操作して下さい。

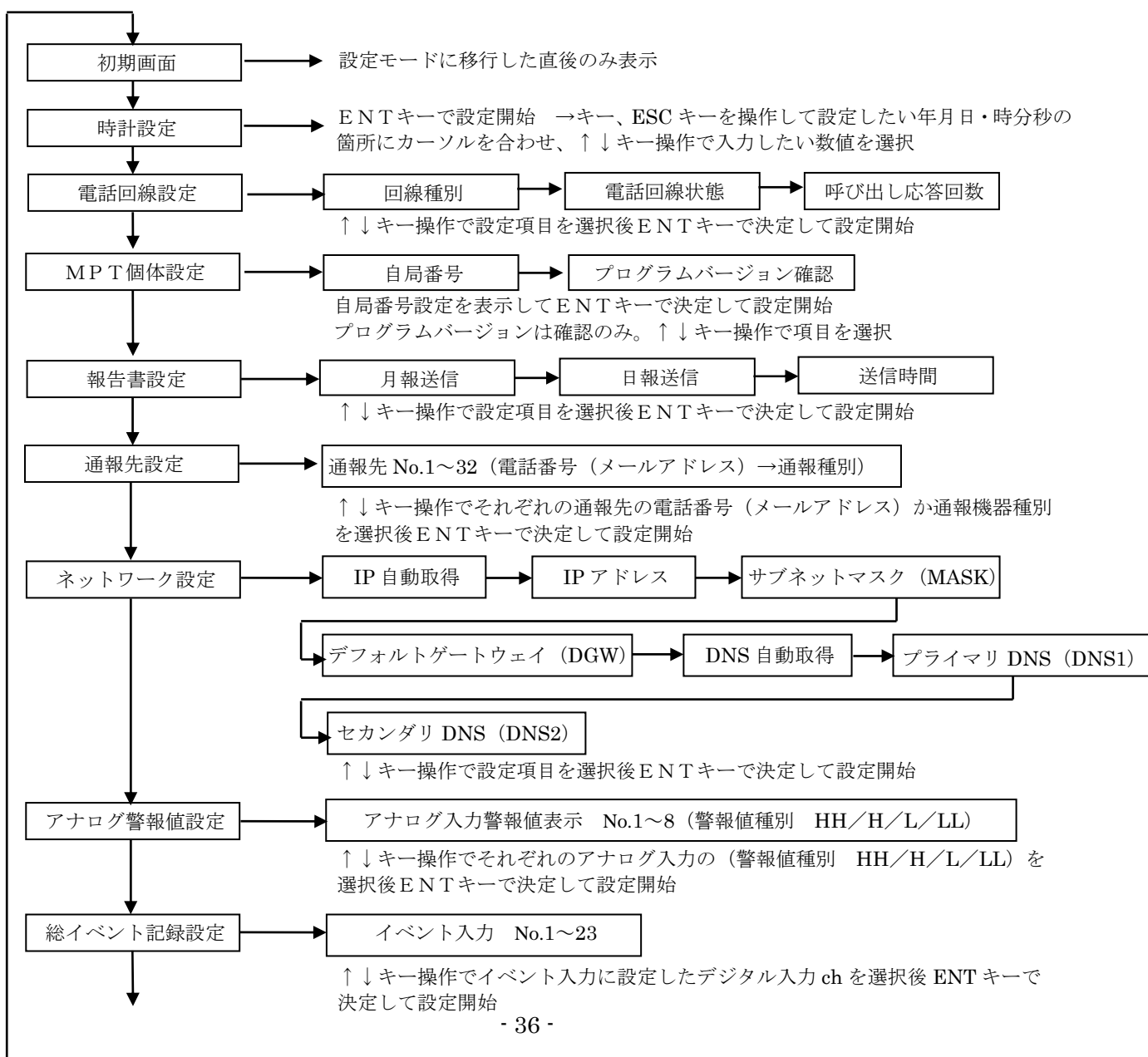
MPT800 にデータを入れ運用後に音声データを変更するときは、変更する音声データのみフォルダに入れて、アップロードします。(注意：音声データのアップロードは、10～15 分程度時間がかかります。USB メモリに 1 GB 程度の空き容量が必要です)

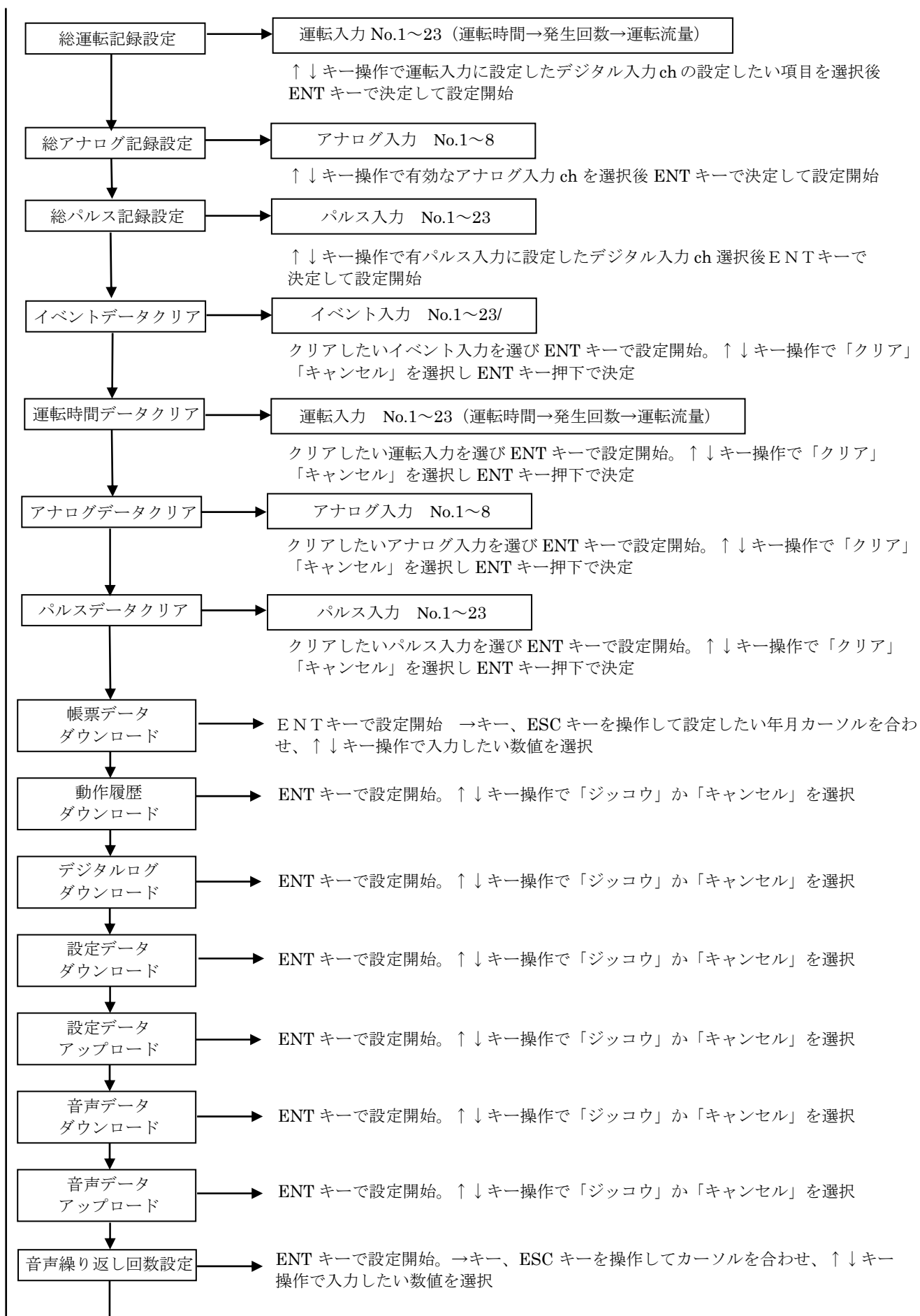
5.2.24 音声繰り返し回数設定



音声通報における音声データの繰り返し回数を設定します。
→キー、ESC キーを操作してカーソルを合わせ、↑↓キー操作で入力したい数値を選択します。
入力が全て終了したら ENT キーを押して設定を確定します。

5.2.25 設定モードフローチャート





5. 3 初期設定および細かな設定

1. 初期設定

本器の初期設定は弊社の認定したサービスマンが行います。

弊社のサービスマンが調整を行う場合、お買い上げの際に「MPT800 設定シート」という設定仕様のシートによって、弊社担当者と設定仕様について相互に周知がなされていることを、お確かめ下さい。

2. 設定データのアップロード

設定データが保有されている USB ポート接続の外部メディアからデータのアップロードを行うことにより、ディスプレイユニットによる操作で詳細な設定を一度に書き込むことができます。

3. 細かな設定

ディスプレイユニットによる設定以外の詳細な設定については、PC の MPT800 設定用 Web ページによる操作が必要になります。

本体のみですと設定操作を行うことはできません。

6. パソコンによる Web での取扱い方法

MPT800ログイン

現場名

ユーザー名

パスワード

注記：設定モード中は計測及び記録が行われません

現場名…初期設定：空白
基本設定画面で変更可能

ユーザー名…初期設定：「admin」

パスワード…初期設定：「aichitokei」

※下記「設定・編集メニュー」、「メンテナンスメニュー」にアクセスできるのは管理者権限のユーザーのみとなります。

設定については 59 ページ「6.1.13 Web 設定画面」をご覧ください。

※URL は [http:// \(設定した IP アドレス\) /login.cgi](http://(設定した IP アドレス)/login.cgi)
本体 IP アドレス (工場出荷時)：192.168.253.100

6. 1 設定・編集メニュー

【設定変更の反映方法について】

設定・編集メニュー内の各項目にはページ下部に「一時保存」「再読み込み」のボタンがあります。設定を変更した後、ページを移動させる前に必ず「一時保存」のボタンをクリックして下さい。この手順を行うと変更した項目の内容が MPT800 に一旦記憶されます。一時保存せずに、画面を切り替えようとすると、メッセージが表示されますので、該当する項目を選択して下さい。

「再読み込み」ボタンを押すと、変更した項目はすべて設定を行う前の状態に戻ります。

全てのページでの設定が終了しましたら、メニュー内の「設定情報の書き込み」で設定した情報を全て MPT800 に書き込みます。以上で設定変更の完了となります。

変更した項目を破棄したい場合は上記設定情報の書き込みを行う前に「トップメニューに戻る」の項目から一旦トップメニューに戻りますと、全ての設定項目が変更前の状態に戻ります。

現在時刻: ---:--:--

MPT800トップメニュー

ファームウェア	0.05L
MAC アドレス	00-0C-F4-01-4D-10
地区名	
設置場所	
設定ファイル名	MPT800
自局番号	

設定・編集

閲覧

メンテナンス

現場名:MPT800設置場所名
MPT800設定・編集メニュー
[トップメニューに戻る](#)

[基本設定]
[基本設定](#)
[\[入出力設定\]](#)
[デジタル入力設定](#)
[アナログ入力設定](#)
[内部イベント設定](#)
[デジタル/アナログ出力共通設定](#)
[デジタル出力設定](#)
[アナログ出力設定](#)
[\[通報設定\]](#)
[通報先編集](#)
[通報グループ設定](#)
[通報先選択](#)
[休日・リトライ設定](#)
[\[ネットワーク設定\]](#)
[ネットワーク設定](#)
[\[メール設定\]](#)
[メール設定](#)
[\[Web設定\]](#)
[Web設定](#)
[\[テレメータ通信設定\]](#)
[テレメータ通信設定](#)
[\[レポート設定\]](#)
[レポートフォーマット設定](#)
[\[音声設定\]](#)
[音声設定](#)
[\[特殊設定\]](#)
[特殊設定](#)
[NTP設定](#)
[\[設定情報保存\]](#)
[設定情報書き込み](#)
[\[ファームアップデート\]](#)
[ファームアップデート](#)
[\[ログアウト\]](#)
[ログアウト](#)

ログインタイムアウト 再度ログイン画面に戻ってログインし直してください。

一定時間を過ぎるとタイムアウトとなり
5 秒後にログイン画面に自動遷移する

回線接続での Web 画面操作にて 5 分以上操作が行われないと回線を自動切断する

詳細な設定を変更できます

6.1.1 基本設定画面

MPT800基本設定

地区名	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
設置場所名	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
プログラムバージョン	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 本体 アナログ出力ユニット デジタル出力ユニット ディスプレイユニット サブCPU </div> <div> 0.20X ----- ----- 1.00A 1.00A </div> </div>	
自局番号	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
回線種別	<input checked="" type="radio"/> PB <input type="radio"/> DP10 <input type="radio"/> DP20 <input type="radio"/> FOMA	
呼び出し応答回数	3 <input type="button" value="▼"/>	
通話通報優先	<input checked="" type="radio"/> 通報優先 <input type="radio"/> 電話優先	
極性反転有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
外線特番有無	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
外線接続特番	<input style="width: 90%;" type="text"/>	
テレコン操作用暗証番号	<input style="width: 90%;" type="text" value="0000"/>	
モデム接続用暗証番号	<input style="width: 90%;" type="text" value="9999"/>	
テレコン設定用暗証番号	<input style="width: 90%;" type="text" value="2222"/>	

項 目 名	入 力（選択） 範囲	詳 細
地区名	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	設置してある場所の地域名を入力して下さい。
設置場所名	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	設置してある施設の名前を入力して下さい。 ここに入力された内容が「現場名」として設定・変更メニューの上部などに表示されます。
プログラムバージョン	自動表示	ソフトウェアのプログラムバージョンが表示されます、サブ CPU 及び本器に接続されている周辺機器のバージョンもここに表示されます。
自局番号	半角 32 文字(ハイフンは使わないこと)	設置先の電話番号を入力して下さい。 コールと接続する場合はここに入力された番号が端末の識別番号になります（回線使用しない場合も含む）。
回線種別	PB/DP10/DP20/FOMA	使用する回線の種別を選択して下さい。
呼び出し応答回数	1～15	テレコン操作などで本器と通信を行った際、設定されたコール回数後、本器が応答します。 PPP によるダイヤルアップ接続を使用する場合、5 回以内の回数に設定して下さい。 タイムアウトにより接続を確立できない場合があります。
通話通報優先	通報優先／電話優先	テレコン操作などで本器と通話中にイベント通報が発生した場合、「電話優先」に設定しますとそのまま通話を続行し、イベント通報を通話終了後に行います。「通報優先」に設定しますとその時点で通話を中断し、即時イベント通報を行います。
極性反転有無	あり／なし	通報時の回線極性反転検知機能有無を設定します。 通常は相手応答時に極性反転しますので、その検知をもって相手応答と判断するため、「あり」に設定して下さい。
外線特番有無	あり／なし	通報時などで外部と通信を行う際の電話番号に、特定の番号を付加させる機能の有無を設定できます。
外線接続特番	半角 4 文字以内(0～9, #)	「外線特番有無」の項目を「あり」に設定すると、ここに入力された番号が自動的に外部との通信時に付加されます。
テレコン操作用暗証番号	0000～9999	テレコン操作を行う際の暗証番号として適用されます。
モデム接続用暗証番号	0000～9999	モデム接続を行う際の暗証番号として適用されます。
テレコン設定用暗証番号	0000～9999	テレコンで時刻設定を行う際の暗証番号として適用されます。

6.1.2 デジタル入力設定画面（CH1～CH23）

MPT800デジタル入力設定

チャンネル番号1 選択 1 変更

デジタル使用	<input type="radio"/> 未使用 <input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 子局連動	
デジタル名称	<input style="width: 100%;" type="text" value="デジタル1"/>	
LCDデジタル名称	<input style="width: 100%;" type="text" value="デジタルch1"/>	
デジタル種別	イベント	
接点ON時名称	<input style="width: 100%;" type="text" value="発生"/>	
ON時通報有無	する	
接点OFF時名称	<input style="width: 100%;" type="text" value="復帰"/>	
OFF時通報有無	しない	
(運転入力選択時)	運転流量使用	<input checked="" type="radio"/> 未使用 <input type="radio"/> 使用
	運転流量名称	<input style="width: 100%;" type="text" value="運転流量1"/>
	運転流量LCD名称	<input style="width: 100%;" type="text" value="運転流量1"/>
	吐出力	<input style="width: 100%;" type="text" value="1.00"/> [m3/min]
(パルス選択時)	パルス単位変換係数	1
	単位	m3
端子論理	<input checked="" type="radio"/> a接点 <input type="radio"/> b接点	
入力判定時間	<input type="radio"/> 0.3秒 <input checked="" type="radio"/> 1-600秒	
	<input style="width: 100%;" type="text" value="1"/> 秒	
(子局指定連動選択時)	連動子局No	1
	子局現場名称	<input style="width: 100%;" type="text" value=""/>
	連動デジタル入力チャンネル番号	1

一時保存
再読み込み

項 目 名	入 力（選 択） 範 囲	詳 細
チャンネル番号	— (24 は別ページで別途説明)	表示されている設定情報のチャンネル番号です。
選択（変更ボタン）	1～24	編集したいデジタル入力チャンネルの番号を選択してから変更ボタンを押すことでチャンネル番号・表示内容を切り替えます。
デジタル使用	未使用／使用／子局連動	選択したデジタル入力チャンネルの使用／未使用／子局連動が選択できます。 (子局連動…テレメータ通信を行っているとき、子局側の入力信号を本器(親局)のデジタル入力信号チャンネルに割り付け、帳票などに展開します)
デジタル名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するデジタル入力のチャンネル名称を入力して下さい。
LCD デジタル名称	半角 16 文字以内	ディスプレイエントに表示するデジタル入力のチャンネル名称を入力して下さい。半角カタカナ・英数字での入力となります。
デジタル種別	イベント／運転入力／パルス／通報停止	デジタル入力の使用種別を選択できます。 CH23 のみ「通報停止」入力が選択項目に追加される。
接点 ON 時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	デジタル入力発生時の名称を変更できます。 例として「故障」と入力すると「デジタル入力 1 発生」から「デジタル入力 1 故障」という表記になります。
ON 時通報有無	する／しない	デジタル入力発生時の通報する／しないを選択できます。
接点 OFF 時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	デジタル入力復帰時の名称を変更できます。
OFF 時通報有無	する／しない	デジタル入力復帰時の通報する／しないを選択できます。
(運転入力選択時) 運転流量使用	未使用／使用	「デジタル種別」の項目を「運転入力」に設定した際、流量の演算を同時に行うかどうかを選択できます。
(運転入力選択時) 運転流量名称	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	演算を行うチャンネルの流量にデジタル名称とは別に名称が設定できます。
(運転入力選択時) 運転流量 LCD 名称	半角 16 文字以内	上記流量名称をディスプレイエントに表示する際の名称を入力して下さい。半角カタカナ・英数字での入力となります。
(運転入力選択時) 吐出力	0.00～1000.00 (単位：m3/min)	デジタル入力発生により、1 分間あたり何 m ³ を本器が計測するかを設定できます。 初期値では「1.00」となっており、1 分間の発生で 1.00 m ³ 、1 時間で 60.00 m ³ という流量になります。

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
(パルス選択時) パルス単位変換係数	0.1/0.5/1/5/10	パルス信号 1 回の発生毎に本器が計測する係数を選択できます。 初期値では「1」となっておりますが、例として「0.5」に設定すると 600 回の発生で測定する数値は「300」となります。
(パルス選択時) 単位	半角 6 文字以内	パルス信号の測定数値の単位を設定できます。
端子論理	a 接点/b 接点	a 接点に設定するとデジタル信号発生時に接点閉とみなしデジタル入力が発生となります。 b 接点に設定するとデジタル信号発生時に接点開とみなしデジタル入力が発生となります。
入力判定時間	0.3 秒、1～600 秒	信号が発生してからここで設定した時間が経過するとデジタル入力発生を本器が検知します。 ※「CH23」は通報停止に選択をした場合「1 秒」固定
(子局指定連動選択時) 連動子局 No	1～5	表示条件：「テレメタ通信設定」－「テレメタ通信有無」で「あり」選択時。 連動させる子局を選択します。
(子局指定連動選択時) 子局現場名称	全角 16 文字(半角 32 文字以内)	表示条件：「テレメタ通信設定」－「テレメタ通信有無」で「あり」選択時。 連動する子局の現場名称を設定します。
(子局指定連動選択時) 連動デジタル入力チャンネル番号	1～23	表示条件：「テレメタ通信設定」－「テレメタ通信有無」で「あり」選択時。 選択した子局の連動させたいデジタル入力チャンネルを選択します。

6.1.3 デジタル入力設定画面（CH24）

MPT800デジタル入力設定

チャンネル番号24 選択 24 変更

SSメータ使用 ☒ 未使用 ☐ 口径400mm以下 ☐ 口径450mm以上

SSメータ名称

LCD SSメータ名称

移動平均回数(1-20) 回

一時保存
再読み込み

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
チャンネル番号	24	デジタル入力チャンネル 24 の設定情報画面です。
選択（変更ボタン）	1～24	編集したいデジタル入力チャンネルの番号を選択してから変更ボタンを押すことでチャンネル番号・表示内容を切り替えます。
SSメータ使用	未使用／口径 400mm 以下／ 口径 450mm 以上	選択したデジタル入力チャンネルの未使用／口径を選択できます。 SU,SW,SA,AGV400mm 以下は同値 AGV450mm 以上は 10 倍
SSメータ名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するデジタル入力のチャンネル名称を入力して下さい。
LCD SSメータ名称	半角 16 文字以内	ディスプレイに表示するデジタル入力のチャンネル名称を入力して下さい。半角カナ・英数字での入力となります。
移動平均回数(1-20)	1～20	SSメータの移動平均回数が設定できます。

6.1.4 アナログ入力設定画面

MPT800アナログ入力設定

チャンネル番号1 選択 [1] 変更

アナログ名称

アナログLCD名称

チャンネル使用

瞬時値/積算値

単位

集計単位

HIGH入力値

LOW入力値

小数点位置

流量カット(%)

警報判定時間

アナログ入力1

アナログch1

☐ 未使用 ☒ 使用 ☐ 子局連動

☒ 瞬時値 ☐ 積算値

m8/h

☒ /hour ☐ /min ☐ /sec

1000

0

1

0

60 秒

(子局指定連動選択時)連動子局No. 1

連動アナログ入力チャンネル 1

欠測値の扱い 前回値のまま

子局現場名称

イベント No	イベント 名	イベント 使用	名称	LCD名称	警報値	発生時名称	通報有 無	復帰時名称	通報有 無
イベント 25	HH警報	<input type="checkbox"/>	アナログch1-HH警報	アナログch1-HH	9999	発生	<input type="checkbox"/>	復帰	<input type="checkbox"/>
イベント 26	H警報	<input type="checkbox"/>	アナログch1-H警報	アナログch1-H	9999	発生	<input type="checkbox"/>	復帰	<input type="checkbox"/>
イベント 27	L警報	<input type="checkbox"/>	アナログch1-L警報	アナログch1-L	-9999	発生	<input type="checkbox"/>	復帰	<input type="checkbox"/>
イベント 28	LL警報	<input type="checkbox"/>	アナログch1-LL警報	アナログch1-LL	-9999	発生	<input type="checkbox"/>	復帰	<input type="checkbox"/>
イベント 29	断線警報	<input type="checkbox"/>	アナログch1-断線	アナログch1-断線	-	発生	<input type="checkbox"/>	復帰	<input type="checkbox"/>

一時保存 再読み込み

各チャンネルのアナログ上下限警報・断線警報のイベント番号対応表（小さい番号から HH 警報、H 警報、L 警報、LL 警報、断線）

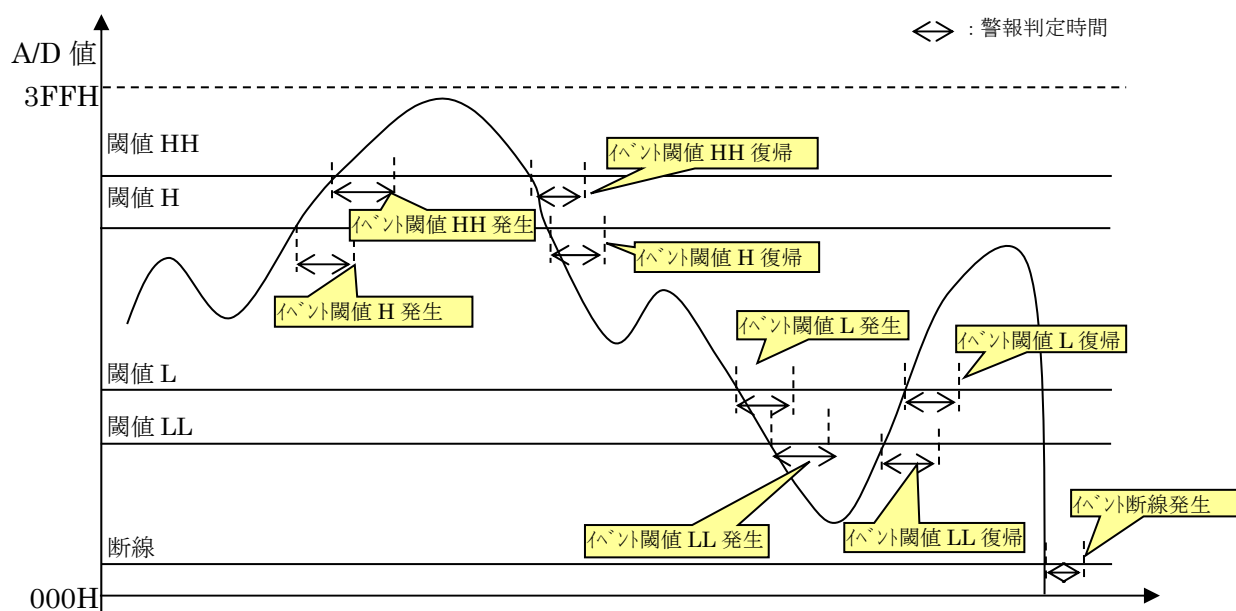
チャンネル番号	イベント No
1	25 26 27 28 29
2	30 31 32 33 34
3	35 36 37 38 39
4	40 41 42 43 44
5	45 46 47 48 49
6	50 51 52 53 54
7	55 56 57 58 59
8	60 61 62 63 64

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
チャンネル番号	—	表示されている設定情報のチャンネル番号です。
選択（変更ボタン）	1～8	編集したいアナログ入力チャンネルの番号を選択してから変更ボタンを押すことでチャンネル番号・表示内容を切り替えます。
アナログ名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するアナログ入力のチャンネル名称を入力して下さい。
アナログ LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するアナログ入力のチャンネル名称を入力して下さい。半角カタカナ・英数字での入力となります。
チャンネル使用	未使用／使用／子局連動	選択したアナログ入力チャンネルの使用／未使用／子局連動が選択できます。 (子局連動…テレメータ通信を行っているとき、子局側の入力信号を本器(親局)のデジタル入力信号チャンネルに割り付け、帳票などに展開します)

項 目 名		入力（選択）範囲	詳 細
瞬時値／積算値		瞬時値／積算値 ／SS 指針値(※1) ／SS 瞬時値(※2) (※1:ch7 のみ SS 指針値が選択可能。 ※2:ch8 のみ SS 瞬時値が選択可能)	対象のアナログ入力 of 計測方法を設定します。 瞬時値に設定すると流量の瞬間の値を常に測定し 1 分間平均・1 時間平均という形で帳票に記載します。 積算値に設定すると測定した瞬間の流量をもとに 1 分間、1 時間合計でどれくらいの流量があったのかという形での帳票への記載になります。 デジタル ch24 使用時のみ、ch7 は SS 指針値を、ch8 は SS 瞬時値が選択できます。(SS 指針値は 1.8 秒ごとの SS 指針値を、SS 瞬時値は 1.8 秒ごとの SS 瞬時値を取り込みます)
単位		半角 6 文字以内	測定した流量の単位を設定できます。
集計単位		/hour, /min, /sec	チャンネルの集計方法を積算値に設定していた場合の、流量の単位を設定できます。 /sec だと 1 秒間、/min だと 1 分間、/hour だと 1 時間で、HIGH 入力・LOW 入力 で設定したチャンネルの流量が計測されます。
HIGH 入力値		-9998～9999	最大値の信号を計測したときにどれくらいの流量として計測するかの設定ができます。
LOW 入力値		-9999～9998	最小値の信号を計測したときにどれくらいの流量として計測するかの設定ができます。
小数点位置		0.001／0.01／0.1／1	小数点以下の値を、第何桁まで測定するかの設定ができます。
流量カット(%)		0～10%	流量が最大値から計算してここで設定された割合以下の場合、流量を 0 として測定します。
警報判定時間		1～600 秒	上下限通報・断線などの警報が発生し、ここに入力した時間が経過すると本器がそれを検知し通報を行います。
(子局指定連動選択時) 連動子局 No		1～5	表示条件:「テレメータ通信設定」-「テレメータ通信有無」で「あり」選択時。連動させる子局を選択します。
(子局指定連動選択時) 連動アナログ入力チャンネル		1～8	表示条件:「テレメータ通信設定」-「テレメータ通信有無」で「あり」選択時。選択した子局の連動させたいアナログ入力チャンネルを選択します。
(子局指定連動選択時) 欠測値の扱い		前回値のまま／0 出力	表示条件:「テレメータ通信設定」-「テレメータ通信有無」で「あり」選択時。欠測を検出した場合の入力値の扱いを選択します。
(子局指定連動選択時) 子局現場名称		全角 16 文字(半角 32 文字)以内	表示条件:「テレメータ通信設定」-「テレメータ通信有無」で「あり」選択時。連動する子局の現場名称を設定します。
HH 警報	イベント No25	—	チャンネル選択すると対象のイベント No を自動表示します。
	イベント名	—	チャンネル選択すると対象のイベント名を自動表示します。
	イベント使用	未使用／使用 ※レ点チェックすると”使用”	選択したイベントの使用／未使用を選択できます。
	名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するイベント名称を入力して下さい。
	LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するイベント名称を入力して下さい。 半角カタカナ・英数字での入力となります。
	警報値	-9999.000～9999.000 ※小数桁は、”小数点位置”設定に連動	HH 警報の閾値を設定できます。 未使用の場合は初期値のままで設定して下さい。
	発生時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント発生時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント発生時の通報する／しないを選択できます。
	復帰時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント復帰時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント復帰時の通報する／しないを選択できます。

項 目 名		入 力（選 択） 範 囲	詳 細
H 警 報	イベント No26	—	チャンネル選択すると対象のイベント No を自動表示します。
	イベント名	—	チャンネル選択すると対象のイベント名を自動表示します。
	イベント使用	使用／未使用 ※レ点チェックすると”使用”	選択したイベントの使用／未使用を選択できます。
	名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するイベント名称を入力して下さい。
	LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するイベント名称を入力して下さい。 半角カタカナ・英数字での入力となります。
	警報値	-9999.000～9999.000 ※小数桁は、”小数点位置”設定に連動	H 警報の閾値を設定できます。 未使用の場合は初期値のままで設定して下さい。
	発生時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント発生時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント発生時の通報する／しないを選択できます。
	復帰時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント復帰時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント復帰時の通報する／しないを選択できます。
L 警 報	イベント No27	—	チャンネル選択すると対象のイベント No を自動表示します。
	イベント名	—	チャンネル選択すると対象のイベント名を自動表示します。
	イベント使用	使用／未使用 ※レ点チェックすると”使用”	選択したイベントの使用／未使用を選択できます。
	名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するイベント名称を入力して下さい。
	LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するイベント名称を入力して下さい。 半角カタカナ・英数字での入力となります。
	警報値	-9999.000～9999.000 ※小数桁は、”小数点位置”設定に連動	L 警報の閾値を設定できます。 未使用の場合は初期値のままで設定して下さい。
	発生時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント発生時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント発生時の通報する／しないを選択できます。
	復帰時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント復帰時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント復帰時の通報する／しないを選択できます。
LL 警 報	イベント No28	—	チャンネル選択すると対象のイベント No を自動表示します。
	イベント名	—	チャンネル選択すると対象のイベント名を自動表示します。
	イベント使用	使用／未使用 ※レ点チェックすると”使用”	選択したイベントの使用／未使用を選択できます。
	名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するイベント名称を入力して下さい。
	LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するイベント名称を入力して下さい。 半角カタカナ・英数字での入力となります。
	警報値	-9999.000～9999.000 ※小数桁は、”小数点位置”設定に連動	LL 警報の閾値を設定できます。 未使用の場合は初期値のままで設定して下さい。
	発生時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント発生時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント発生時の通報する／しないを選択できます。
	復帰時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント復帰時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント復帰時の通報する／しないを選択できます。

項 目 名		入力（選択）範囲	詳 細
断線 警報	イベント No29	—	チャンネル選択すると対象のイベント No が自動表示します。
	イベント名称	—	チャンネル選択すると対象のイベント名が自動表示します。
	イベント使用	使用／未使用 ※レ点チェックすると”使用”	選択したイベントの使用／未使用を選択できます。
	名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	Web 画面や帳票などに表示するイベント名称を入力して下さい。
	LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するイベント名称を入力して下さい。 半角カタカナ・英数字での入力となります。
	警報値	—	3.6mA 以下は断線扱いとなります。
	発生時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント発生時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント発生時の通報する／しないを選択できます。
	復帰時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント復帰時の通報名称を入力して下さい。
	通報有無	する／しない ※レ点チェックすると”通報する”	イベント復帰時の通報する／しないを選択できます。



6.1.5 内部イベント設定画面

MPT800内部イベント設定					
イベントNo	イベント名称	発生時名称	復帰時名称	発生時有無	復帰時有無
イベント65	(SS)電池電圧低下	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント66	(SS)乾水	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント67	(SS)通信異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント68	日報	-	-	する▼	-
イベント69	月報	-	-	する▼	-
イベント70	テレコン送信	-	-	する▼	-
イベント71	停電	発生	復帰	する▼	する▼
イベント72	時計電池電圧低下	発生	-	しない▼	-
イベント73	バッテリ電圧低下	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント74	FLASHエラー	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント75	SUMエラー	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント76	プログラムエラー	発生	-	しない▼	-
イベント77	出力操作	発生	-	しない▼	-
イベント78	子局1通信異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント79	子局2通信異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント80	子局3通信異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント81	子局4通信異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント82	子局5通信異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント87	デジタル出力異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント88	アナログ出力異常	発生	復帰	しない▼	しない▼
イベント89	定時通報	-	-	しない▼	-
	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 毎時 <input type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎週 <input type="radio"/> 毎月 <input type="radio"/> 毎年 <input type="radio"/> 指定日 <input type="radio"/> 定時間隔(毎分)	指定日付 時刻 2001 年 1 月 1 日 0 時 0 分 開始時刻 0 時 0 分 周期 (10分)▼ アナログ瞬時値状態確認メッセージ <input checked="" type="radio"/> 付加しない <input type="radio"/> 付加する			
イベント90	ログ一接続	-	-	しない▼	-

一時保存 再読み込み

項 目 名	入 力 (選択) 範囲	詳 細
イベント No65	—	(SS)電池電圧低下 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No66	—	(SS)乾水 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No67	—	(SS)通信異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No68	—	日報
イベント名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	イベント名称を変更できます。
発生時の有無	する／しない	イベント発生時の通報する／しないを設定できます。
イベント No69	—	月報
イベント名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	イベント名称を変更できます。
発生時の有無	する／しない	イベント発生時の通報する／しないを設定できます。
イベント No70	—	テレコン送信
イベント名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	イベント名称を変更できます。
発生時の有無	する／しない	イベント発生時の通報する／しないを設定できます。

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
イベント No71	—	停電／復電
イベント名称	全角 8 文字(半角 16 文字)以内	イベント名称を変更できます。
発生時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント発生時の名称を設定できます。 例として「発生」から「確認」と変更すると、メッセージは「停電(復電)確認」という表記になります。
復帰時名称	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	イベント復帰時の名称を設定できます。
発生時の有無	する／しない	イベント発生時の通報する／しないを設定できます。
復帰時の有無	する／しない	イベント復帰時の通報する／しないを設定できます。
イベント No72	—	時計電池電圧低下 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No73	—	バッテリー電圧低下 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No74	—	FLASH エラー 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No75	—	SUM エラー 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No76	—	プログラムエラー 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No77	—	制御出力操作 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No78	—	子局 1 通信異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No79	—	子局 2 通信異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No80	—	子局 3 通信異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No81	—	子局 4 通信異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No82	—	子局 5 通信異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No87	—	デジタル出力異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No88	—	アナログ出力異常 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
イベント No89	—	定時通報（使用する場合は、6.1.11 通報先選択画面に注意事項を記載しています）
イベント名称	—	イベント名称は変更できますが、特別な理由がない限り編集の必要はありません。
発生時の有無	する／しない	定時通報をする／しないを設定できます。
通報周期	なし／毎時／毎日／毎週／ 毎月／毎年／指定日／ 定時間隔(毎分)	通報周期を選択し、年月日時分などを入力します。 ・なし……入力できません。 ・毎時……〇〇分を入力。 ・毎日……△△時〇〇分を入力。 ・毎週……日曜～土曜の選択と△△時〇〇分を入力。 ・毎月……□□日△△時〇〇分を入力。 ・毎年……××月□□日△△時〇〇分を入力。 ・指定日……◇◇◇◇年××月□□日△△時〇〇分を入力。 ・定時間隔(毎分)……開始時刻△△時〇〇分の入力と周期(10、15、20、30 分)を選択。
アナログ 瞬時値状態確認メッセージ	付加しない／付加する	定時通報を行うとき、その時点のアナログ 瞬時値をイベント信号の後に音声通報をするかを選択します。
イベント No90	—	カギ通報 特別な理由がない限り編集の必要はありません。
発生時の有無	する／しない	カギ通報をする／しないを設定できます。

6.1.6 デジタル／アナログ出力共通設定画面（オプション使用時のみ選択すること）

MPT800 デジタル／アナログ出力共通設定

出力ユニット接続形態 なし

一時保存
再読み込み

項 目 名	入 力（選 択） 範 囲	詳 細
出力ユニット接続形態	なし、 アナログ、アナログ／アナログ、 デジタル、デジタル／デジタル、 アナログ／デジタル	接続する出力ユニットの種類・個数を選択します。

6.1.7 デジタル出力設定画面（デジタル／アナログ出力共通設定で、デジタル出力ユニット選択時）

MPT800デジタル出力設定

チャンネル番号1 選択
1
変更

出力名称 デジタル出力1

LCD出力名称 デジタルOUT1

出力使用 ☒ 未使用 ☐ 使用

出力用途 制御

出力方法 ☒ ON継続 ☐ ワンショット

(ワンショット時) 時間(1～600) 1 秒

(イベント連動選択時) 連動外部イベントNo 1

(アナログ警報選択時) 連動アナログ入力 1

アナログ警報

(子局指定連動選択時) 連動子局No 1

子局現場名称

連動デジタル入力チャンネル番号 1

☐ HH警報 ☐ H警報

☐ L警報 ☐ LL警報

☐ 断線

一時保存
再読み込み

項 目 名	入 力（選 択） 範 囲	詳 細
チャンネル番号	—	表示されている設定情報のチャンネル番号です。
選択（変更ボタン）	1～48 (デジタル出力ユニットを 1 台使用する ときは、1～24 が選択可能。 デジタル出力ユニットを 2 台使用する ときは、1～48 が選択可能)	編集したいデジタル出力チャンネルの番号を選択してから変更ボタンを押すことでチャンネル番号・表示内容を切り替えます。
出力名称	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	各デジタル出力の名称を設定できます。
LCD 出力名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するデジタル出力名称を入力して下さい。 半角カナ・英数字での入力となります。
出力使用	未使用／使用	選択したデジタル出力の使用／未使用を選択できます。
出力用途	CH により選択肢は異なる (※1：設定項目一覧参照)	選択したデジタル出力の種別を選択できます。 (次ページの設定項目一覧を併せてご覧下さい)

項 目 名	入 力（選択）範囲	詳 細
出力制御方法	ON 継続／ワシヨット	選択したデジタル出力の制御方法を選択できます。
(ワシヨット時) 時間	1～600 秒	「ワシヨット」を選択した際、出力する信号の継続時間を設定できます。
(イベント連動選択時) 連動外部イベント No	1～24	連動させたいチャンネル番号を選択します。
(アナログ警報選択時) 連動アナログ入力	1～8	警報を連動させたいアナログ入力チャンネルを選択します。
(アナログ警報選択時) アナログ警報	HH 警報／H 警報／L 警報／LL 警報／断線	連動させるアナログ警報を選択します。
(子局指定連動時) 連動子局 No	1～5	連動させる子局を選択します。
(子局指定連動時) 子局現場名称	全角 16 文字(半角 32 文字)入力	連動する子局の現場名称を設定します。
(子局指定連動時) 連動デジタル入力チャンネル番号	1～23	選択した子局の連動させたいデジタル入力チャンネルを選択します。

※ 1 設定項目一覧

チャンネル番号	選択可能項目	追加選択可能項目
1～14	制御／イベント連動／アナログ警報／子局指定連動	—
15		本体異常
16		子局 1 通信異常
17		子局 2 通信異常
18		子局 3 通信異常
19		子局 4 通信異常
20		子局 5 通信異常
21		(SS)通信異常
22		(SS)乾水
23		(SS)電池電圧低下
24		停電

” 停電 ” 選択時は、通電時 ON 出力固定となる為、出力方法(ON 継続／ワシヨット)の選択不可

6.1.8 アナログ出力設定画面（デジタル/アナログ出力共通設定で、アナログ出力ユニット選択時）

MPT800アナログ出力設定

チャンネル番号1 選択1▼ 変更

出力名称

出力使用

連動子局No

連動アナログ入力チャンネル

欠測値の扱い

子局現場名称

HIGH入力値

LOW入力値

表示単位

LCD名称

アナログ出力1

☒ 未使用 ☐ 使用

1▼

1▼

前回値のまま▼

100.000

0.000

%

一時保存
再読み込み

項 目 名	入 力（選択） 範囲	詳 細
チャンネル番号	—	表示されている設定情報のチャンネル番号です。
選択（変更ボタン）	1～8 (アナログ出力ユニットを 1 台使用する ときは、1～4 が選択可能。 アナログ出力ユニットを 2 台使用する ときは、1～8 が選択可能)	編集したいアナログ出力チャンネルの番号を選択してから変更ボタンを押すことでチャンネル番号・表示内容を切り替えます。
出力名称	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	各アナログ出力の名称を設定できます。
出力使用	未使用／使用	選択したアナログ出力の使用／未使用を選択できます。
連動子局 No	1～5	連動させる子局を選択します。
連動アナログ入力チャンネル	1～8	選択した子局の連動させたいアナログ入力チャンネルを選択します。
欠測値の扱い	前回値のまま／0 出力	欠測を検出した場合の出力値の扱いを選択します。
子局現場名称	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	連動させる子局の現場名称を設定します。
HIGH 入力値	連動 CH 入力の演算用 -9998～9999	連動しているアナログ入力における HIGH 入力値を設定します。
LOW 入力値	-9999～9998	連動しているアナログ入力における LOW 入力値を設定します。
表示単位	半角 6 文字以内	連動しているアナログ入力における表示単位を設定できます。
LCD 名称	半角 16 文字以内	ディスプレイユニットに表示するアナログ出力のチャンネル名称を入力して下さい。半角カタカナ・英数字での入力となります。

6.1.9 通報先編集画面

MPT800通報先編集

通報先No1 選択 [1] ▼ 変更

宛先名称

機器種別 ☐ 音声 ☐ FAX ☐ メール ☒ ロガー

メール本文付加情報 ☐ 付加する ☒ 付加しない

宛先電話番号/メールアドレス

通報設定 ☒ 全日 ☐ 平日昼間 ☐ 休日夜間

(音声選択時)通報終了確認 ☒ 回線接続時 ☐ 正常送信判定時

(メール選択時)メール添付ファイル ☒ なし ☐ TIFF ☐ CSV(帳票) ☐ CSV(帳票+詳細)

注:警報通報の場合、いずれのCSV添付も不可
月報送信の場合、CSV(詳細)の添付は不可

一時保存 再読み込み

項 目 名	入 力 (選択) 範囲	詳 細
通報先 No	—	表示されている設定情報の通報先番号です。
選択 (変更ボタン)	1～32	編集したい通報先番号を選択してから変更ボタンを押すことで通報先番号・表示内容を切り替えます。
宛先名称	全角 12 文字(半角 24 文字)以内	通報先の名称を設定することができます。 「通報グループ設定画面」などで使用しますので分かりやすいものに設定して下さい。
機器種別	音声/FAX/メール/ロガー	4 種類から選択できます。
メール本文付加情報	付加する/付加しない	メール通報を行うとき、警報通報の本文に、警報発生時のアナログ情報を付加するか選択できます。
宛先電話番号/メールアドレス	半角 64 文字以内 (数字・アルファベット小文字・記号 4 種 “.”, “,”, “@”, “-”, “_”)	機器種別を「音声」「FAX」に設定した場合は電話番号を、「メール」に設定した場合はメールアドレスを、「ロガー」に設定した場合は電話番号もしくは IP アドレスを入力して下さい。
通報設定	全日/平日昼間/休日夜間	「休日・リタイ設定」で設定した時間帯の通報に制限をかけます。 「平日昼間」: 休日夜間に設定した日時には通報を行いません。 「休日夜間」: 休日夜間に設定した日時にのみ通報を行います。
(音声選択時) 通報終了確認	回線接続時/正常送信判定時	音声通報を選択した際に、通報の終了判定を変更できます。 「回線接続時」に設定すると、電話が相手先につながった時点で成功とみなし通報終了とします。 「正常送信判定時」に設定すると、通報時の通話中に * (コメ印) の入力を求め、それを検出したら成功とし通報を終了します。
(メール選択時) メール添付ファイル	なし/TIFF/CSV(帳票)/ CSV(帳票+詳細)	通報時に添付するファイルの選択ができます。 TIFF を選択すると画像ファイル形式で、CSV を選択すると CSV ファイル形式で帳票が通報時のメールに添付されます。 月報送信時には詳細 CSV の添付は行われません。

警報メールの例)

メール本文付加情報：付加しない場合

愛知時計電機ポンプ場
2016年11月02日 11時22分
★★★★ No.1 中継P故障 発生 ★★★★★

メール本文付加情報：付加する場合

愛知時計電機ポンプ場
2016年11月02日 12時14分
★★★★ No.1 中継P故障 発生 ★★★★★

<運転入力状態>
No.1 中継P運転 停止

<イベント状態>
No.1 中継P故障 復帰

<運転入力日計>
No.1 中継P運転 00:00:00 0回 0H 00M 0回

<アナログ瞬時値>
流入流量 5.3m3/h

<アナログ日計積算値>
流入流量 6m3

6.1.10 通報グループ設定画面

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
通報グループ No	—	表示されている設定情報の通報グループ番号です。
選択（変更ボタン）	1～32	編集したい通報グループ番号を選択してから変更ボタンを押すことで通報グループ番号・表示内容を切り替えます。
現在のグループの通報先一覧	グループの通報先に追加	通報グループ No. で選択した通報グループの通報先が表示されます。 >> ボタンを押すと、選択した通報先を「現在のグループ以外の通報先一覧」に移動しグループから外します。
現在のグループ以外の通報先一覧	グループの通報先から削除	「6.1.8」で設定した通報先がここに一覧表示されます。 << ボタンを押すことで選択した通報先を「現在のグループの通報先一覧」に移動し、対象となるグループの通報先として組み込みます。

グループ内に複数の通報宛先がある場合、その中のいずれか1件でも通報が成功するとグループ全体の通報成功と判定されるため、グループ内の他の宛先には通報が行われません。
そのため、確実に通報させたい宛先には1件ずつ別のグループに登録して下さい。

通報宛先の最大件数と同じ32個のグループを編成できますので、全ての宛先を1件ずつ別のグループに設定することも可能です。

各種通報はこの画面で設定するグループ単位で行われますので、設定した宛先をこの画面でいずれかのグループに編成しない限りその宛先には通報が行われませんのでご注意ください。

6.1.11 通報先選択画面

[illegible]

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
イベント情報	デジタルイベント／アナログイベント／ SS 電文イベント／内部イベント	編集の対象となるイベントの種類を選択します。
イベント番号	編集対象を選択	通報対象となるイベント番号に、通報させたいグループにあるチェックボックスにチェックを入れるとイベント通報がそのグループへ行われます。
イベント名称	—	デジタルイベント入力時：イベント番号 1～23 の名称 アナログイベント入力時：イベント番号 25～64 の名称 SS 電文イベント入力時：イベント番号 65～67 の名称 内部イベント入力時：イベント番号 68～82,87～90 の名称
グループ番号	1～32	グループ番号が表示されます。 通報させたいグループ番号のチェックボックスにレ点を入れると、イベント通報がそのグループへ行われます。

※内部バント 89 に、定時通報の項目を追加しています。

この定時通報を使用する場合は、警報信号の通報グループとは別に定時通報グループを設けて運用していただきますよう、お願い申し上げます。

6.1.12 休日・リトライ設定画面

MPT800休日・リトライ設定

リトライ間隔(分)	1回目	<input type="text" value="5"/>	11回目	<input type="text" value="0"/>
	2回目	<input type="text" value="5"/>	12回目	<input type="text" value="0"/>
	3回目	<input type="text" value="10"/>	13回目	<input type="text" value="0"/>
	4回目	<input type="text" value="30"/>	14回目	<input type="text" value="0"/>
	5回目	<input type="text" value="60"/>	15回目	<input type="text" value="0"/>
	6回目	<input type="text" value="0"/>	16回目	<input type="text" value="0"/>
	7回目	<input type="text" value="0"/>	17回目	<input type="text" value="0"/>
	8回目	<input type="text" value="0"/>	18回目	<input type="text" value="0"/>
	9回目	<input type="text" value="0"/>	19回目	<input type="text" value="0"/>
	10回目	<input type="text" value="0"/>	20回目	<input type="text" value="0"/>

休日設定	<input checked="" type="checkbox"/> 日曜日	<input type="checkbox"/> 月曜日	<input type="checkbox"/> 火曜日	<input type="checkbox"/> 水曜日
	<input type="checkbox"/> 木曜日	<input type="checkbox"/> 金曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 土曜日	

夜間時間帯設定	<input type="text" value="17"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分 ~ <input type="text" value="8"/> 時 <input type="text" value="30"/> 分
---------	---

項 目 名	入 力（選択） 範囲	詳 細
リトライ間隔(分)	0～360 分	通報が失敗した場合にここに入力した間隔で次の通報に移行します。 最大 20 回まで設定でき、使用しない回数には 0 を入力して下さい。
休日設定	日曜日／月曜日／火曜日／水曜日／木曜日／金曜日／土曜日 ※レ点チェックすると”休日とする”	休日としたい曜日にチェックを入れてください。
夜間時間帯設定	時：0～23 分：0～59 ※00：00～00：00 の場合は ”夜間設定なし”とみなす	夜間時間帯とする時間が設定できます。

6.1.13 ネットワーク設定画面

MPT800ネットワーク設定

メール/ロガー接続方法 ダイヤルアップ

LAN

IPアドレス取得方法 ☒ 固定 ☐ 自動

IPアドレス 10 1 100 242

サブネットマスク 255 255 255 0

デフォルトゲートウェイ 0 0 0 0

DNSサーバアドレス取得方法 ☐ 固定 ☒ 自動

プライマリDNS 0 0 0 0

セカンダリDNS 0 0 0 0

ロガー

ロガー待ち受け ☒ しない ☐ する

MPT送信ポートNo 10000

MPT受信ポートNo 10010

PPPクライアント設定

プロバイダ名称 プロバイダ名

プロバイダ電話番号

ログインID

ログインパスワード

DNSサーバアドレス取得方法 ☐ 固定 ☒ 自動

プライマリDNS 0 0 0 0

セカンダリDNS 0 0 0 0

PPPサーバ設定

PPPサーバユーザ名 mpt8

PPPサーバパスワード mpt8

PPPサーバタイプ MS-CHAPv2認証を行う

PPPサーバクライアント共通設定

IPアドレス取得方法 ☒ 固定 ☐ 自動

IPアドレス 192 168 40 1

サブネットマスク 255 255 255 0

デフォルトゲートウェイ 0 0 0 0

FOMA設定

APN

CID 1

一時保存
再読み込み

項 目 名		入 力（選択） 範囲	詳 細
メール/ロガー接続方法		LAN/ダイヤルアップ/FOMA(232c)	本器をネットワークに接続する際の各種設定を行うことができます。 LAN・ダイヤルアップ・FOMA それぞれの項目がありますので、設定して頂くと Web ページでの設定操作や E メールによる送信などネットワークを利用した様々な機能をご利用になれます。
LAN	IPアドレス取得方法	固定/自動	
	IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	
	サブネットマスク	0.0.0.0～255.255.255.255	
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0～255.255.255.255	
	DNSサーバアドレス取得方法	固定/自動	
	プライマリ DNS	0.0.0.0～255.255.255.255	
	セカンダリ DNS	0.0.0.0～255.255.255.255	

項 目 名		入 力（選択） 範囲	詳 細
ロ ガ ー	ホッパ待ち受け	しない／する	本器をネットワークに接続する際の各種設定を行うことができます。
	MPT 送信ポート No	1～65535	
	MPT 受信ポート No	1～65535	
P P P ク ラ イ ア ン ト 設 定	プロバイダ名称	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	LAN・ダイヤルアップ・FOMA それぞれの項目がありますので、設定して頂くと Web ページでの設定操作や E メールによる送信などネットワークを利用した様々な機能をご利用になれます。
	プロバイダ電話番号	半角 32 文字以内	
	ログイン ID	半角 32 文字以内	
	ログインパスワード	半角 32 文字以内	
	DNS サーバアドレス取得方法	固定／自動	
	プライマリ DNS	0.0.0.0～255.255.255.255	
	セカンダリ DNS	0.0.0.0～255.255.255.255	
P P P サ ー バ 設 定	PPP サーバユーザー名	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	
	PPP サーバパスワード	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	
	PPP サーバタイプ	ダイアルインを行わない ／認証を行わない ／PAP による認証を行う ／MP5 の CHAP 認証を行う ／MS-CHAP 認証を行う ／MS-CHAPv2 認証を行う	
・ P ク ラ イ ア ン ト 共 通 設 定	IP アドレス取得方法	固定／自動	
	IP アドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	
	サブネットマスク	0.0.0.0～255.255.255.255	
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0～255.255.255.255	
F O M A 設 定	APN	半角 32 文字以内	FOMA アダプタ(RS-232C)での使用の場合 ・ CID は、PPP クライアント設定のプロバイダ電話番号にも*99***[CID]#を設定して下さい。 ・ FOMA 接続用の本器 IP アドレスは、LAN のところではなく、PPP サーバ・クライアント共通設定の IP アドレスのところに設定して下さい。
	CID	1～10	

6.1.14 メール設定画面

MPT800メール設定

SMTPサーバ
メール送信方式
送信者(自己)名称
送信者(自己)メールアドレス
SMTPポート番号
POP3サーバ
POP3ポート番号
POP3/SMTP ID
POP3/SMTP パスワード
SMTP-Auth認証
応答タイムアウト時間

秒

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
SMTP サーバ	半角 32 文字以内	Eメールに関する各種設定を行います。 警報や日月報などの帳票を本器から Eメールで PC などに送信でき、設定して頂くとそれらの機能がご利用になれます。
メール送信方式	POPbeforeSMTP ／SMTP-Authentication ／認証なし	
送信者(自己)名称	半角 64 文字以内	
送信者(自己)メールアドレス	半角 64 文字以内	
SMTP ポート番号	1～65535	
POP3 サーバ	半角 32 文字以内 ※POP 時のみ有効	
POP3 ポート番号	1～65535 ※POP 時のみ有効	
POP3/SMTP ID	半角 32 文字以内 ※認証なし以外有効	
POP3/SMTP パスワード	半角 32 文字以内 ※認証なし以外有効	
SMTP-Auth 認証	自動認識 ／CRAM-MD5 ／LOGIN/PLAIN ※SMTP-Aut 時のみ有効	
応答タイムアウト時間	0～180 秒 ※認証なし以外有効	

6.1.15 Web 設定画面

MPT800Web設定

受信ポート番号

No	ユーザー名	パスワード	権限
1	admin	aichitokei	管理者 ▼
2			一般ユーザー ▼
3			一般ユーザー ▼
4			一般ユーザー ▼
5			一般ユーザー ▼
6			一般ユーザー ▼
7			一般ユーザー ▼
8			一般ユーザー ▼

項 目 名	入 力（選択） 範囲	詳 細
受信ポート番号	1～65535	受信ポート番号を入力して下さい。
ユーザー名	64 桁以内 （半角英数字／記号）	ユーザー名を入力して下さい、ログイン時に使用します。
パスワード	64 桁以内 （半角英数字／記号）	パスワードを入力して下さい、ログイン時に使用します。
権限	一般ユーザー／管理者	管理者に設定すると設定・編集、メンテナンス画面にもアクセスすることができます。 一般ユーザーですとアクセスできるのは閲覧画面のみとなります。

6.1.16 テレメータ通信設定画面

MPT800テレメータ通信設定

テレメータ通信有無 ☒ なし ☐ あり

接続形態 ☒ 専用線 ☐ LAN

親局/子局種別 子局1

通信速度 9600bps

通信ポート No 50000

No	相手局IPアドレス			
1	0	.0	.0	.0
2	0	.0	.0	.0
3	0	.0	.0	.0
4	0	.0	.0	.0
5	0	.0	.0	.0

一時保存
再読み込み

項 目 名		入 力（選択） 範囲	詳 細
テレメータ通信有無		なし／あり	MPT 同士でテレメータ通信を行う際の設定を行います。 アナログ出力ユニット・デジタル出力ユニットを接続した子局間通信などの相互通信に使用します。
接続形態		LAN	
親局／子局種別		親局／子局	
通信ポート No		— ※LAN の場合のみ有効	
相手局 IP アドレス	No1	0.0.0.0～255.255.255.255 ※種別が子局のとき”親局の IP アドレス”	
	No2～5	0.0.0.0～255.255.255.255 ※親局時、有効	

1. 本器を LAN 回線に接続して下さい。本器の使用環境に合わせて、接続形態、親局／子局種別、通信ポートNo.の項目を入力して下さい。
2. 相手局 IP アドレスについては、親局に設定する側では子局 1～5 の IP アドレスを入力します。同様に子局側には親局の IP アドレスを入力します。
3. テレメータ通信が開始され、親局に接続したアナログ出力ユニット・デジタル出力ユニットから子局側で計測された情報が出力できます。

※「テレメータ通信有無」の項目が「なし」に設定されていますと、テレメータ通信が開始されません。
※アナログ出力ユニット・デジタル出力ユニットは別途お問い合わせ下さい。

6.1.17 レポートフォーマット設定画面

MPT800レポートフォーマット 設定

日報フォーマット

帳票

月報フォーマット

帳票

テレコンフォーマット

帳票

警報フォーマット

メッセージ1

担当課名称

記入欄

天気<>

印鑑の名称設定

印鑑1

承認

印鑑2

照査

印鑑3

照査

印鑑4

担当

一時保存

再読み込み

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
日報フォーマット	帳票／帳票+グラフ	日報の表示形式を変更できます。 帳票のみ、帳票+グラフから選択できます。
月報フォーマット	帳票／帳票+グラフ	月報の表示形式を変更できます。 帳票のみ、帳票+グラフから選択できます。
テレコンフォーマット	帳票／帳票+グラフ	テレコン操作により FAX の送信要求を本器が受信した際、送り返す FAX のフォーマットを選択できます。
警報フォーマット	メッセージ 1 ／メッセージ 2 ／メッセージ 1+帳票 ／メッセージ 2+帳票 ／メッセージ 1+帳票+グラフ ／メッセージ 2+帳票+グラフ	日月報以外のイベント通報のフォーマットを設定できます。 2 パターンのフォーマットに加え、帳票・グラフの添付を行うことができます。
担当課名称	全角 16 文字(半角 32 文字)以内	受信するレポートを取り扱う部署や組織の名前を入力できます。 FAX やメールにここに入力した内容が記載されます。
記入欄	全角 6 文字(半角 12 文字)以内	備考や特記事項があればここに入力できます。
印鑑の名称設定	全角 4 文字(半角 8 文字)以内	レポートに付属させる押印欄の名称を変更できます、受信するレポートを照査する方の役職を入力したり、任意の名称に変更することができます。

日報フォーマット帳票選択時

愛知時計電機本社工場

2013年12月24日 09時24分 PAGE : 01 / 01

点検履歴検索

2013年12月23日 (月) 天気<> 日曜日 朝6時30

年度

期数

担当

時刻	アナログ入力1 [X]	アナログ入力2 [X]	アナログ入力3 [X]	アナログ入力4 [X]	SSメータ [d]	通信伝送1 [d]	通信伝送2 [d]
0	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
1	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
2	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
3	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
4	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
5	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
6	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
7	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
8	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
9	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
10	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
11	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
12	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
13	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
14	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
15	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
16	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
17	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
18	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
19	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
20	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
21	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
22	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
23	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
計測時	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
日最大	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
日最小	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
日合計	2400.000	2400.000	2400.000	2400.000	0.0	1440.00	1440.00
日平均	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00
日合計	19200.000	19200.000	19200.000	19200.000	0.0	11520.00	11520.00
日平均	1920.000	1920.000	1920.000	1920.000	0.0	1152.00	1152.00

日報フォーマット帳票+グラフ選択時

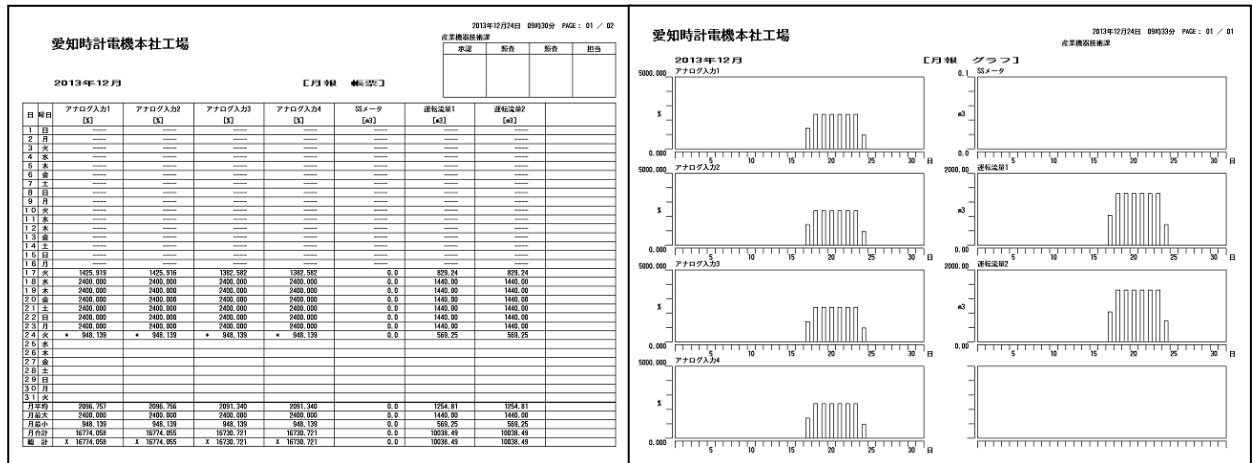
愛知時計電機本社工場									
2013年12月23日 09時24分 PAGE: 01 / 02									
企業機密取扱注意									
承認 担当 担当 担当									
2013年12月23日 (月) 天気 () 【日報 帳票】									
時刻	アナログ入力1	アナログ入力2	アナログ入力3	アナログ入力4	5Sメータ	運転時間1	運転時間2		
[X]	[X]	[X]	[X]	[X]	[x0]	[x0]	[x0]		
0	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
1	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
2	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
3	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
4	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
5	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
6	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
7	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
8	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
9	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
10	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
11	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
12	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
13	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
14	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
15	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
16	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
17	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
18	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
19	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
20	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
21	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
22	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
23	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
日計	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
日最大	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
日最小	100.000	100.000	100.000	100.000	0.0	60.00	60.00		
月合計	1000.000	1000.000	1000.000	1000.000	0.0	600.00	600.00		
累計	1000.000	1000.000	1000.000	1000.000	0.0	600.00	600.00		

愛知時計電機本社工場									
2013年12月23日 09時24分 PAGE: 02 / 02									
企業機密取扱注意									
承認 担当 担当 担当									
2013年12月23日 (月) 天気 () 【日報 グラフ】									
運転時間トレンド									
デジタル入力1									
デジタル入力2									
0 4 8 12 16 20 0 時									

月報フォーマット帳票選択時

沢田第4ポンプ場(100)									
2000年06月									
企業機密取扱注意									
承認 担当 担当 担当									
2000年06月									
日	アナログ入力1	アナログ入力2	アナログ入力3	アナログ入力4	アナログ入力5	デジタル入力1	デジタル入力2	デジタル入力3	
[X]	[X]	[X]	[X]	[X]	[X]	[x0]	[x0]	[x0]	
1 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
2 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
3 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
4 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
5 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
6 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
7 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
8 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
9 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
10 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
11 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
12 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
13 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
14 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
15 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
16 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
17 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
18 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
19 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
20 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
21 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
22 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
23 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
24 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
25 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
26 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
27 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
28 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
29 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
30 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
31 日	---	---	---	---	---	---	---	---	
合計	---	---	---	---	---	---	---	---	
日最大	---	---	---	---	---	---	---	---	
日最小	---	---	---	---	---	---	---	---	
月合計	---	---	---	---	---	---	---	---	
累計	---	---	---	---	---	---	---	---	

月報フォーマット帳票＋グラフ選択時



警報フォーマットメッセージ1 選択時

2013年12月03日 12時55分 PAGE : 01 / 01

<< 警 報 >>

沢田第4ポンプ場(100)

★ デジタル入力8 発生 ★

2013年12月03日(火) 12:54

技術課

警報フォーマットメッセージ2 選択時

2013年12月03日 12時56分 PAGE : 01 / 01

<< 警 報 >>

沢田第4ポンプ場(100)

★ デジタル入力8 発生 ★

★ デジタル入力4 発生 ★

2013年12月03日(火) 12:58

2013年12月03日(火) 12:58

警報処理

年 月 日

技術課

6.1.18 音声設定画面

MPT800音声内容確認

音声ID	音声ファイル名	音声内容
1-Y001	まいなす	
2-Y002	てん	
3-Y003	せろ	
4-Y004	いち	
5-Y005	に	
6-Y006	さん	
7-Y007	よん	
8-Y008	ご	
9-Y009	ろく	

音声ファイル更新
 音声ファイル一覧で選択した音声IDの内容を更新します。

音声内容

項 目 名	入 力（選択）範囲	詳 細
音声内容	クリックで音声内容表示	選択した音声 ID の音声内容の表示を書き換えることができます。 （この画面では実際の音声データを直接編集することはできませんのでご注意ください） 実際の音声データ内容を編集作成する場合、それに合わせてここで音声内容表示を書き換えておくことで、メンテナンス画面で音声ファイル編集を行う場合に音声内容が確認しやすくなります。

6.1.19 特殊設定画面

MPT800特殊設定

停電/復電検出時間	60 秒
DT検出有無	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり
不在判断呼出回数	15 回
通報停止モード自動復帰時間	1 時間
外部出力電源レポート有無	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
外部出力電源レポート時間	0 時 0 分
外部供給電源停止時間	5 秒
アナログ集計方法	<input checked="" type="radio"/> 1時間平均値 <input type="radio"/> 00分の瞬時値
定期リセット	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
リセット時刻	3 時
モデム送出レベル	0 dBm
データ自動バックアップ時刻	0 時 30 分
日報月報送信時間	0 分
アナログ計測間隔	<input checked="" type="radio"/> 1分 <input type="radio"/> 3分 <input type="radio"/> 5分
音声繰返し回数	10 回
警報メール一括送信	<input checked="" type="radio"/> 送信しない <input type="radio"/> 送信する
	※一番最初に通報される通報先の設定にて一括送信が行われます。
定期ロガー接続間隔	60 分
	※0分で設定すると定期ロガー接続は行いません。

項 目 名	入 力（選択） 範囲	詳 細
停電/復電検出時間	1～600 秒	本体の電源スイッチが ON 状態にも関わらず、停電など何らかの理由で電源供給が途絶えた場合に、設定した時間が経過すると本器が停電のイベント通報を行います。 復電時も同様に、電源供給が回復して設定時間が経過すると停電状態からの復帰を通報します。
DT 検出有無	なし／あり	DT(ダイヤルトーン、電話機の受話器を上げた際の「ツ」音)を本器が検出するかどうかを設定する項目になります。 通常、音声・FAX 通報などで回線に接続する際、DT 音を検出した時点で回線の接続が可能と判断し通信を行います。正常な環境でも機材の種類によっては DT 音を検出できず、通信に失敗する場合があります。 その場合 DT 検出有無を「なし」に設定すると正常に通信が行われるようになります。
不在判断呼出回数	1～20 回	本器から通報動作を行う際に、設定した回数呼び出しを行うと不在と判断され通報リトライ待ちに移行するか、あるいは通報失敗となります。1～20 回で選択可能です。
通報停止モード自動復帰時間	1～24 時間	メンテナンスメニュー内の「通報停止操作」で通報停止を ON にした際に自動復帰が行われる時間をここで設定します。ON にした時間からこの項目で設定した時間が経過すると通報停止モードから通常モードに自動的に復帰します。
外部出力電源レポート有無	なし／あり	FOMA アダプタ(RS-232C)への電源供給のレポート有無を設定します。通信異常時には自動でレポートを行います。
外部出力電源レポート時間： (レポート有りのとき)	時：0～23 分：0～59	レポートを「あり」に設定した際に、レポートを行う時間を設定します。(通信異常時に自動でレポートを行います)
外部供給電源停止時間	3～10 秒 ※FOMA アダプタの仕様により 3 秒以上である必要あり	外部供給電源のレポートを行う際、ここで設定された秒数だけ電源供給を停止します。 通信異常時に自動でレポートを行います。
アナログ集計方法	1 時間平均値／00 分の瞬時値	1 時間おきにアナログ入力 of 瞬時値流量データを記録する際に、1 時間平均の値を使用するかその時間の 00 分に入った瞬間の値を使用するかの選択ができます。
定期リセット	なし／あり	「あり」に設定すると、「リセット時刻」で設定した時間に本体のリセット(再起動)を行います。

項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
リセット時刻	0～23 時	定期リセットを「あり」に設定した際、定期リセットを行う時刻を設定します。
モデム送出力レベル	-6～-15dBm	この項目は有資格者のみが扱える項目となります。 工事担当者以外は使用しないでください。 初期値「0」は-16dBm スタート動作となります。 (正の数、-1～-5 は設定無効)
データ自動バックアップ 時刻	時： 0～23 分： 0～59	設定した時刻に、全計測データ・動作履歴・デジタルロギングのデータをバックアップします。USB メリを接続していた場合、そちらにも上記のデータが保存されます。
日報月報送信時間	00～360 分	午前 0 時 00 分を起点に、ここで設定した時間が経過した後に日報の送信が行われます。例として 120 分に設定していた場合、日月報が送信されるのは午前 2 時 00 分となります。
アナログ計測間隔	1 分／3 分／5 分	ここで設定した時間ごとに、アナログ瞬時値・アナログの詳細データを本器から渡すときに、ここで設定した時間間隔に合わせて渡します。(あくまで内部保持は 1 分毎データを保持しています)
音声繰り返し回数	1～99 回	音声通報における音声データの繰り返し回数を設定します。 初期設定値は 10 回となります。
警報メール一括送信	送信しない／送信する	警報メール一括送信する、しないを設定します。
定期カプー接続間隔	0～99 分	定期カプー接続をするときの接続間隔（分）を設定します。

6.1.20 NTP 設定画面

MPT800NTP設定

NTP使用有無 ☒ 未使用 ☐ 使用

NTPサーバアドレス

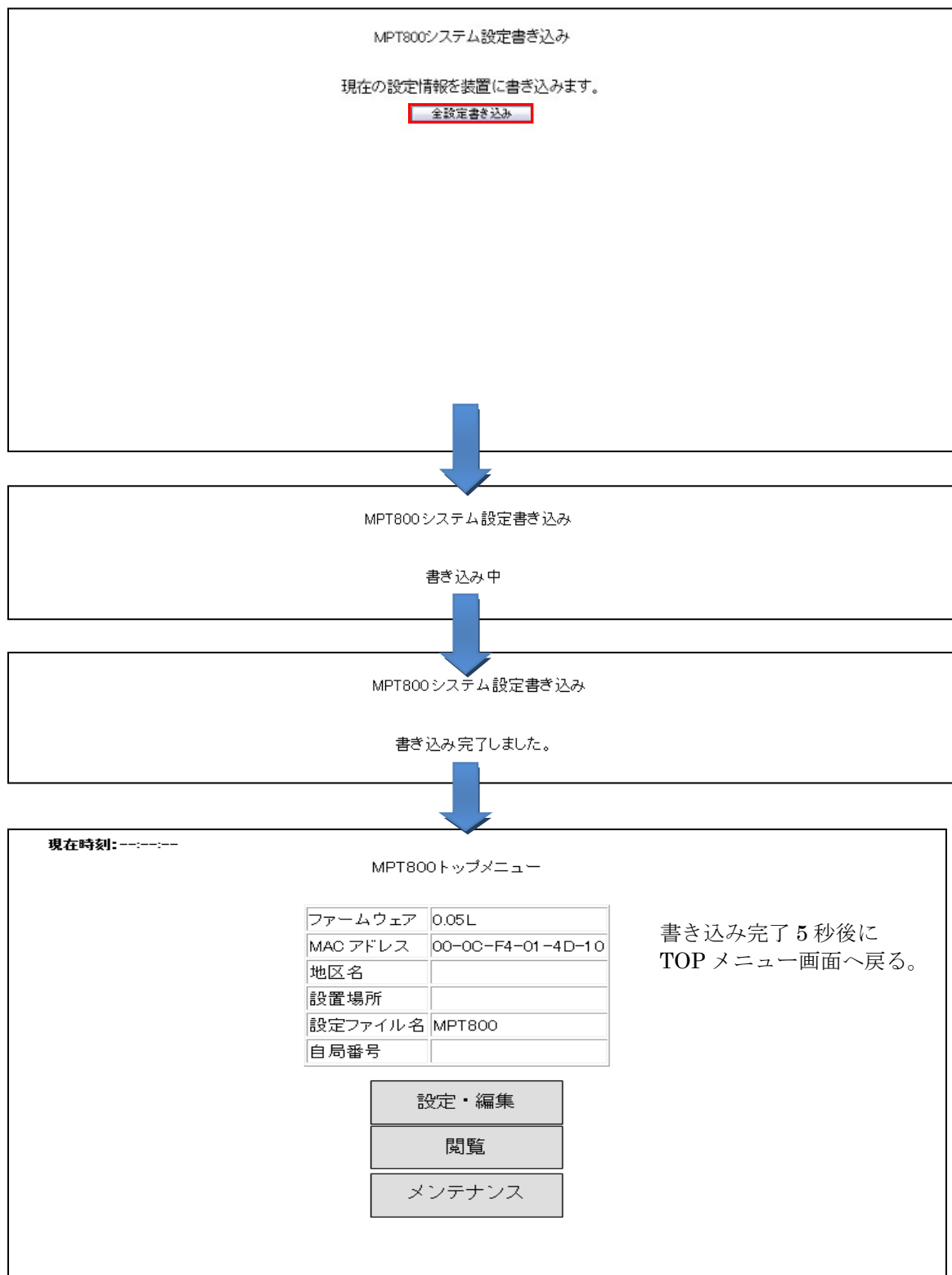
時刻合わせ周期 30 ▼ 日

時刻合わせ時刻 1 ▼ 時 5 ▼ 分

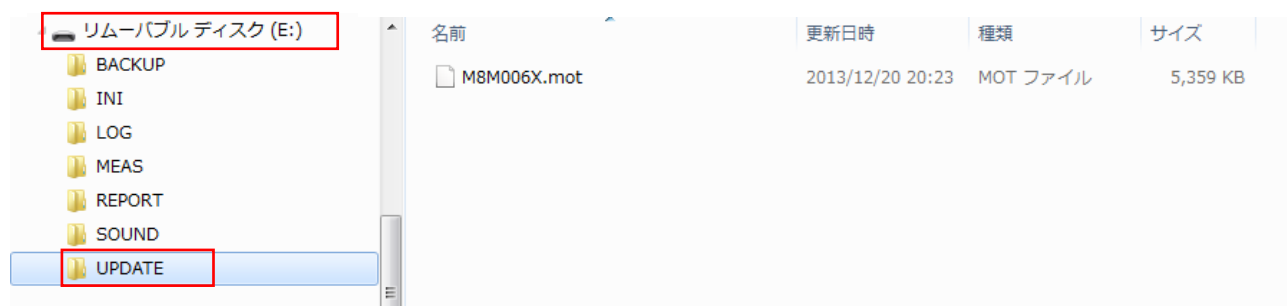
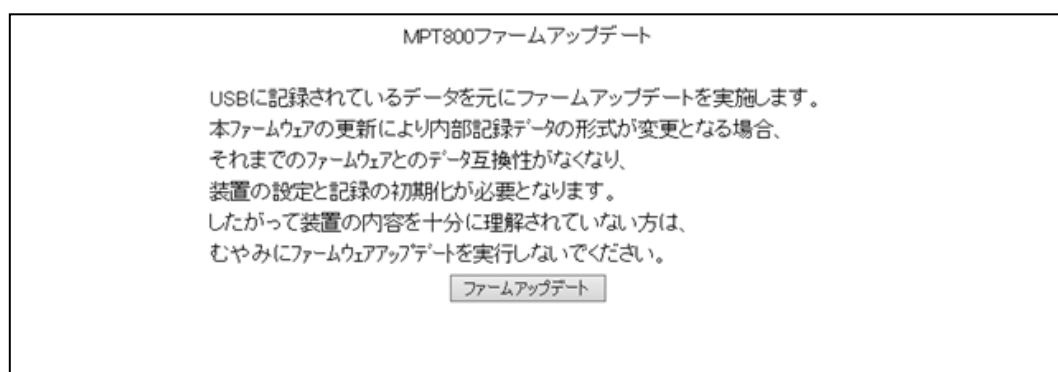
項 目 名	入力（選択）範囲	詳 細
NTP 使用有無	未使用／使用	NTP(ネットワーク・タイム・プロトコル)を使用し時間の同期を行い、常に本器の時刻を正確に保つ機能の有無を選択できます。 本器が NTP サーバに接続していないとこの機能は働きません。
NTP サーバアドレス	半角 64 文字以内	NTP サーバのアドレスを入力します。
時刻合わせ周期	1～30 日	何日おきに時刻の同期を行うかの設定ができます。
時刻合わせ時刻	時： 0～23 分： 0～59	時刻の同期が行われる時刻を設定できます。

6.1.20 設定情報書き込み画面

「全設定書き込み」ボタンを押すと一時保存した変更内容を全て本器に書き込みます。
設定した内容を一旦破棄したい場合にはこのボタンを押す前に「トップメニューに戻る」の項目から、トップメニューに移行しますと変更が全てリセットされます。



6.1.21 ファームアップデート



上の図のように半角大文字で「UPDATE」という名前のフォルダを作成し、その中にファームウェア（メインプログラム）のファイルを入れアップロードを行います。

音声ファイル等と同様に、アップロードの際フォルダによって対象のファイルの位置を識別しているため、これ以外の名称ですとファームウェアのアップデートが正常に行われません。

注：ファームアップデートは本器の内容を十分に理解された方のみ実施頂き、むやみに行わないようにして下さい。本器が正常に動作しなくなる恐れがあります。

6. 2 閲覧メニュー

現在時刻: ---:--:--

MPT800トップメニュー

ファームウェア	0.05L
MAC アドレス	00-0C-F4-01-4D-10
地区名	
設置場所	
設定ファイル名	MPT800
自局番号	

設定・編集

閲覧

メンテナンス

➔

現場名:
MPT800閲覧メニュー

[トップメニューに戻る](#)

[\[状態モニタ\]](#)

[リアルタイム状態表示](#)

[イベント状態表示](#)

[通報状況確認](#)

[外部出力状態表示](#)

[通信状態表示](#)

[\[積算値\]](#)

[総イベント回数表示](#)

[アナログ総積算値表示](#)

[運転入力積算値表示](#)

[パルス総積算値表示](#)

[SSメータ総積算値表示](#)

[\[履歴表示\]](#)

[動作履歴表示](#)

[デジタルロギング履歴表示](#)

[日報表示](#)

[日報グラフ表示](#)

[月報表示](#)

[月報グラフ表示](#)

[\[ログアウト\]](#)

[ログアウト](#)

6.2.1 リアルタイム状態表示画面

アナログ入力・デジタル運転入力・パルス入力の現在状況を表示します。

「自動更新時間間隔」で設定された秒数ごと、あるいは手動で「最新に更新」ボタンを押してもらうことで常に最新のデータがこの画面には表示されます。

MPT800リアルタイム状態表示

自動更新時間間隔 [10秒 ▼] 最新に更新

アナログ入力状態					
Ch	端子名	瞬時値	単位	日計	単位
1	アナログ入力1	0	%	---	%
2	アナログ入力2	0	%	---	%
3	アナログ入力3	0	%	---	%
4	アナログ入力4	0	%	---	%
5	アナログ入力5	0	%	---	%
6	アナログ入力6	0	%	---	%
7	アナログ入力7	0	%	---	%
8	アナログ入力8	0	%	---	%

デジタル入力状態(運転入力)						
Ch	端子名	状態	時間日計	回数日計	流量日計	単位
1	デジタル入力1	OFF	0:00:00	0	-----	
2	デジタル入力2	OFF	0:00:00	0	-----	

パルス入力状態			
Ch	端子名	回数日計	単位
3	デジタル入力3	0	m3
4	デジタル入力4	0	m3

SSメータ入力状態	
名称	流量日計
SSメータ	00

SSメータ入力状態	
名称	入力値
指針値	0
瞬時値	0

項 目 名	入力（選択）範囲
自動更新時間間隔	なし／5～60 秒(5 秒毎)

6.2.2 イベント状態表示画面

イベントの発生状況をご覧になれます。

「再読み込み」ボタンを押していただくことで画面の状況を更新します。

MPT800イベント状態表示			
イベント名		状態	イベント名
デジタル入力1		復帰	デジタル入力2
デジタル入力3		復帰	デジタル入力4
デジタル入力5		復帰	デジタル入力6
デジタル入力7		復帰	デジタル入力8
デジタル入力9		復帰	デジタル入力10
デジタル入力11		復帰	デジタル入力12
デジタル入力13		復帰	デジタル入力14
停電		復帰	バッテリー電圧低下
子局1通信異常		復帰	子局2通信異常
子局3通信異常		復帰	子局4通信異常
子局5通信異常		復帰	
再読み込み			

6.2.3 通報状況確認画面

イベントの発生とその通報状況を履歴形式でご覧になれます。

「再読み込み」ボタンを押していただくことで画面の状況を更新し、1000件までのデータを保持できます。

MPT800通報状況確認			
No	発生日時	イベント	通報状況
6	2013年10月30日 13:13	月報 発生	通報対象なし
5	2013年10月30日 13:13	日報 発生	通報対象なし
4	2012年01月01日 00:00	デジタル入力5 発生	通報対象なし
3	2012年01月01日 00:00	デジタル入力2 発生	通報対象なし
2	2012年01月01日 00:00	月報 発生	通報対象なし
1	2012年01月01日 00:00	日報 発生	通報対象なし
前 次			

6.2.4 外部出力状態表示画面（オプション使用時のみ）

アナログ出力・デジタル出力の状態を表示します。

MPT800 外部出力状態表示				
CH	子局現場名称	出力名称	瞬時値	単位
1		アナログ出力 1	0.0	
2		アナログ出力 2	0.0	
3		アナログ出力 3	0.0	
4		アナログ出力 4	0.0	

CH	用途	子局現場名称	出力名称	状態
1	子局指定運動		デジタル出力 1	OFF
2	イベント運動		デジタル出力 2	OFF
3			デジタル出力 3	OFF
4			デジタル出力 4	OFF
5			デジタル出力 5	OFF
6			デジタル出力 6	OFF
7			デジタル出力 7	OFF
8			デジタル出力 8	OFF
9			デジタル出力 9	OFF
10			デジタル出力 10	OFF
11			デジタル出力 11	OFF
12			デジタル出力 12	OFF
13			デジタル出力 13	OFF
14			デジタル出力 14	OFF
15			デジタル出力 15	OFF
16			デジタル出力 16	OFF
17			デジタル出力 17	OFF
18			デジタル出力 18	OFF
19			デジタル出力 19	OFF
20			デジタル出力 20	OFF
21			デジタル出力 21	OFF
22			デジタル出力 22	OFF
23			デジタル出力 23	OFF
24			デジタル出力 24	OFF

6.2.5 通信状態表示画面

FOMA・LAN・LINE 回線の通信状況、SET の欄には現在の動作モードが表示され、現在の通信、動作状態を確認できます。

MPT800通信状態表示		更新時刻:2013/10/31 16:34:13
	状態	
FOMA	回線未設定	
LAN	接続中	
LINE	未接続	
SET	オフ	

6.2.6 総イベント回数表示画面

総イベント回数を確認できます。

日時単位ではなく、計測を開始した時点から今まで本器が記録してきた値の総積算になります。

MPT800総イベント回数表示		
Ch	イベント名	発生回数
1	デジタル入力1	0
2	デジタル入力2	1
3	デジタル入力3	0
4	デジタル入力4	0
5	デジタル入力5	1
6	デジタル入力6	0
7	デジタル入力7	0
8	デジタル入力8	0
9	デジタル入力9	0
10	デジタル入力10	0
11	デジタル入力11	0
12	デジタル入力12	0
13	デジタル入力13	0
14	デジタル入力14	0
15	デジタル入力15	0
16	デジタル入力16	0
17	デジタル入力17	0
18	デジタル入力18	0
19	デジタル入力19	0
20	デジタル入力20	0
21	デジタル入力21	0
22	デジタル入力22	0
23	デジタル入力23	0

6.2.7 アナログ総積算値表示画面

更新時刻: 2013/10/30 16:40:15

MPT800アナログ総積算値表示

Ch	アナログ名	総積算値	単位
1	アナログ入力1	3	%
2	アナログ入力2	3	%
3	アナログ入力3	1	%
4	アナログ入力4	1	%
5	アナログ入力5	3	%
6	アナログ入力6	3	%
7	アナログ入力7	3	%
8	アナログ入力8	1	%

6.2.8 運転入力総積算値表示画面

MPT800運転入力総積算値表示						更新時刻: 2013/10/30 16:45:36
Ch	運転入力名	時間	回数	流量	単位 [m3]	
5	デジタル入力5	0時間 2分 11秒	0	2.18		
6	デジタル入力6	0時間 0分 0秒	0	0.00		

6.2.9 パルス総積算値表示画面

MPT800パルス総積算値表示						更新時刻: 2013/10/30 16:49:50
Ch	パルス名	総積算値	単位			
7	デジタル入力7	0.0	m3			
8	デジタル入力8	0.0	m3			
9	デジタル入力9	0.0	m3			

6.2.10 SSメーター総積算値表示画面

MPT800SSメーター総積算値表示						更新時刻: 2013/10/30 16:51:52
名称	総積算値	単位 [m3]				
SSメーター総積算値	0.0					

6.2.11 動作履歴表示画面

本器での内部動作・エラーの関係も含めて、ほぼ全ての動作を履歴形式で表示します。
最大 1000 件まで保持されます。

更新時刻: 2013/10/30 16:53:41

MPT800動作履歴表示

No	日時	内容
30	2013年10月30日 13時21分11秒	モード移行(通常)
29	2013年10月30日 13時20分29秒	モード移行(設定)
28	2013年10月30日 13時20分21秒	モード移行(通常)
27	2013年10月30日 13時19分47秒	モード移行(設定)
26	2013年10月30日 13時19分44秒	モード移行(通常)
25	2013年10月30日 13時19分39秒	モード移行(設定)
24	2013年10月30日 13時19分32秒	モード移行(通常)
23	2013年10月30日 13時18分56秒	モード移行(設定)
22	2013年10月30日 13時18分14秒	モード移行(通常)
21	2013年10月30日 13時17分28秒	モード移行(設定)
20	2013年10月30日 13時17分27秒	モード移行(通常)
19	2013年10月30日 13時17分21秒	モード移行(設定)
18	2013年10月30日 13時17分13秒	ログイン
17	2013年10月30日 13時16分52秒	MPT800本体起動
16	2013年10月30日 13時13分01秒	モード移行(通常)
15	2012年01月01日 00時13分08秒	時刻設定(Web)
14	2012年01月01日 00時12分37秒	モード移行(設定)
13	2012年01月01日 00時12分21秒	モード移行(通常)
12	2012年01月01日 00時11分55秒	モード移行(設定)
11	2012年01月01日 00時06分25秒	モード移行(通常)
10	2012年01月01日 00時06分01秒	モード移行(設定)
9	2012年01月01日 00時05分31秒	ログイン
8	2012年01月01日 00時03分16秒	ログイン失敗
7	2012年01月01日 00時03分12秒	ログイン失敗
6	2012年01月01日 00時02分58秒	モード移行(通常)
5	2012年01月01日 00時01分11秒	モード移行(設定)
4	2012年01月01日 00時00分56秒	MPT800本体起動
3	2012年01月01日 00時00分15秒	デジタル入力5 発生
2	2012年01月01日 00時00分15秒	デジタル入力2 発生
1	2012年01月01日 00時00分12秒	MPT800本体起動

[前](#)
[次](#)

6.2.12 デジタルロギング履歴表示画面

動作履歴からデジタル入力状態の履歴のみを抜き出したものになります。
最大 1000 件まで保持されます。

MPT800デジタルロギング履歴表示				更新時刻: 2013/10/31 08:41:00
No	日時	種別	内容	
2	2012年01月01日00時00分15秒	イベント	デジタル入力5 発生	
1	2012年01月01日00時00分15秒	イベント	デジタル入力2 発生	
<div>前</div> <div>次</div>				

6.2.13 日報表示画面

日報をご覧ください。PC にダウンロードして保存することもできます。

MPT800日報表示

更新時刻: 2013/10/30 16:56:17

2013 年 10 月 30 日 表示

表示対象の日報 2013年10月30日

ダウンロードファイル種別選択 ☒ 帳票CSV ☐ 詳細CSV ☐ 帳票TIFF

アナログ日報1/2 枚目

ダウンロード

アナログ入力

時刻	アナログ入力1 [単位 %]	アナログ入力2 [単位 %]	アナログ入力3 [単位 %]	アナログ入力4 [単位 %]	アナログ入力5 [単位 %]	アナログ入力6 [単位 %]	アナログ入力7 [単位 %]	アナログ入力8 [単位 %]
0								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16	23	23	20	20	23	23	23	20
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
日平均	23	23	20	20	23	23	23	20
日最大	23	23	20	20	23	23	23	20
日最小	23	23	20	20	23	23	23	20
日合計	23	23	20	20	23	23	23	20
月合計	23	23	20	20	23	23	23	20
総計	23	23	20	20	23	23	23	20

項 目 名	入力（選択）範囲
年月日指定	月：1～12 日：1～31 当日より1年前までOK。 有効データのある期間のみ
ダウンロードファイル種別選択	帳票 CSV／詳細 CSV／帳票 TIFF

パルス・運転流量					
時刻	デジタル入力3[単位 m3]	デジタル入力4[単位 m3]	SSメータ[単位 m3]	運転流量1[単位 m3]	運転流量2[単位 m3]
0	----	----	----	----	----
1	----	----	----	----	----
2	----	----	----	----	----
3	----	----	----	----	----
4	----	----	----	----	----
5	----	----	----	----	----
6	----	----	----	----	----
7	----	----	----	----	----
8	----	----	----	----	----
9	----	----	----	----	----
10	----	----	----	----	----
11	----	----	----	----	----
12	----	----	----	----	----
13	----	----	----	----	----
14	----	----	----	----	----
15	0	0	0.0	0.00	0.00
16	0	0	0.0	0.00	0.00
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
日平均	0	0	0.0	0.00	0.00
日最大	0	0	0.0	0.00	0.00
日最小	0	0	0.0	0.00	0.00
日合計	0	0	0.0	0.00	0.00
月合計	0	0	0.0	0.00	0.00
総計	0	0	0.0	0.00	0.00

デジタル運転入力				
時刻	デジタル入力1		デジタル入力2	
	時間	回数	時間	回数
0	0:00:00	0	0:00:00	0
1	0:00:00	0	0:00:00	0
2	0:00:00	0	0:00:00	0
3	0:00:00	0	0:00:00	0
4	0:00:00	0	0:00:00	0
5	0:00:00	0	0:00:00	0
6	0:00:00	0	0:00:00	0
7	0:00:00	0	0:00:00	0
8	0:00:00	0	0:00:00	0
9	0:00:00	0	0:00:00	0
10	0:00:00	0	0:00:00	0
11	0:00:00	0	0:00:00	0
12	0:00:00	0	0:00:00	0
13	0:00:00	0	0:00:00	0
14	0:00:00	0	0:00:00	0
15	0:00:00	0	0:00:00	0
16	0:00:00	0	0:00:00	0
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
日合計	0:00:00	0	0:00:00	0
月合計	0:00:00	0	0:00:00	0
総計	0:00:00	0	0:00:00	0

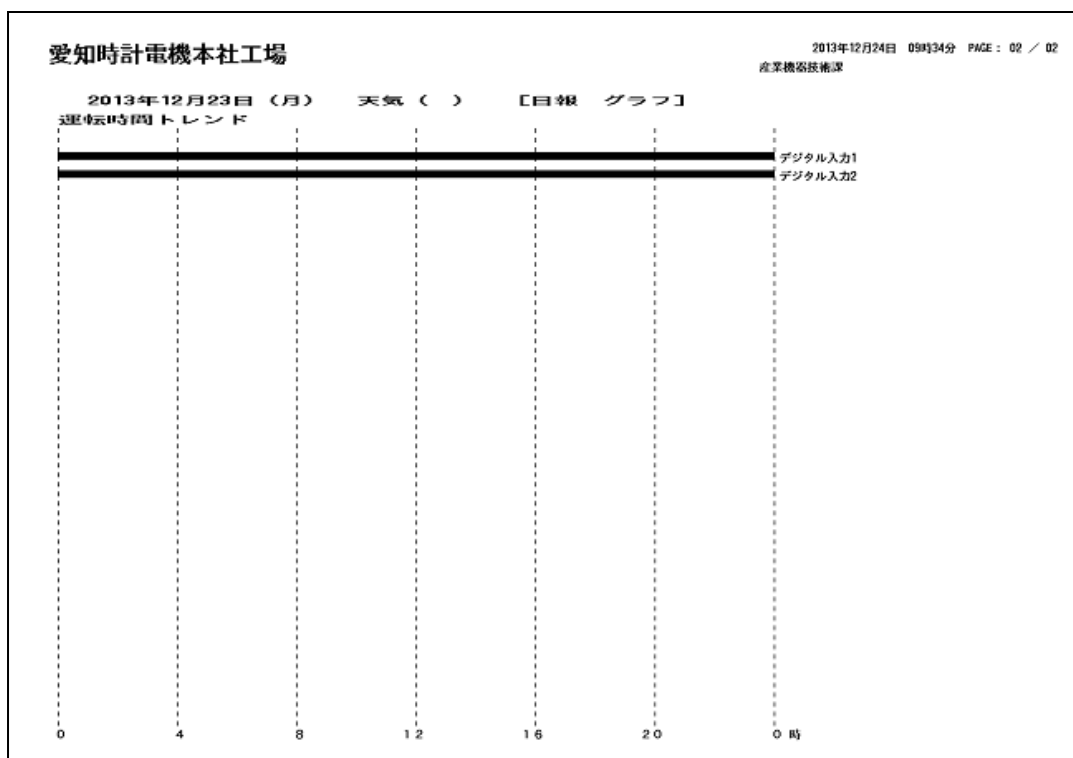
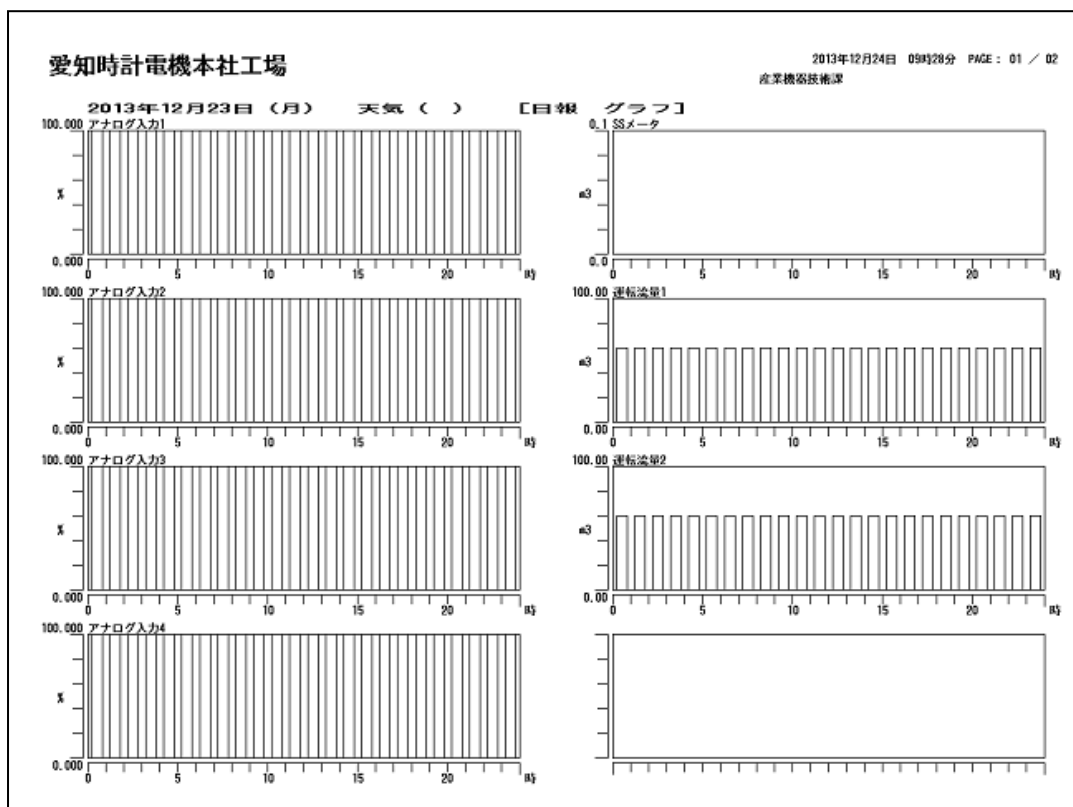
現在状況				
名称	状況	名称	状況	
デジタル入力5	発生	デジタル入力6	復帰	
デジタル入力1	復帰	デジタル入力2	発生	
デジタル入力3	復帰	デジタル入力4	復帰	
デジタル入力10	復帰	デジタル入力11	復帰	
デジタル入力12	復帰	デジタル入力13	復帰	
デジタル入力14	復帰	デジタル入力15	復帰	
デジタル入力16	復帰	デジタル入力17	復帰	
デジタル入力18	復帰	デジタル入力19	復帰	
デジタル入力20	復帰	デジタル入力21	復帰	
デジタル入力22	復帰	デジタル入力23	復帰	

警報履歴					
発生日時	名称	状態	発生日時	名称	状態
2013年10月30日 16:52	(SS)通信異常	発生			
2012年01月01日 00:00	デジタル入力5	発生			
2012年01月01日 00:00	デジタル入力2	発生			

6.2.14 日報グラフ表示画面

グラフ形式の日報をご覧になれます。

表示したい年月日を選択し「表示」ボタンを押すと、その日の日報が表示されます。



項 目 名	入力 (選択) 範囲
年月日指定	月：1～12 日：1～31 当日より2ヶ月前までOK。 有効データのある期間のみ

6.2.15 月報表示画面

更新時刻: 2012/01/01 00:59:21

MPT800月報表示

2012 年 1 月 表示

表示対象の月報 2012年1月

ダウンロードファイル種別選択 ☒ 帳票CSV ☐ 帳票TIFF

アナログ月報 / 1 枚目

アナログ入力									
日	曜日	アナログ入力1 単位[%]	アナログ入力2 単位[%]	アナログ入力3 単位[%]	アナログ入力4 単位[%]	アナログ入力5 単位[%]	アナログ入力6 単位[%]	アナログ入力7 単位[%]	アナログ入力8 単位[%]
1	日	100	100	50	0	----	----	----	----
2	月								
3	火								
4	水								
5	木								
6	金								
7	土								
8	日								
9	月								
10	火								
11	水								
12	木								
13	金								
14	土								
15	日								
16	月								
17	火								
18	水								
19	木								
20	金								
21	土								
22	日								
23	月								
24	火								
25	水								
26	木								
27	金								
28	土								
29	日								
30	月								
31	火								
月平均		100	100	50	0	----	----	----	----
月最大		100	100	50	0	----	----	----	----
月最小		100	100	50	0	----	----	----	----
月合計		----	----	----	----	----	----	----	----
総計		----	----	----	----	----	----	----	----

項 目 名	入力（選択）範囲
年月日指定	月：1～12 当日より1年前までOK。 有効データのある期間のみ
ダウンロードファイル種別選択	帳票 CSV／帳票 TIFF

パルス・運転流量						
日	曜日	デジタル入力3[単位m3]	デジタル入力4[単位m3]	SSメータ[単位m3]	運転流量1[単位m3]	運転流量2[単位m3]
1	火	----	----	----	----	----
2	水	----	----	----	----	----
3	木	----	----	----	----	----
4	金	----	----	----	----	----
5	土	----	----	----	----	----
6	日	----	----	----	----	----
7	月	----	----	----	----	----
8	火	----	----	----	----	----
9	水	----	----	----	----	----
10	木	----	----	----	----	----
11	金	----	----	----	----	----
12	土	----	----	----	----	----
13	日	----	----	----	----	----
14	月	----	----	----	----	----
15	火	----	----	----	----	----
16	水	----	----	----	----	----
17	木	----	----	----	----	----
18	金	----	----	----	----	----
19	土	----	----	----	----	----
20	日	----	----	----	----	----
21	月	----	----	----	----	----
22	火	0	0	0.0	0.00	0.00
23	水					
24	木					
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水					
月平均		0	0	0.0	0.00	0.00
月最大		0	0	0.0	0.00	0.00
月最小		0	0	0.0	0.00	0.00
月合計		0	0	0.0	0.00	0.00
総計		0	0	0.0	0.00	0.00

デジタル運転入力					
日	曜日	デジタル入力1		デジタル入力2	
		時間	回数	時間	回数
1	火	----	----	----	----
2	水	----	----	----	----
3	木	----	----	----	----
4	金	----	----	----	----
5	土	----	----	----	----
6	日	----	----	----	----
7	月	----	----	----	----
8	火	----	----	----	----
9	水	----	----	----	----
10	木	----	----	----	----
11	金	----	----	----	----
12	土	----	----	----	----
13	日	----	----	----	----
14	月	----	----	----	----
15	火	----	----	----	----
16	水	----	----	----	----
17	木	----	----	----	----
18	金	----	----	----	----
19	土	----	----	----	----
20	日	----	----	----	----
21	月	----	----	----	----
22	火	0.00.00	0	0.00.00	0
23	水				
24	木				
25	金				
26	土				
27	日				
28	月				
29	火				
30	水				
月合計		0.00.00	0	0.00.00	0
総計		0.00.00	0	0.00.00	0

※ダウンロードされる帳票ファイルについて

日報表示画面・月報表示画面の「ダウンロードファイル種別選択」にて、「帳票 CSV」「詳細 CSV」「帳票 TIFF」を選択し、「ダウンロード」ボタンをクリックすると、現在表示している日月報のファイルが Web ページを操作している PC にダウンロードされます。ただし、「詳細 CSV」は、日報のみとなります。

有効なアナログ入力 Ch1～8 と、デジタル運転入力・パルス入力に設定したチャンネルの計測データが記載されています。

〈帳票 CSV：日報〉

日報表示または日報メールにて出力する“帳票CSV”ファイルの内容																			
2012年01月01日 日報		出力対象計測データの年月日を表示 “日報”固定で表示																	
時間	アナログ入力 1 [単位 %]	フラグ	アナログ入力 2 [単位 %]	フラグ	アナログ入力 3 [単位 %]	フラグ	アナログ入力 4 [単位 %]	フラグ	デジタル入力1 運転回数	運転流量1 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力2 運転回数	運転流量2 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力3 運転回数	運転流量3 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力4 運転回数	運転流量4 [単位 m3]
0:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
1:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
2:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
3:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
4:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
5:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
6:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
7:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
8:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
9:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
10:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
11:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
12:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
13:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
14:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
15:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
16:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
17:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
18:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
19:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
20:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
21:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
22:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0
23:00	61		61.29		61		61.31		0:00:00	0	0	0:00:57	1	0.94	0:00:46	1	16		
日平均	61		61.29		61		61.31		----	----	0	----	----	0.19	----	----	3		
日最大	61		61.29		61		61.31		----	----	0	----	----	0.94	----	----	16		
日最小	61		61.29		61		61.31		----	----	0	----	----	----	----	----	0		
日合計	----	----	----		1464		1655.37		0:00:00	0	0	0:00:57	1	0.9	0:00:57	1	16		
月合計	----	----	----		1789		2988.33		0:00:00	0	0	0:00:57	1	0.9	0:00:57	1	16		
総計	----	----	----		1789		2988.33		0:00:00	0	0	0:00:57	1	0.9	0:00:57	1	16		

有効なアナログ入力 Ch1～8 とデジタル運転入力・パルス入力 Ch1～23 の順番で、1 時間毎の計測データと日平均・日最大・日最小・日合計・月合計・総計が記載されています。

ファイル名は「Nippou」となります。

33 ページ「5.2.17 帳票データダウンロード」に記載のディスプレイユニットによる操作での帳票ダウンロードでも同様のファイルがダウンロードされます。

〈詳細 CSV：日報詳細〉

日報表示または日報メール通報にて出力する“詳細CSV”ファイルの内容																	
2012年01月04日 日報詳細		出力対象計測データの年月日を表示 ”日報詳細”固定で表示															
時間	アナログ入力1 [単位 %]	フラグ	アナログ入力2 [単位 %]	フラグ	アナログ入力3 [単位 %]	フラグ	アナログ入力4 [単位 %]	フラグ	デジタル入力1 運転回数	運転流量1 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力2 運転回数	運転流量2 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力3 運転回数	運転流量3 [単位 m3]	フラグ
0:00	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	12
0:01	1		1.4		1.429		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
0:02	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	12
0:03	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	10
0:04	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	15
0:05	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	13
0:06	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	12
0:07	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	12
0:08	1						85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
~省略~																	
23:48	1		1.4		1.429		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:49	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:50	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:51	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:52	1		1.4		1.429		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:53	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:54	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:55	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:56	1		1.4		1.429		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:57	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:58	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
23:59	1		1.4		1.428		85.7		0:00:00	0	0	0:00:00	0	0	0:00:00	0	14
日報／月報帳票で出力される平均値／最大値／合計値などの集計値は出力しない。																	

有効なアナログ入力 Ch1～8 とデジタル運転入力・パルス入力 Ch1～23 の順番で、1 分毎の計測データが記載されています。ファイル名は「NippouSyousai」となります。

〈帳票 CSV：月報〉

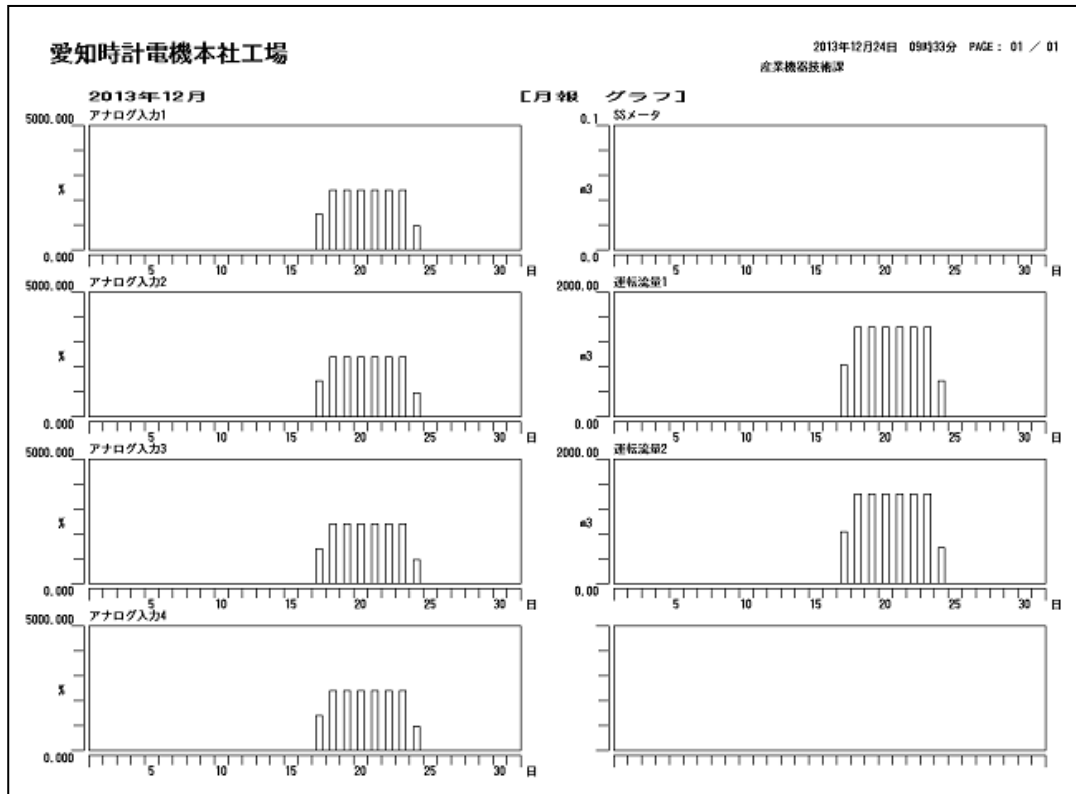
WEB画面の月報表示または月報メールにて出力する“帳票CSV”ファイルの内容																				
2012年01月 月報		出力対象計測データの年月を表示 “月報”固定で表示																		
日	アナログ入力 1 [単位 %]	フラグ	アナログ入力 2 [単位 %]	フラグ	アナログ入力 3 [単位 %]	フラグ	アナログ入力 4 [単位 %]	フラグ	デジタル入力1	運転回数	運転流量1 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力2	運転回数	運転流量2 [単位 m3]	フラグ	デジタル入力3	運転回数	デジタル入力 4 [単位 m3]	フラグ
1	42		42.11		11		11.6		0:00:00	0	0	#	0:08:57	1	8.94	#	0:08:46	1	16	#
2	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0	*	6:21:21	0	381.34	*	6:21:21	0	8	*
3	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
4	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
5	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
6	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
7	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
8	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
9	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
10	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
11	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
12	1日からその月の最終日まで				204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
13	1,3,5,7,8,10,12月・・・31日まで				204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
14	4,6,9,11月・・・30日まで、				204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
15	2月・・・28日または29日まで(閏年に対応)				204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
16	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
17	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
18	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
19	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
20	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
21	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
22	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
23	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
24	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
25	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
26					204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
27					204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
28					204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
29					204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
30					204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
31	63		63.24		204		203.76		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0		0:00:00	0	0	
月平均	62		62.56		198		197.56		----	----	0		----	----	195.14		----	----	12	
月最大	63		63.24		204		203.76		----	----	0		----	----	381.34		----	----	16	
月最小	42		42.11		11		11.6		----	----	0		----	----	8.94		----	----	8	
月合計	----		----		6131		6124.4		0:00:00	0	0		6:30:18	1	390.28		6:30:07	1	24	
総計	----		----		6131		6124.4		0:00:00	0	0		6:50:16	1	410.25		6:50:05	1	24	

有効なアナログ入力 Ch1～8 とデジタル運転入力・パルス入力 Ch1～23 の順番で、1 日毎の計測データと月平均・月最大・月最小・月合計・総計が記載されています。

ファイル名は「Geppou」となります。

33 ページ「5.2.17 帳票データダウンロード」に記載のディスプレイユニットによる操作での帳票ダウンロードでも同様のファイルがダウンロードされます。

6.2.16 月報グラフ表示画面



表示したい年月を指定し「表示」ボタンを押すと、指定した年月のグラフが表示されます。

項 目 名	入 力（選択） 範囲
年月指定	月：1～12 当日より2ヶ月前までOK。 有効データのある期間のみ

7. 機能

7. 1 動作モード

7.1.1 通常運転モード

通常の運転を行うモード。

7.1.2 通報停止モード

通常の機能動作を行うが、通報動作のみを行わないモード。(その他動作は全て通常運転モードと同じ)
本体の通報停止スイッチを ON にした場合、またはデジタル入力の ch23 機能を「通報停止」に設定し
入力が ON となった場合、「通報停止モード」に入り両方とも OFF となったときに「通報停止モード」
を終了する。

①監視方法

通報停止スイッチの ON/OFF 変化監視時間は 1 秒。
デジタル入力 ch23 端子の ON/OFF 変化監視は、ch23 設定（検知時間：a 接/b 接）による。

②Web 画面からの通報停止モード操作

Web 画面からの操作にて通報停止モードに切替え（または通報停止モードから通常運転モードへ）
が可能。

③通報停止モードの自動復帰機能

Web 画面からの操作により、通報停止モードに入ってから設定された時間経過した場合は、通常
モードに自動で復帰する。(このとき通報停止スイッチまたは ch23 入力が ON の場合は復帰しない)
→ OFF になった時点で解除となる。

項目	条 件
通報停止動作 (通報停止 SW を ON または、 ch23 を ON にする)	1)通報停止モード中に発生したイベントは、全て通報動作をしない。 2)通報動作中に通報停止モードを開始した場合、その通報動作はそのまま継続させる。 3)通報リトライ待ちの間に通報停止モードを開始した場合は、リトライ待ちの状態は通報動作されず、全て 解除され「正常終了」扱いとなる。 4)通報停止モード中の着信動作(フロン操作等)は、通常運転モードと同様に可能。

※ch23 は、通報停止が選択されている場合に通報停止動作を行うことができます。



7.1.3 設定モード

以下のとき、MPT 本体に対して設定を行うことができる。

- 1) モード SW が設定側のとき
- 2) テレコン操作による時刻設定中
- 3) 着信応答後のローガ通信による設定中
- 4) LAN 接続でのローガ通信による設定中
- 5) LAN 接続での Web 画面からの設定中
- 6) PPP 接続での Web 画面からの設定中

設定モードの開始方法と終了方法

No	操作	設定モード開始	設定モード終了
1)	ディスプレイユニット	モード SW を「設定」に切替えたとき。	モード SW を「運転」に切替えたとき。
2)	テレコン操作時刻設定	設定用暗証番号の入力を受信したとき。	回線切断したとき。
3)	ローガ通信(電話回線経由)	設定コマンドを受信したとき。	回線切断したとき。
4)	ローガ通信(LAN 経由)	設定コマンドを受信したとき。	セッション切断したとき。
5)	Web 画面(LAN 経由)	Web 画面から設定・編集画面に遷移したとき Web 画面からメンテナンス画面に遷移したとき。	設定・編集画面を終了したとき。 メンテナンス画面を終了したとき。 タイムアウト(未操作によるローグインパスワードタイムアウト時間)
6)	Web 画面(PPP 接続経由)	Web 画面から設定・編集画面に遷移したとき Web 画面からメンテナンス画面に遷移したとき。	設定・編集画面を終了したとき。 メンテナンス画面を終了したとき。 タイムアウト(未操作によるローグインパスワードタイムアウト時間)。

※ログインパスワードタイムアウト時間：1800 秒

7.1.4 各モード中の動作

○：動作 ×：動作しない

No	動作内容	通常 運転 モード	通報 停止 モード	設定モード			備考
				Web	テレコン	DSP	
1	外部イベント入力監視	○	○	×	×	×	
2	運転時間入力監視	○	○	×	×	×	
3	アナログ入力監視	○	○	×	×	×	
4	パルス入力監視	○	○	×	×	×	
5	SS メータ受信イベント監視	○	○	×	×	×	
6	通報動作	○	×	×	×	×	
7	テレコン各種暗証番号受付	○	○	×	×	×	
8	テレコン時刻設定操作中	○	○	×	○	×	
9	テレコン時刻設定操作中以外	○	○	×	×	×	
10	ローガ通信	○	○	×	×	×	
11	ディスプレイユニット現在状態確認	○	○	○	○	○	
12	ディスプレイユニット設定データ変更	×	×	×	×	○	
13	Web からの設定	×	×	○	×	×	
14	Web からの制御	○	○	×	×	×	
15	Web からの状態確認	○	○	○	○	○	

7. 2 テレコン操作

7.2.1 暗証番号入力

“*nnnn#”の形で入力する。(n：変更可能)

操作内容種別	暗証番号
テレコン操作	*0000# (初期値)
テレコン設定	*2222# (初期値)

- ・暗証番号受信後の音声フレーズ

暗証番号を受け付けたとき、音声フレーズ（文頭フレーズ＋番号入力催促）を送出する。

例)「こちらは○施設名○です。番号を入力して下さい。」

7.2.2 操作コマンド一覧

“*n#”もしくは“*nn#”の形で入力する。

操作内容種別	暗証番号(4桁)種別	要求信号
イベント状態確認	「操作」(*0000#)	*1#
アナログ状態確認		*2?# ? : アナログ ch 番号(1～8)
デジタル出力状態確認		*3#
FAX 送信要求 (宛先一時指定あり)	「操作」(*0000#)	*51# 前月月報
		*52# 当月月報
		*53# 前日日報
		*54# 当日日報
		*55# 現在状態
		*56# 動作履歴
		*57# 指定月月報
		*58# 指定月日日報
FAX 送信要求 (宛先一時指定なし)	「操作」(*0000#)	*61# 前月月報
		*62# 当月月報
		*63# 前日日報
		*64# 当日日報
		*65# 現在状態
		*66# 動作履歴
		*67# 指定月月報
		*68# 指定月日日報
時刻設定	「設定」(*2222#)	*71# 時刻確認
		*72# 時刻設定
回線切断要求	「操作」(*0000#) 「設定」(*2222#)	*9#

7.2.3 イベント状態確認

“*1#”入力によりイベント状態確認となる。

- ・現在 ON しているイベントの音声を再生する。
例)「1号ポンプ故障が発生しました。ピー。」
- ・現在 ON しているイベントが複数ある場合は、各イベントに対する音声を順次再生する。
例)「1号ポンプ故障が発生しました。水位異常が発生しました。ピー。」
- ・現在 ON しているイベントが無い場合は、異常無しを再生する。
例)「異常ありません。ピー。」

7.2.4 アナログ状態確認

"*2?#"入力にてアナログ状態確認となる。(瞬時値設定／積算値設定の両タイプで可)

"?"の部分でアナログ ch1~ch8 を指定する。(アナログ ch1 を指定する場合は、"*21#"とする)

- ・機能番号により選択したアナログ入力が存在しない場合は、「ピッピッピ」とエラー音を再生する。
- ・アナログ状態の音声を再生する。
例)「ch1 現在の 1 号タンク水位は、1.5 メートルです。ピー。」
- ・欠測時は「ピッピッピ」音を再生する。
例)「ch1 現在の 1 号タンク水位は、「ピッピッピ」メートルです。ピー。」

7.2.5 デジタル出力状態確認 (オプション使用時のみ)

"*3#"入力にてデジタル出力状態確認となる。

- ・全てのデジタル出力が無効な場合は、ピッピッピ音を送出する。
- ・現在 ON しているデジタル出力を音声出力する。
例)「1 号ポンプが制御運転中です。3 号ポンプが制御運転中です。ピー。」
- ・全てのデジタル出力が OFF の場合は、全デジタル出力停止を音声出力する。
例)「全ての制御停止中です。ピー。」

デジタル出力 ch の有効／無効判定は以下の条件とする。

判定区別	判定条件
デジタル出力 有効／無効	1)デジタル出力エントが接続されていること。 2)デジタル出力設定「出力使用」が“使用”に設定されていること。 3)デジタル出力設定「出力用途」が“制御”に設定されていること。 上記全て成立しているときに“有効”扱いとなり、いずれかの条件不成立で“無効”扱いとなる。

7.2.6 FAX 送信要求（宛先一時指定あり）

“*nn#”の形で入力する。

機能番号	動作	音声アナウンス・操作内容
51	前月分の月報送信	①「FAX 番号を入力後、#を押して下さい。」 （電話番号"xxxxxxxxx#"を入力。"#"で入力完了） ②「"xxxxxxxxx"に FAX を送信します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ③"1"入力の場合 「FAX を送信します。電話を切ってお待ち下さい。びー。」 "2"入力の場合 「FAX を中止します。びー。」
52	当月分の月報送信	
53	前日分の日報送信	
54	当日分の日報送信	
55	現在状態を送信	
56	動作履歴を送信	
57	指定月の月報送信	①「FAX 番号を入力後、#を押して下さい。」 （電話番号"xxxxxxxxx#"を入力。"#"で入力完了） ②「送信する月報の月を入力してください。」 （月"mm(2桁で指定)#"を入力。"#"で入力完了） ③「"xxxxxxxxx"に FAX を送信します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ④"1"入力の場合 「FAX を送信します。電話を切ってお待ち下さい。びー。」 "2"入力の場合 「FAX を中止します。びー。」
58	指定月日の日報送信	
		①「FAX 番号を入力後、#を押して下さい。」 （電話番号"xxxxxxxxx#"を入力。"#"で入力完了） ②「送信する日報の月日を入力してください。」 （月日"mdd(4桁で指定)#"を入力。"#"で入力完了） ③「"xxxxxxxxx"に FAX を送信します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ④"1"入力の場合 「FAX を送信します。電話を切ってお待ち下さい。びー。」 "2"入力の場合 「FAX を中止します。びー。」

- ・現在状態の送信は、操作当日 00：00～現在時刻までの帳票を出力します。
- ・動作履歴は、200 件分の動作履歴を新しい方から抜き出し、送信する。
送信に失敗してもリトライ動作はしない。
- ・指定月日は過去最大 2 ヶ月以内とし、帳票出力可能な月日までとする。
- ・指定不可日を入力された場合は、「ピッピッピ」音を送出し月日指定入力待ちに戻る。

7.2.7 FAX 送信要求（宛先一時指定なし）

“*nn#”の形で入力する。

機能番号	動作	音声アナウンス・操作内容
61	前月分の月報送信	①FAX を送信します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ②”1”入力の場合 「FAX を送信します。電話を切ってお待ち下さい。びー。」 “2”入力の場合 「FAX を中止します。びー。」
62	当月分の月報送信	
63	前日分の日報送信	
64	当日分の日報送信	
65	現在状態を送信	
66	動作履歴を送信	
67	指定月の月報送信	①「送信する月報の月を入力してください」 (月"mm(2桁で指定)#"を入力。"#"で入力完了) ②「FAX を送信します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ③”1”入力の場合 「FAX を送信します。電話を切ってお待ち下さい。びー。」 “2”入力の場合 「FAX を中止します。びー。」
68	指定月日の日報送信	①「送信する日報の月日を入力してください」 (月日"mmdd(4桁で指定)#"を入力 " #"で入力完了) ②「FAX を送信します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ③”1”入力の場合 「FAX を送信します。電話を切ってお待ち下さい。びー。」 “2”入力の場合 「FAX を中止します。びー。」

- ・現在状態の送信は、操作当日 00：00～現在時刻までの帳票を出力します。
- ・動作履歴は、200 件分の動作履歴を新しい方から抜き出し、送信します。
送信に失敗してもリトライ動作はしない。
- ・指定月日は過去最大 2 ヶ月以内とし、帳票出力可能な月日までとする。
- ・指定不可日を入力された場合は「ピッピッピ」音を送出し、月日指定入力待ちに戻る。

7.2.8 現在時刻設定

“*nn#”の形で入力する。

機能番号	動作	音声アナウンス・操作内容
71	現在時刻の確認	「"yyyy"年"mm"月"dd"日"hh"時"mm"分。びー。」
72	現在時刻の設定	①「年を入力して下さい」 (西暦"yyyy(4桁で指定)#"を入力。"#"で入力完了) ②「月日を入力して下さい」 (月日"mmdd (4桁で指定) #"を入力。"#"で入力完了) ③「時刻を入力して下さい」 (時分"hhmm(4桁で指定)#"を入力。"#"で入力完了) ④「"yyyy"年"mm"月"dd"日"hh"時"mm"分に更新します。実行する場合は 1、中止する場合は 2 を押して下さい。」 ⑤”1”入力の場合 「時刻を設定しました。びー」 “2”入力の場合 「中止します。びー」

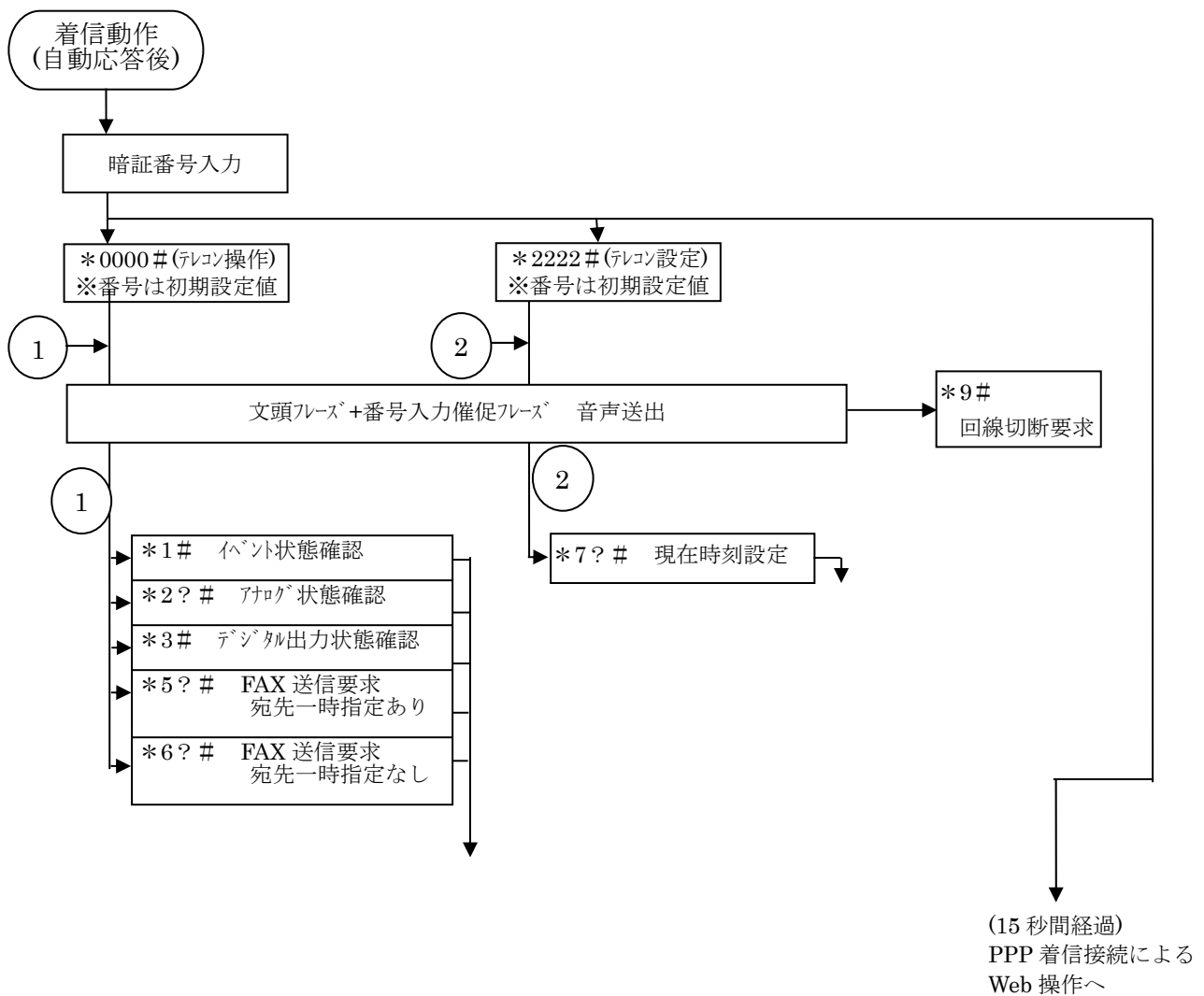
7.2.9 PPP 接続

着信応答後、一定時間経過後（※2 着信動作概要フロー参照）にテレコン操作が何もない場合 PPP 接続に移行する。PPP 接続後は、Web 画面による操作を行う。

7.2.10 回線切断要求

本コマンド受信時は、直ちに回線を切断する。

※2 着信動作概要フロー



8. 保 守

1. バッテリー

本器には、停電時など AC 電源から給電されていない状態で停電通報等を行うためのバッテリーを内蔵しております。

※工場出荷時は充電状態で出荷されます。しかし、本器を通電しないままにしますと放電しバッテリーを消費します。その場合バッテリーを通電させることで、12 時間程度で充電が完了します。



注意 バッテリーは 2 年ごとに交換して下さい

寿命は約 2 年です。停電の有無に関わらず劣化しますので、必ず 2 年毎に交換を行って下さい。



注意 バッテリーのコネクターは確実に接続して下さい

バッテリーのコネクターは絶対に外したままにしないで下さい。停電時の動作が行われなくなります。交換の際も必ず通電状態にて速やかに接続して下さい。

2. オプション品／ディスプレイユニットの液晶（LCD）表示のトラブルシューティング

表示が消えている場合

→MPT800 の電源スイッチは ON になっていますか？

→停電の発生あるいは停電が続いていませんか？

バッテリーによる停電時の表示保持はしません。

→ディスプレイユニットのケーブルが外れていませんか？



注意 その他・内部異常（エラー）が表示されている場合

内部異常が発生している場合は、最寄りの弊社支店・営業窓口にお問い合わせいただきますようお願いいたします。その他お気づきの点におきましても同様をお願いいたします。

3. フラッシュメモリへのデータバックアップ

本器は、設定・計測データをフラッシュメモリに保存します。

一度保存したデータは停電時でも消去されません。

※日月報データの保存は 1 日 1 回自動的に行われます。

停電が起きた場合でも、バッテリーが機能していれば日月報のデータは作成されます。

4. 部品交換の目安

項 目	方 法	期間（周期）	ユーザー施工
バッテリー	交換	2 年	○
ヒューズ (250V, 2A)	交換	都度	○

9. 仕 様 一 覧

9. 1 入 力

9.1.1 アナログ入力

入力点数	8 点(各点毎に絶縁)
電流電圧範囲	電流 : DC4~20mA, 入力抵抗 250Ω 電圧 : DC1~5V, 入力抵抗 100kΩ
表示精度	±0.5%FS 以内
上下限警報	CH 毎に設定可 HH 警報 / H 警報 / L 警報 / LL 警報 / 断線警報

9.1.2 デジタル入力

入力点数	24 点	
入力条件	無電圧 a 接点入力もしくはオープンコレクタ入力 (a 接／b 接の切替は設定ソフトで可)	
必要接点容量	電圧 DC12V 以上、電流 DC8mA 以上	
入力信号選択	イベント入力	CH 毎に設定可 (※CH24 を除く)
	運転時間入力	CH 毎に設定可 (※CH24 を除く)
	パルス入力	CH 毎に設定可 (※CH24 を除く)
	通報停止入力	専用スイッチまたは CH23 (通報停止入力としての設定時)
	SS メーター 流量信号入力	CH24 固定
入力判定	イベント入力／ 運転時間入力 選択時	ON／OFF 時間：1～600 秒可変
	パルス入力 選択時	最大 20Hz (ON／OFF 時間 25ms 以上)
	通報停止入力	専用スイッチ：ON 時間 1 秒固定 CH23 (通報停止入力としての設定時)

9. 2 出 力

出力ユニットの接続可能台数は、アナログ / デジタル出力ユニットの合計 2 台 (同じ出力ユニットの組み合わせ可能) まで。接続・設定方法は、20 ページを参照のこと。

9.2.1 アナログ出力 (オプションユニット)

出力点数	4 点 (アナログ出力ユニット 1 台使用時) 8 点 (アナログ出力ユニット 2 台使用時)
出力仕様	DC4~20mA 電流出力 (リニア出力のみ) 最大負荷抵抗 500Ω (各 CH 間非絶縁 入力・内部回路とは絶縁)
出力精度	±0.5%FS 以内
本体との接続	ケーブルにて接続 (ケーブルは別途ご用意下さい)

9.2.2 デジタル出力 (オプションユニット)

出力点数	24 点 (デジタル出力ユニット 1 台使用時) 48 点 (デジタル出力ユニット 2 台使用時)
出力仕様	オープンコレクタ 耐電圧 DC30V / 100mA 以下 (フォトカプラにて絶縁)
本体との接続	ケーブルにて接続 (ケーブルは別途ご用意下さい)

9. 3 外部供給電源

出力電圧	DC5V±5%
負荷容量	最大 800mA (FOMA 専用アダプタユニットのソフトウェア更新時)

9. 4 通信

9.4.1 アナログ一般回線

接続形態	RJ-11 モジュラコネクタ×2 (LINE/TEL)
通信形態	(1)音声 (2)FAX 通信モード : G3 (送信専用) 通信速度 : 2400～14400bps 原稿サイズ : A4 走査線密度 : 主走査線密度 8 本/mm 副走査線密度 7.7 本/mm または 3.85 本/mm (3)ダイヤルアップ (PPP 接続) (4)ロガー通信

9.4.3 LAN 回線

接続形態	RJ-45 モジュラコネクタ×1
通信規格	10BASE-T/100BASE-TX

9.4.4 FOMA 通信

接続形態	FOMA 専用アダプタユニットとの RS-232C による接続 電源は MPT800 本体の外部供給電源と接続 (専用オプション)
適合品	FOMA UM02-F 相当

9.4.5 SS メーター流量信号入力

接続形態	デジタル入力 CH24 に接続
接続機器	弊社製の電磁式水道メーター (SU) と電磁式積算体積計 (SW、SA、AGV) を接続

9. 5 インターフェイス

9.5.1 RS-232C 接続

用途	FOMA 専用アダプタユニットと接続
通信速度	19200bps
データ長	8bit
ストップビット	1bit
パリティ	なし

FOMA UM02-F 専用アダプタユニットの規格に順ずる

9.5.2 USB 接続

用途	USB メモリを接続し設定データ／音声データのアップロード／ダウンロード動作履歴／デジタルロギングデータ等のダウンロード
通信規格	USB2.0 Full Speed 規格準拠
容量	16GB 以下
フォーマット	FAT／FAT32

10. 一般仕様

表 示	インジケータ LED：電源／FOMA／LAN／LINE／SET
	オプションユニット接続 ディスプレイユニット（20 桁×2 行ドットマトリックス液晶表示） [別売：MPTDSP]
外形寸法	240（W）×340（H）×54（D）mm（突起物含まず）
質 量	約 3kg
取り付け方法	盤内取り付け（壁掛けタイプ）
使用環境	周囲温度：－10～＋60℃、周囲湿度：30～85％RH （結露なきこと）
電 源	80～264VAC 50／60Hz
消費電力	15～25VA（ピーク時 24～38VA）
外部供給電源	約 DC5V±5％ FOMA 専用アダプタユニット給電用

11. 保証とアフターサービス

1. 保証期間

ご購入から1年間とさせていただきます。

2. 保証範囲

本製品は万全の品質保証体制で製造しておりますが、正常な使用状態において保証期間内に弊社製造責任による故障が生じた場合、修理または代替品の納入を無償で行わせていただきます。

ただし、故障した製品についての無償対応の適否は、弊社の調査結果によるものとします。
また、以下の項目に該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) カタログ、製品仕様書、取扱説明書などの記載事項に従わないで使用した場合の故障
- (2) 火災・地震・風水害・落雷などの災害及び犯罪などの破壊行為に起因する故障
- (3) 腐食環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 昆虫等の生物の行為に起因する故障
- (5) 故障の原因が当製品以外に起因する故障
- (6) 出荷当時の科学・技術水準で予見不可能であった故障
- (7) 弊社または弊社が指定した者以外による修理や改造による故障
- (8) 不適当な点検や消耗部品の保守・交換に起因する故障

3. 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼により有償修理いたします。

4. 修理・調査を依頼される場合

保証期間中・期間後に関わらず、修理・調査を依頼される際には、製品名及び型式名（情報通信端末装置 MPT800）と、詳しい状況を最寄りの弊社支店・営業所にお知らせ下さい。

5. その他

- 本マニュアルの内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ下さい。
- お取り扱いを間違えた場合の責任は負いかねますので、ご使用前には必ず本取扱説明書をお読み下さい。
- 運用した結果につきましては、上記に関わらず一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 会社名及び製品名は、商号もしくは登録商標です。
- 本マニュアルを無断転載することを固くお断わりします。
- 本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。
- 仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

- この計器は弊社の厳密な機械的・電氣的な検査に合格し、機能を十分満足していることを保証します。
- 計器の保証期間はお買い上げより1年間です。保証期間後の修理・調整・部品交換は有償となります。
- 保証期間内であっても消耗品の交換、及びお客様の誤操作、過失ならびに天災などによる故障は有償修理となります。

製 品 名：情報通信端末装置 MPT800

ご購入日： 年 月 日



愛知時計電機株式会社

〒456-8691 名古屋市熱田区千年一丁目2番70号

URL : <https://www.aichitokei.co.jp/>

お願い

性能改善のため予告なく製品仕様を変更することがあります
のでご了承ください。なお古くなったカタログ・資料などは
新版をご請求いただくか、当社までお問い合わせください。

6 版

202312